

神戸東ロータリークラブ
創立70周年記念誌



神戸東ロータリークラブ
創立70周年記念誌





神戸東ロータリークラブ
創立70周年記念誌

友情と奉仕で 70周年—



創立時のバナー

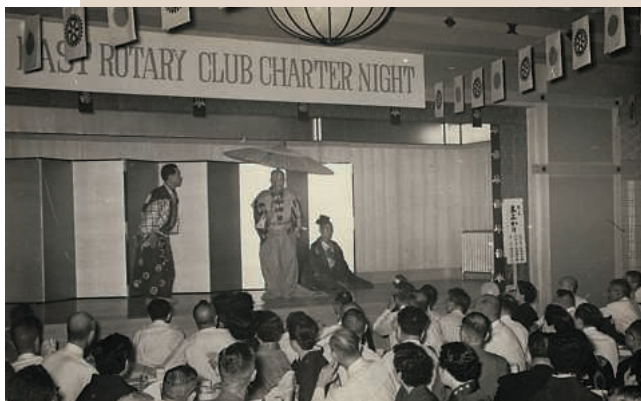


1954.9.25
小菅ガバナーよりチャーター伝達式で
認証状を受け取る井波会長

1954.9.25
有馬・月光園にて
チャーターナイト開催



1954.4.12付
国際ロータリー 加盟認証状



1954.9.25 有馬・月光園にてチャーターナイト開催



1959 創立5周年記念式典・祝賀会



1969 創立15周年記念式典・祝賀会



1974 創立20周年記念式典・祝賀会



1979 創立25周年記念式典・祝賀会



1989 創立35周年記念式典・祝賀会



1984 創立30周年記念式典・祝賀会



1994 創立40周年記念式典・祝賀会



2004 創立50周年記念式典・祝賀会



1999 創立45周年記念式典・祝賀会

国際ロータリーより
創立50周年表彰状



創立50周年記念バナー



2009 創立55周年記念式典・祝賀会



2014 創立60周年記念式典・祝賀会



2019 創立65周年記念式典・祝賀会

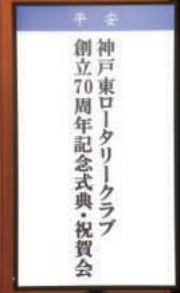
創立70周年記念式典・祝賀会

第1部 記念式典

2024年4月9日(火) ホテルオークラ神戸「平安の間」



受付



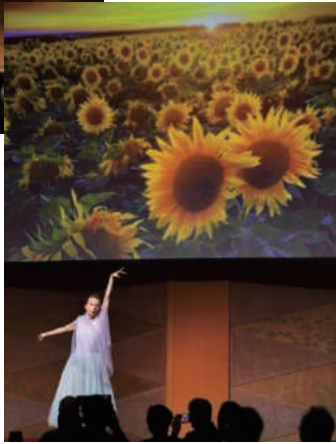
入場



司会 吉田 茂 家族委員長



オープニング
(ウクライナバレエ)



国歌並びにロータリーソング斉唱



開会挨拶
野々村禎之創立70周年実行委員長





物故会員追悼



歓迎の挨拶 樋口一哉会長



ご来賓紹介



安行英文ガバナー



橋本一豊パストガバナー

城 守ガバナーノミニー



楠原 薫 神戸市立青陽灘高等支援学校 校長



福島 勝 神戸市立友生支援学校 校長



白井務子ガバナーノミニー・デジグネート



ご来賓祝辞 安行英文ガバナー



創立70周年奉仕事業紹介
澤田正樹奉仕プロジェクト委員長



創立70周年記念式典・祝賀会

第2部 祝賀会



歓迎の歌



鏡割り

乾杯
吉井満隆 神戸RC会長





アトラクション



皆出席会員表彰

大澤勇出席委員長



45年皆出席 木下 健会員

金婚のお祝い



上月福男会員



植村孝一会員御夫妻



澤田正樹会員御夫妻



百歳のお祝い

執行英毅会員



ご勇退の御礼

西村雅子先生



閉会挨拶
須藤雄二創立70周年副実行委員長



「手に手つないで」斉唱



答礼

東彩会(絵画・写真同好会)作品展にて



創立70周年記念事業

第26回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭



創立70周年記念事業として第26回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭を全国から430人のロータリアンを迎えて開催しました。

第26回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭報告

創立70周年実行委員会 親睦合唱祭部会長 横山 幹夫

神戸東ロータリークラブ創立70周年記念事業第一弾として2023年7月29日（土）に第26回全日本RC親睦合唱祭を開催しました。ポートピアホールを舞台に北は札幌、青森から南は長崎、別府まで全国各地から25のクラブ、373名のコーラス愛好者が集まり、普段の練習の成果を存分に発揮すべく合唱を行い、講評の先生からも高い評価をいただいております。コーラス同好会とむつみ会コーラス同好会が混声合唱団として練習に励んでいる『神戸東ロータリークラブ合唱団』もオープニングの「奉仕の理想」から本番の「さくら」、「ふれあい」まで普段以上の実力を発揮し、トップバッターとしての重責を見事果たしておりました。

その後、会場を神戸ポートピアホテル「大輪田の間」に移し、応援団を加えた430名の大懇親会を行いました。参加されたメンバーもこの懇親会を楽しみにしており、本番だけでは歌い足りないのか各クラブがステージに上がって各地の持ち歌を披露するときは、他のクラブの会員も一緒に登壇し、大合唱を行っておりました。

コーラスという共通の趣味を持つ者が一堂に会すると、これだけ盛り上がりて友好を深めることができるということを再認識することが出来ました。そして、今後もこの合唱祭を継続していこうという機運が高まり、東京日本橋、京都洛中、長崎、青森の各クラブが開催を表明され継続されることになりました。

創立50周年時に続いて2回目になった今回の開催を企画から運営まですべてを会員だけで行い、参加者から感謝の言葉を多数いただいたのは我がクラブの誇りだと思います。

この催しがいつまでも続くことを期待いたします。



安行英文
ガバナー



横山幹夫
親睦合唱祭部会長



樋口一哉
会長



古賀健一 会員



司会
菅野和矢 会員・伴 裕美 会員



創立70周年(2023～2024)1年間の記録

ホスピスボランティアハワイ研修プロジェクト



HI'OLANI Care Center外観

国際奉仕委員長 中井 章詞

本プロジェクトは、2020年3月に地区補助金によるVTTとして申請したが、コロナウイルス感染症の蔓延により2度の中止を余儀なくされ、今回、皆様のご支援の下3回目でやっと実施の運びとなりました。

本プロジェクトの主旨

高齢化が進む日本では、終末期医療へのニーズが高まっている一方で、終末期の心のケアや支援を行うホスピスボランティア（HV）の、人材育成が不十分とされている。そこで、本プロジェクトは、日本のHVに、ホスピス先進国であるハワイで研修を行い、知見を深め、それらを国内で啓蒙発信し、先進国との交流を継続させる事によって、日本のHV全体の資質の向上に繋ぐ事を目的とした。

また、当クラブ会員で終末期医療に尽力された関本剛医師が早逝されたが、その遺志を継ぐべく、当クラブ創立70周年の節目に合わせ本プロジェクトを実施した。

補助金申請は、神戸東が提唱クラブとして、協同提唱クラブとして神戸第1グループから神戸、神戸東灘、神戸南、神戸六甲、神戸ベイ、神戸第2グループからは神戸西、神戸中、神戸モーニングの計8クラブ、協力団体として神戸国際医療交流財団、派遣先では、ホノルルRCの支援を頂き、地区補助金による職業研修チーム（Vocational Training Team：VTT）として、2023-24年度地区補助金（DG2448832）により実施した。

職業研修チーム（Vocational Training Team：VTT）の構成

リーダー：後藤章暢：神戸東RC、メンバー：松井由子・山口妙子：神戸つむぎの会

谷村俊之：公益財団法人 神戸国際医療交流財団

神戸東RC随員

樋口一哉会長、井元憲生直前会長、伴裕美週報副委員長、中井章詞国際奉仕委員長

研修日程：2023年9月23日（土・祝）～同年9月28日（木）



2023年9月24日(日) 17:30 ~ 神戸東RC招待親睦夕食会
ホノルルRC及びWSCHの各メンバー、後藤VTTリーダー、VTTメンバー、
神戸東RC随行人員(樋口会長、井元、伴、中井)



Nagomiフォスターホームズにて
メンバー講義風景



HI'OLANI Care Centerにて



Kalakaua Gardensにて

見学・実習施設

HI'OLANI Care Center: 高級住宅街カハラヌイの元小学校の校舎を改造して作られた、高級ホスピス。遠くにダイヤモンドヘッドが見えるレストランでは、一般のレストランと同様に自由にメニューを選ぶことが出来、広く明るい食堂が印象的であった。

Kalakaua Gardens: ワイキキの中心アラモアナに位置し、人生の全ステージに対応出来る様、施設専用設計された高層ビルで、上層階では、完全自立のシニアが入居し、ホテル同様の暮らしを提供。中層階では、介助・介護付き住宅としての認知対応型及び高度介護を要する寝たきり状態の低層階と、入居者の身体状態の進行に合わせて順次、高層階から低層階へ移動していくシステムで、一つのビルの中で、老後の人生が完結されるよう設計されている。狭い都会での老人施設の在り方の一つとして参考になった。

Nagomiフォスターホームズ: 数少ない日本人スタッフが運営する非営利団体で、自分の家では看取る事が出来ない終末期の方を、オーナーが自宅の一部を開放され、この運営は、全てグループの有料ケアホームからの収益とコミュニティからの寄付によって行われ、看取りを含め可能な限り、最も人道的な方法で一人一人の人生を全うさせるのを助ける為に活動されている事が特徴的であった。

本研修プロジェクトの成果

HVボランティア先進国であるアメリカの現在のプログラムに基づき、現役HVが直接指導、意見交換を通して、終末医療に携わるHVの資質・能力の向上が得られた。さらに、今回の交流を通じて、さらなる緊密な情報交換及び交流の人脈の構築が出来た。

謝辞

この度の「ホスピスボランティアハワイ研修プロジェクト」実施に当たって、ご援助頂いた各方面の皆様へ感謝いたします。

創立70周年(2023~2024)1年間の記録



2023.8.29 第1回親睦会 (神戸メリケンパークオリエンタルホテル)



2023.9.7 第1回ゴルフ同好会 (宝塚C)



2023.10.17
第2回親睦会 (神戸メリケンパークオリエンタルホテル)



2023.11.17~18 会員家族旅行 (有馬・兆楽)



2023.11.20 KOBEっこ親善ラグビー大会



2023.11.27 神戸市立友生支援学校招待ボウリング大会 (神戸六甲ボウル)



2023.12.19 忘年家族会 (神戸メリケンパークオリエンタルホテル)

創立70周年(2023~2024)1年間の記録



2024.1.9 新春合同例会 (神戸東灘RC、神戸ベイRC、神戸東RC)



2024.2.19 神戸市立青陽灘高等支援学校招待ボウリング大会 (神戸六甲ボウル)



2024.1.16~30 職業奉仕月間 (澤田職業奉仕委員長・安平パストガバナー・須藤ガバナー補佐)



2024.2.27 第4回三東会 (京都東RC、大阪東RC、神戸東RC)



2024.3.13 ポリオプラスチャリティーゴルフ (六甲国際G.C)



2024. 5.25~29 2024ロータリー国際大会 (シンガポール)

目次

CONTENTS

友情と奉仕で70周年	2
創立70周年記念式典・祝賀会 会場風景	4
創立70周年（2023～2024）1年間の記録	12

第1部 創立70周年によせて

会長挨拶	神戸東ロータリークラブ会長 樋口 一哉	22
祝辞	RI第2680地区 2023～24年度ガバナー 安行 英文	23
	神戸第一グループ ガバナー補佐（神戸東RC） 須藤 雄二	24
	神戸ロータリークラブ会長 吉井 満隆	25
創立70周年実行委員長挨拶	実行委員長 野々村禎之	26
記念式典・祝賀会（式次第・来賓・物故会員・皆出席会員・金婚を迎えられた会員）		27

第2部 未来に向けてがんばろう

創立70周年記念座談会「ロータリーとパンデミック（コロナ禍）」	30
歴代会長が語る10年間の歩み	46
5大奉仕委員会報告（10年間）	66
各委員会報告（10年間）	76
同好会報告（10年間）	111
むつみ会報告（10年間）	128

第3部 会員随想「みんなで75周年、100周年に向けてがんばろう」

第4部 資料編（5年間）

悉皆会員名簿	150
歴代役員・理事・委員長（5年間）	160
歴代地区委員（5年間）	162
現会員名簿	163
創立70周年実行委員会組織図・編集後記	166



第 1 部

創立70周年によせて

創立70周年によせて

樋口 一哉

神戸東ロータリークラブ
会長



神戸東ロータリークラブは、戦後間もない1954年4月12日に国際ロータリーから認証を受け、その年の秋に有馬で500人を超える参加者でチャーターナイトがありました。

以来70年神戸市東部を基盤に、職業人のクラブとして、発展してきました。

過去にはローターアクトクラブもあり、私は、1979-82の間、神戸東ローターアクトクラブに在籍し、様々な社会奉仕活動をして参りました。支援学校向けのボウリング大会は、30年近く継続しています。その他、少年野球支援、王子動物園での写生大会開催、障害者の就労支援事業なども行っています。最近はちびっこラグビー支援もあります。

国際奉仕では、カンボジア医療支援、ハワイでホスピス研修、など語りつくせません。

今年度は、立ち上がりから全日本RC親睦合唱祭を主催し、全国から25のクラブに集まって頂き、70周年の幕明けにふさわしいスタートを切りました。最終の懇親会での盛り上がりは今も脳裏に焼き付いています。

年末の忘年家族会は、過去最大の参加を頂き、チャリティーの売上も過去最高で、ロータリー財団、米山記念奨学基金に、多額の寄付が出来ました。

年が明けて、新春の合同例会では、久しぶりのお茶会、鏡開きも行い、華やかな年の幕開けとなりました。今年は、三東会の幹事でもありますので、神戸の地で京都東RC、大阪東RC、神戸東RCが集まり親睦を深めることが出来ました。70周年もお祝い頂きました。

そして、4月9日70周年記念式典には200名近い方に集まって頂きました。

ウクライナバレーのオープニングから始まり、安行ガバナーの挨拶、会長挨拶、来賓紹介とスライドショーによる当クラブの歴史、過去5年の活動紹介と流れるようにスムーズに式典は進みました。

祝賀会では、「福寿」を頂き、鏡割りをし、神戸RC吉井会長による乾杯から始まりました。

金婚、皆出席のお祝いに続き、執行会員の100歳のお祝いもさせていただきました。

アトラクションも大いに盛り上がり、最後に、「手に手つないで」を歌い閉会しました。

みなさま献身的な協力で素晴らしい70周年記念式典となりました。有難うございました。

神戸東ロータリークラブは、職業奉仕を根幹とし、親睦を深め、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕活動に皆で力を合わせて、いざという時には、山が動くクラブでありたいと思います。

これからも、75周年、100周年に向かってますますの発展を確信しています。

祝辞

安行 英文

国際ロータリー第2680地区
2023～24年度ガバナー



神戸東ロータリークラブ70周年を迎えられ、心からお祝いの言葉を捧げたいと思います。

70年前の1954年4月に国際ロータリーから認証を受けられ、爾来クラブの大きな指針として職業奉仕を実践されつつ、しかも各自が職業倫理を胸に遵守し、素晴らしい生業を通して社会に貢献されてこられました。

また、今年度はVTTとしてハワイでのホスピス研修を実施され、周年事業として全国ロータリー合唱祭を開催され、名実ともに素晴らしい活動をされておられますことは、地区としてもその幅広い見識と実践活動に敬意を表するものです。

毛利元就が息子達に示唆した三本の矢の逸話ではないですが、神戸東クラブには、すでに3つの矢が具わっていると感じます。1つの力（ロータリー哲学）だけでなく、2つの矢（実践、親睦）が合わり、より強い揺らぎのない芯の通ったクラブへと成られたことが伺われます。

聖書の一節に、それぞれが持つ素質などは気づかず、過ごしているのですが、それを理解してこそ、お互いが助け合うことができる、とあります。

「それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。」

多くの人々は、それが何であるか気がつかないで生きているのですが、日々のデボーション、つまり献身的な奉仕を通じて、未発見の賜物、それは指導力、奉仕の意味とか、務めの意義とか、倫理とか、人間形成などのことですが、これを見つける努力をおしみなく、ロータリー活動の中でしっかりとこられた結果なのだと思います。そして、ご自分の賜物をこの東ロータリークラブの中で発見されたなら、それを愛の動機で用いることで、その人個人の性質はさらに伸ばされるのではないかと皆様のクラブを見て感じました。

どうか、今後ともますますのご発展と神戸東クラブの伝統を引き続き守っていただき、会員の皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げまして私の挨拶とさせていただきます。

まことにおめでとうございます。

創立70周年を迎えて

須藤 雄二

国際ロータリー第 2680 地区
神戸第一グループ
2023-24 年度ガバナー補佐 (神戸東 RC)



1954年に33人のチャーターメンバーで創立された神戸東ロータリークラブが、100名以上の会員数を擁するクラブに発展し、創立70周年を迎えることが出来ました事は、一重にこれまでクラブに在籍されてきた先輩諸氏が切磋琢磨され築き上げてこられた良き伝統の賜物と考える所です。

神戸東クラブの良き伝統とは何でしょうか。それは会員の質とクラブ風、運営方法にあると推察します。

このクラブの会員は、バランス感覚に優れ、極端な自己主張をすることも無く、頼まれた活動は自主的に気持ちよく協力していただける方ばかりという事を感じています。曖昧模糊とした柔らかな空気の中で皆が上手く協調してクラブが成り立っています。これが神戸東クラブの会員の質、クラブ風ではないでしょうか。

そのような会員が、例会や同好会を通じて親睦を深め、会員相互の情報交換や切磋琢磨により、自らの事業の糧になるアイデアを得て事業に励み、その果実を持って会員自らが生み出した奉仕活動にいそしむと言う、職業奉仕の概念を忠実に守る運営をして来たことも重要な要素です。

今、神戸東クラブでは会員の世代交代が起ころうとしている所です。古い会員は過去の敷居が高かった時代のロータリーを懐かしむ一方、入会間もない会員にとっては今が当たり前というギャップも生まれつつあります。

変化を主導するのは若い世代です。それが行き過ぎないように制御するのは経験の豊富な古い世代です。幅広い年齢層と職業分類の会員が、寛容の精神で多様性を受け入れながら新たなクラブの伝統を模索して行く必要があります。

神戸東ロータリークラブの会員であることが誇りに思われるようなクラブであり続けることが、居心地の良さに繋がり、今後のクラブの維持発展に重要であるはずです。

100周年に向かい、良き伝統は守りながら新たな伝統を追加し、さらなる発展を目指されるようにご祈念いたします。

祝辞

吉井 満隆

神戸ロータリークラブ
会長



神戸東ロータリークラブの皆様、創立70周年を迎えられたこと心よりお喜び申し上げます。

神戸東ロータリークラブは、神戸ロータリークラブをスポンサークラブとして1954年4月12日に国際ロータリーの加盟承認を得て、地区内9番目、全国で118番目のロータリークラブとして創立されました。

当時を振り返りますと、高度経済成長期が始まり、日本のロータリークラブが大いに発展している時期で、貴クラブも33名のチャーターメンバーで発足以来、歴代会長様をはじめ指導者の方々、会員の皆様のご尽力により、現在では100名を超える会員数にまで拡大し、歴代ガバナーを5名も輩出するクラブに成長してこられました。この間、青少年海洋訓練では、貴クラブが先鞭をつけ、神戸市内全クラブの合同事業として発展したことや、養護学校の生徒さんたちの招待ボウリング大会を継続事業として実施されるなど地域社会の発展に貢献してこられました。また、今年度は全日本ロータリークラブ親睦合唱祭のホストを勤められなどユニークな同好会活動も活発に行なわれており、社会奉仕活動を中心に職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕に加えて会員相互の親睦を深める活動など多岐にわたる活動を実践し「これぞロータリアン」であると誇りに思っております。これも偏に、先輩ならびに同輩ロータリアンの皆様が、今日まで培われた歴史と伝統の上にロータリー活動への情熱を創立以来一時も失うことなく、地域社会や国際社会の中で実践してこられた賜物とところより敬服している次第です。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を祈念するとともに、栄えある70周年を機に貴クラブが会長方針にあります「未来に向けてがんばろう」を実践され、これからの75周年、100周年に向けてますます発展されますよう祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立70周年実行委員長挨拶

野々村 禎之

創立70周年実行委員会
委員長



我がクラブは、1954（昭和29）年4月12日に神戸ロータリークラブをスポンサークラブとして、国際ロータリーの加盟承認を戴き、当2680地区で9番目、全国で122番目のロータリークラブとして発足しました。チャーターメンバー33名から135名の最大会員数として、現在106名の会員数を擁するクラブに成長し、職業奉仕を基盤とし、社会奉仕活動を中心に国際奉仕・青少年奉仕と多岐にわたる活動を実践し、地域社会にしっかりと根を下ろす事ができました。

「三方よし」の精神をロータリー流に落とし込んで、一言でいえば「相手によいことをするから、ずっと一緒にいられる」関係を目指す。

- お客様に良いことをすれば、「この会社とずっと付き合いたい」「このお店でまた買いたい」と思ってくださいます。
- 社員に良いことすれば、社員は「この会社でずっと働きたい」「この会社のために頑張りたい」と言うことができます。
- 社会に対して良いことをすれば、多くの人から「この会社を応援したい」と思ってもらえます。

創立70周年実行委員会の基本テーマとして「三方との絆を結ぶ」といたしました。

本年度に行いました事業に「創立70周年」という冠をつけて頂き、様々な事業・行事を行いました。

創立70周年記念式典・祝賀会

安行英文国際ロータリー第2680地区ガバナーをはじめ地区役員・委員長、第一グループ内各クラブ並びに友好クラブの会長・幹事、関係諸団体の代表者、むつみ会の皆様と会員一同が集い、厳かにそして楽しく記念式典・祝賀会を開催致しました。ご臨席賜りましたご来賓各位におかれましては感謝いたしますとともに、今後とも、私どもクラブへより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記念式典・祝賀会 (式次第・来賓・物故会員・皆出席会員・金婚を迎えられた会員)

／ 式典・祝賀会次第

● 記念式典

オープニング
国歌斉唱
「奉仕の理想」斉唱
開会挨拶
物故会員追悼
歓迎の挨拶
来賓紹介
来賓祝辞
創立70周年奉仕事業紹介

● 祝賀会

歓迎の歌
鏡開き・乾杯
会食
アトラクション
皆出席会員表彰
金婚のお祝い
百歳のお祝い
閉会挨拶
「手に手つないで」斉唱

／ 来賓 (敬称略)

国際ロータリー第2680地区

ガバナー 安行 英文 (三 田)
ガバナーエレクト 矢坂 誠徳 (神 戸 西)
ガバナーノミニー 城 守 (姫 路)
ガバナーノミニー・デジグネート
白井 務子 (姫 路 東)
パストガバナー 橋本 一豊 (神 戸 須 磨)
パストガバナー、
ラーニングファシリテーター
丸尾 研一 (神 戸 西 神)
パストガバナー、
次期ラーニングファシリテーター
矢野 宗司 (加 古 川 中 央)
パストガバナー、
ロータリー財団委員会委員長
吉岡 博忠 (伊 丹)
次期代表幹事 山口 宰 (神 戸 西)
神戸第一グループガバナー補佐
須藤 雄二 (神 戸 東)
神戸第二グループガバナー補佐
鶴田 香織 (神 戸 垂 水)
国際奉仕委員会委員長 徳梅 明彦 (あ わ じ 中 央)
社会奉仕委員会委員長 喜多 美雄 (加 古 川 中 央)
米山記念奨学委員会委員長
竹内 博 (西 宮)

京都東ロータリークラブ 会 長 中村 幸男
京都東ロータリークラブ 幹 事 澤田 直隆
大阪東ロータリークラブ 会 長 山田 康雄
大阪東ロータリークラブ 幹 事 佐伯 元宏
神戸ロータリークラブ 会 長 吉井 満隆
神戸ロータリークラブ 幹 事 木下 学
神戸西ロータリークラブ 会 長 神津 科野
神戸西ロータリークラブ 幹 事 善本 秀樹
神戸東灘ロータリークラブ 会 長 兎玉 健
神戸東灘ロータリークラブ 幹 事 西尾 至
神戸南ロータリークラブ 会 長 塔筋 幸造
神戸南ロータリークラブ 幹 事 大西 伸治
神戸六甲ロータリークラブ 会 長 中島 健治
神戸六甲ロータリークラブ 幹 事 伊藤 浄真
神戸ベイロータリークラブ 会 長 前田 靖文
神戸ベイロータリークラブ 幹 事 西山 勝敏
神戸東プロバスクラブ 副会長 岡田 務
神戸東プロバスクラブ 幹 事 藤原 儀直

神戸市立友生支援学校 校 長 福島 勝
神戸市立青陽灘高等支援学校 校 長 楠原 薫
特定非営利活動法人クルーズ 理事長 川崎 孝子
米山記念奨学生 チュオン・カイン・リー
2022-23年度青少年交換長期派遣生 永原 麗雅

物故会員

石原	守	2021年6月4日	享年60歳
関本	剛	2022年4月19日	享年47歳
山崎	仁嗣	2023年2月13日	享年76歳
五百旗頭	真	2024年3月6日	享年81歳

皆出席会員

45年	木下	健	7年	松井	照男
35年	田中	健三		鈴木	祐一
33年	石橋	恒生		植村	浩史
	神田	孝平	6年	鮑	悦初
29年	中井	章詞		井元	憲生
24年	吉田	茂		森本	楽
	吉井	正幸		梅田	稔
23年	吉田	建美	5年	小林	一也
20年	横山	幹夫		田中	義明
16年	樋口	一哉		柳川	晃良
13年	大澤	勇	4年	和田	真一
12年	野々村	禎之		渡邊	英一郎
10年	道上	明	3年	横山	公一
9年	澤田	正樹	2年	麦	志明
	山本	裕計		林	伯正
			1年	西村	公志

金婚を迎えられた会員

植村 孝一・真美
澤田 正樹・眞理
上月 福男・紀子



第2部

未来に向けて がんばろう

ロータリーとパンデミック(コロナ禍)



- 出席者 須藤 雄二 (2019～2020年度会長) 吉田 茂 (2019～2020年度幹事)
鮑 悦初 (2020～2021年度会長) 樋口 一哉 (2020～2021年度幹事)
森本 一裕 (2021～2022年度会長) 工藤 恭孝 (2021～2022年度幹事)
井元 憲生 (2022～2023年度会長) 鈴木 祐一 (2022～2023年度幹事)
野々村禎之 (創立70周年実行委員会委員長)

●司会 吉田 博 (創立70周年実行委員会 広報・記念誌部会部会長)

●副司会 石川 泰平 (創立70周年実行委員会 広報・記念誌部会副部会長)

●写真担当 石橋 恒生 (創立70周年実行委員会 広報・記念誌部会アドバイザー)

吉田博 今日はお集まりいただきありがとうございます。まず、最初に創立70周年実行委員会委員長に御挨拶をお願いします。



吉田 博 会員

野々村 お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。記念誌部会の吉田部会長が今度の記念誌の1番のエポックになる部分として、コロナということで、この3年間、ないし

4年間というのが、皆様方の御努力によって、何とか今、70周年を迎えることができたのだと。

私自身も50周年の記念誌の中で、こんな座談会があって、その写真を見たときに、まだ若いなど思いながら、60周年のときにまた座談会に出て、もう70周年の今回には出なくて済むなど思っていました。ちょうど皆さん方が会長、幹



野々村禎之 会員

事としてやられたこの4年間というのが、本当にいい経験をされたというところがあったのではないかな。それが、会長または幹事としてのトレーニングというところで、できたのではないかなということで、それを味わっていない方にも御理解がいただけるように、今日の座談会が有意義なものになりますようお願い申し上げて、簡単ですけども御挨拶とします。

吉田博 ありがとうございます。座談会の進め方でございますけれども、前半とか後半に分けて、前半はロータリーとパンデミックという1つのテーマに絞って各年度の会長幹事の方々に御発言いただき、後半は自由に御発言いただこうと思っております。

令和2年、すなわち2020年の2月のクルーズ船の隔離以来、大変な大きな問題となりましたが、私達国民から見れば、やっぱり3月にコロナで志村けんさんが70歳で死亡したということと、それから4月には女優の岡江久美子さんが63歳で死亡したと、ここらあたりからものすごく社会の中で、不安が大きくなり、どうしようもない不安定な空気が満ちていったものです。その時に、須藤年度の前半は何もなかったんですけど、後半は、正体分からないコロナというものの中でロータリー活動をどうするかということで、恐らく大きな苦勞をされたと思います。そのあたりの話から進めさせていただけたらと思います。

須藤 2019年の年末、12月ぐらいからメディアで中国の武漢で新型の死亡率の高い肺炎がはまっているということが出だしまして、まだそのときは他人事のように思っていました。

1月ぐらいからそれが広がり、クルーズ船の問題もあり、2月になってからやはり国内で蔓延してきて、報道で大きく言われるようになりました。その頃から、ロータリークラブの例会は、どこかの時点で休会にしなければいけないのだなというのは考えていました。しかしそのタイミング、特に休会にするのは簡単ですが、



須藤雄二 会員

では再開する時どうしたらいいのというところが一番重たい課題でずっと悩んでいた次第です。

3月になりますと、本当に国内でも蔓延が広がり、国のほうも本腰入れて、この病気の病理学と言うのか、どういう症状でどのぐらい続くとかどうやってうつるとか、いろんな研究も始まりましたし、それから新型インフルエンザ特別措置法というのができて、緊急事態宣言を出す、県主導でいろんな対策をお願いするところの仕組みが出来だしました。

3月になり、これはもう例会を続けられないぞということで、3月の後半から、思い切って休会にしたわけです。休会の判断の大きなよりどころというのが、やはり緊急事態宣言とか、特別措置法とか、公的な機関が、もう何人以上の集まりはやめてくれとか、そういうふうに言っていたいただければ、会長としても判断しやすかったのかなと思います。

3月の終わりぐらいから例会は取りやめましたが、理事会は色々な案件の処理がありますからやっていかないといけないので、理事会をオンラインでできないかという検討を始めました。最初は、ZoomとかMicrosoftのTeamsとか、みんな取り扱いに苦勞したのですが、何回かやっているうちに、これもありかなみたいな感じになってきたのを今でも覚えています。それから4月になっては、もう完全に例会は休会になりました。その間、ロータリークラブのまとまりをどうするのというところが頭を悩ませた問題で、最低限、週報は発行し続けたほうがい

いのではないかということになり、事務局が本当に頑張ってくれて、週報を毎週出すことができました。週報に書く内容としては、その時の兵庫県内の広がり具合とか、国がどういう対策を打っているとか、いろんな情報話を書いたことを覚えています。

気温の上昇と共に、だんだんコロナの蔓延もひと山過ぎて、6月の中旬ぐらいになって、例会をやってもいいかなという感じになってきました。やはり年度終盤の、6月に1回ぐらい例会をしておかないと、やめるにやめられないなというところもありましたので、6月の終盤に、例会をしたことを覚えています。そのときに、年度後半に、皆さんから会費を集めているのに例会をしていませんでしたし、委員会活動も止めていましたので年間予算が大分余っておりました。そういうのを全部持ち越して次年度の前期の会費を無料でいきませんかと次年度会長の鮑さんに御相談して、鮑さんも快くそうしましょうということ引き受けていただき、無事に済んだというところでした。

今でも思うのは、やはりいかに早くどんな病気かとか、どう広がるのかとか、どうしたらいいのか、特にロータリークラブは会員が既往症と高齢者ばかりであり、それが集まって飯食ってわいわいやるわけですから、一番危ない状況にあったのではないかと思います。今後も似たようなパンデミックが起こる時に、早くこの病気がどんな性質があるのか、どのように感染するのか、どういう対策したら感染しにくいとか、クラブ活動を、やっていけるのかと、そういうのを早く見つけていただき、あとは国や県が密に集まるなどか、こういう対策をしろとかを、早く出していただければ、運営はしやすいかと思えます。

先日五百旗頭名誉会員が書かれた震災関係のリスク管理の在り方の本を読んだのですが、有事の場合、マニュアルにある有事が起こると、マニュアルにないことが起こるといのは大違

いと思うんですね。以前自衛隊の偉い方も言われておられましたけど、本当の有事というのはマニュアルがないことが起こることだと。それが起こったときに、ロータリーの執行部も、会長、副会長、幹事、危機管理委員会がまとまって、どういうふうにしていくのか、誰がその決定権を持ってやるかというのは、頭に置いておくべきだと思います。

吉田博 ありがとうございます。その年度の吉田茂幹事さん。もし補足とか、独自のお考えがあれば、お願いできますでしょうか。

吉田茂 流れとしては、須藤元会長が言われたとおりの流れでございました。本当に未曾有のことであったものですから、一体どうしたらいいかということは全く分からず、ほとんど危機管理委員会というのは毎回開いたのですけれども、開いた中でもあてはめられる規定が何にもないわけです。なおかつ、早急に決定が求められる時、会長、幹事、三役に一任するという規定でもあれば、我々もこれすぐ対応しようということではできたのですがそれもできないので、理事会を開かなきゃいけないとか、何かいろいろ障害があったので、その辺のこともこれからは考えないといけないけど、この危機管理委員会でどういうふうにするかということが、一番問題でしたね。

私が幹事として何をしましたかという、ちょうど同年度の神戸ロータリーの会長と神戸西ロータリーの会長と、ほとんど個人的に電話しながら、どうしますということを打ち合わせしながら、神戸ロータリーは歴代会長がこうい



吉田 茂 会員

うふうなことを言われているので、うちはこちらがこうしますということをお願い、それを踏まえた上で、神戸東は危機管理委員会をやりました。その上で神戸東はこうすべきじゃないかという方針が決まり、その会議が終わったすぐ後に神戸西の西川会長から電話かかってきて、神戸東どうになりましたかと聞かれ、いや、うちは例会をもうしません。休会にしてこれからどういうふうに危機管理を行なったらいいかということ話し合っていきますという話をしたら、うちも同じようにホテルオークラでしているの、神戸東さんと同じようにやりますということで、連携を密に取りながら、3つのクラブでどうしていくかという話し合いながらやりました。

これはやはり1つのクラブだけでこうしようということじゃなく、そういうふうに複数のクラブで連携しながらやっていくということは、重要なことだと思うのです。それによって、マスク、フェイスガードを寄付していただいたり、それからキリンビールからマスクをいただいたりしました。そのマスクは医療関係者が使う特別なマスクなものでしたので、一般の方よりも医療関係者のほうに優先しようということで、4月に中央市民病院、西市民病院それから中井病院、久野病院等の病院に振り分けさせていただきました。それから少数ですけども、メンバーの方の医院のほうにも配らせていただきました。それをコロナの真っ最中に配りに行った覚えがございます。

そういう対応っていうのもどうするか、理事会もできなかったわけですから、もうこちらのほうで申し訳ないですけども、会長と話して病院関係者に全部配ろうということで割り振りをさせていただきました。そういう面を考えると、未曾有のときに行政機関と連携しながら、三役で決めなきゃいけないと。それを理事会に諮ってタイムラグがあると、どうしても対応が後手に回り、蔓延するかもしれないという可能性があり、緊急の場合は三役で決定権を任せて

もらうということを書いたほうがいいのではないかと提案を、危機管理委員会にした覚えがあります。もう3年から4年近く経つものですから大分記憶が薄れてしまって、かなり苦労した覚えだけが記憶に残っています。

先ほど司会が言われたように志村けんさんの死亡というのが一番大きな問題で、実は私は例会を何とか再開しようとしていたのですが、医療関係者の方も、もういろいろこういう手段を取ったらやったらいいんじゃないかっていう話があったんですが、志村けんさんが亡くなったというニュースが出た途端、その医療関係者の方もやめようと。急にやはり同年代の方が亡くなれると、やっぱり怖いからやめようということで、再開はできませんでした。その再開するにはどうしたらいいかということを探るのが、休会してからの道筋です。そういう面で危機管理が、こういうことを何も規定していなかったというのは、後手に回ったかなという気がいたします。

吉田博 ありがとうございます。神戸東ロータリークラブだけで対応したのでなしに、ほかのロータリークラブと相談しながら進めていったのは、どの年度から始まったんかいなと思っていたのですが、それはもう須藤年度から始まったということですね。

吉田茂 私が当時の神戸ロータリー会長さんと神戸西ロータリーの会長のさんと、仲がよかったものですから、ちょうど連絡の取りやすかったのです。

吉田博 それは一つの対策としては非常に良い効果を生んだわけですね。

吉田茂 そうですね。情報交換しながら。

吉田博 なるほど、分かりました。ありがとうございます。

それでは2020年から2021年の鮑年度の会長、よろしくお願いします。

鮑 須藤会長の後を受けて、2020年7月から私の年度にバトンタッチして、会長のテーマとし



鮑 悦初 会員

では、「ロータリークラブライフ“面白く！楽しく！カッコ良く”」ということで、スタートさせていただきました。

ちょうど年度が始まった頃、少しコロナも落ち着いて、当初は通常に戻そうということで、通常例会で始めておりました。何時からかはちょっと記憶にはないですが、先ほど須藤さんから話があったように、「マニュアルにないことが起きるのが、本当の危機」ということで、私がいつも自社の社員に言っている言葉なのですけど、「盤根錯節に遇いて利器を知る」と。いろいろ問題や課題に遇って、初めてその人の力量が問われる、価値が分かる。会長テーマは「ロータリークラブライフ“面白く！楽しく！カッコ良く”」。ですが、リスクを考えれば、休会することが一番リスクがない。当時の道上会員が、危機管理委員長長の立場で「無理しないほうがいい」との助言をいただきましたけど、やっぱり簡単に休会するのは面白くないし、カッコ悪いなということで、大澤副会長、樋口幹事とで何とか例会を頑張って開催し続ける方法はないかな!?と、いろいろ試行錯誤、手段を模索しました。

山本裕計会員が非常にIT関係に詳しい。そういった会員の皆さんに手伝っていただいて、Zoomで例会を継続しました。今でいうハイブリッド例会にさせていただきました。

それからまたちょっとコロナの感染者数が収束したり、増えてきたり、暫くZoomであったり、またリアルとZoomを組み合わせで例会を再開したり。コロナで当時はもう集うな、喋るな、

息を吐くな、吸うなみたいな社会風潮がありました。例会では食事は出さず食事券を配布させていただいて、例会の後、皆さんオークラの好きなレストランで召し上がって頂く、そんな形で例会を開催させていただいたことを思い出しております。

それから、当時クラブが一番恐れたのは、長く休会すると、その流れで多くの退会者が出るのじゃないかといった心配がありまして、何とか踏ん張って例会の維持、継続に努めました。須藤さんからも話がありましたけど、須藤年度、コロナで多くの計画していた活動が制限されたことで、大きな余剰金というか、私の年度にお金を繰り越してくれました。その資金とクラブの基本金の一部を取り崩し、全会員「全ての前期会費」を無料にさせていただきました。それも実は退会者を防ぐ一策、そういう思いもあったのですね。そんなことを思い出しました。

本当に皆さんの支持をいただいて、退会者がなかったわけではないですが、恐れていたほどの退会者もなく、森本年度にバトンタッチできたかなというふうに考えております。

吉田博 ありがとうございます。それでは、当時の樋口幹事。

樋口 当初7、8月ぐらいは通常の感じで始まったのですが、また秋になってコロナが蔓延し出しまして、年末には忘年家族会を予定していたのですが中止になって、その分予算どうしようかということで、皆さんにスूपをお配りしたようなことが御記憶にあるかなと思います。



樋口一哉 会員

それから鮑元会長も言われていたように、オンラインを並行でやったり、食事券をお配りしたり、いろいろ試行錯誤してやった1年でして、最後、皆出席はどうするかという議論しまして、もう例会ができなかったのだから、もう全員が皆出席だということで、鮑会長見立てのピンクのスカーフをお配りしました。

あと最後、また春になるとちょっと緩んできました、当時まだアルコールがだめであるということで、最後メリケンパークでノンアルコールの親睦会をやったことが御記憶にあるかなと思います。亡くなった石原会員に当時わざわざ熊野大社までお札をいただきに行ってもらい、それを皆さんにお配りしたというようなことも、御記憶にあるかなと思います。それやこれやで非常に苦労した1年でしたけど、変な言い方ですけど、それなりに楽しい1年を過ごさせていただいて、無事重篤な方も出ずに、森本年度、ワクチンで再開ということになり、非常に良かったかなと思っています。

吉田博 ありがとうございます。鮑年度ではほかのロータリークラブとの情報交換というのはあるのですか。

樋口 ずっと事務局経由でお聞きして、週報に神戸ロータリーは休会、神戸西はオンラインとか載せて、それで例会をやるか、やらないかとかは、その都度、毎週、道上危機管理委員長と三役で議論して、何とかけんかしないぐらいの議論で取めたというような感じですね。



鮑 他クラブと相談はしなかったですね。横視みというか、他クラブは如何しているのかとい

うことは見ていましたけど、他クラブが休会しても我々は何とかやろうぜ、それが「カッコ良い！」というようなことでした。

吉田博 組織的に、地区から指示があったという事は？

鮑 一切なかったですね。

地区はそういう責任を取らないから、「各クラブの判断で」ということです。

樋口 当クラブはオンラインとかハイブリッドとか食事券などが比較的早いほうじゃなかったかなと思いますね。

吉田博 ありがとうございます。それでは次に2021～2022の年度の森本元会長、よろしくお願ひします。

森本 私が引き継いだときは、コロナ禍はもう1年半ぐらい経過していますから、ある程度、悲壮感は薄らいできたときかなと思います。このときに最初から決めていたことが、工藤幹事が私と同じ高校の同級生で、その高校の綱領「質素剛健、自重自治」の内自治の部分はしっかり守っていこうということで、まず会長は決める人、幹事は実行する人。また工藤さんが実行力に関してもう半端じゃないということで、1年間押し切ったという感じです。



森本一裕 会員

私が決めたことは何かいうと、大きく分けて3つです。この神戸東ロータリークラブの魅力は68年間ずっとやってきて、一番大事なことは何かというと、やっぱり週1回、同じ場所で、同じものを食べて、同じ時間に。こうしたことの積み重ねが、今の神戸東の魅力を生んでいるのだと。だから、例会は食事を絶対にやりましょ

うということを決めちゃったのと、それとあとは「むつみ会」の魅力ですね。ほかのクラブにあんまりない「むつみ会」という組織があって、実は御夫人方の力を借りて、神戸東独特の雰囲気をもってきているから、これも何とか残していきたいと、受け継いでいきたいというのと。あとは、もうコロナと関係ないのですけども、女性会員を入れようじゃないかというこの3つを決めて、私はそれだけが仕事で、あとは全部幹事がやってくれたというふうな感じです。結局、全回食事の提供はやったのですけども、出席率はあまり下がらなかったのではないかなと思います。あとは実行してくれた幹事にお任せしたいと思います。

吉田博 それでは工藤元幹事さんお願いします。

工藤 7月にスタートする前に、執行部で方針を決めました。21年というのは、1月8日から緊急事態宣言が出て、ずっと蔓延防止宣言と交代しながら9月30日まで、ずっと宣言が出されたのですね。その間で宣言が外れたのは、3月23日だったかな。その日くらいから4月12日までの20日近く宣言が出てなかったというだけで、あと全部宣言が出されていました。その行動制限宣言がずっと継続、1月8日からずっと延々と続いている中の7月のスタートということでした。こんな時例会をやって蔓延させたり、もしくは持病のある方が、その蔓延で誰か亡くなったりしたら誰が責任とるのかという声がある中で、会長が食事例会やらないと何がロータリーだということを言い出して、それはそうですね、例会は必ずやるようにと定款に入っているじゃないかと。例会をやらないとロータリーではないと。前年度、前々年度がいろんなことを試行錯誤していただいて、リモートもほかのロータリーがやっているリモートよりずっとスピードが速い、いいソフトを入れて、すごいねというような評判をもらったのですが、リモートだけではあんな大きな会場でやることない



工藤恭孝 会員

じゃないかの声がありました。

鮑年度ではリモートをやっていたわけですが、そのリモートをやっている会場に、私らは次の会長、幹事だったので、リモートの会場に行っていたのですが、思う以上に皆会員が集まってくるのですね。これはやっぱり皆集まって話をしたいのだからというようにすることで、例会をやるという会長の方針になったのです。一方危機管理委員長からは、例会をやるべきじゃないと宣言が出ているのだからだめだという意見書が突きつけられました。7月1日は宣言中だったのですね。だから、やるのは御法度というような意見書まで出てきて、こんな意見書どうしようと、理事会で検討したら、実際それを無視して例会を強行するのに、何かやっぱり大義名分が必要ということで、塚本さんをお願いして、シスメックスにPCR検査キットを提供してもらいました。この年度の第一例会前にやれたら本当はもっとよかったのですね。会員の家に送り、私は何も出てないという人だけ出てきてくれというのが一番よかったのですが、送るという手間を考えると、もうこれ事後でもいいから、例会に来たときにPCRやろうと。検査2日後ぐらいに結果の連絡をくれるのですが、次の例会のときに、前回の例会では誰も陽性者はごぞいませんでしたというようなことで、例会を始めたのですね。万が一そのときに陽性が出ている人がいれば、同じテーブルだった人は、要観察してくれとかいう事ですね。PCRを2回、2週続けて会員に配って、1本1万円からするような検査キットだったのですけ

ど、それを購入してPCRをやりながら例会をやりました。その後の12月家族例会のときには、もっと安いPCRではなく唾液で抗原検査し、万が一、反応が出る人は帰ってくれというこという事にしました。それとこれもちょっと文句が出たのですが、PCRをやった人間に出席簿に桜マークを、PCRをみんなやっていますよという安心のために付けたら、今度これは個人情報漏洩だとかとまた言われて、それも聞く耳持たないという姿勢を貫きました。PCRで陽性になったという実名を明かすとかというのはよくないと思いますが、PCRをやったということの何が個人情報だみたいなことで、かなりいろいろ言われましたけど、とにかくPCRを1回目からやりました。結果的には誰も何ともなかったですね。

一緒に飯食って例会をやるのだと、雑談の中にこのロータリーの意義があるのじゃないかというようなことで、かなり危機管理委員会からは立場上言わざるを得なかったというか、蔓延したら誰が責任とるのだ、いや僕らがとってクラブ辞めますからというようなことで、進めていったのは事実です。

実際、例会をやって、出席率が90%はいかなかったけど、大体80%台がずっとクリアできました。意外とみんなはもう3年目に入って、コロナ、コロナと言っているけど、インフルエンザの方がよっぽど怖いというようなことが、逆に広がっていたような状況で、うつたらうつったときのことだと、誰々と誰々もうつつているみたいだけど何ともなさそうではないかと、味がしなくなったと言っていたねというような程度で、そんなことでびびってたら仕事もできないじゃないかというようなことと。逆に、どっかの昼飯屋に行くよりか、ここに来てPCR検査をやっている者ばかりで、自分がかかったらいかんとか言って慎重に構えているこのロータリーの会員の集まりのほうがよっぽど安全ではないかという声もあって、2年間苦労された

前年度、前々年度の試行錯誤のおかげで、我々の年度ではフルに例会をやりました。ただ、休会日をコロナ前の年度より5日ぐらい増やしたのですね。定款を読んだら祭日がある週は休んでもいいと書いてあるのを見つけたので、祭日が土曜日だろうが金曜日であろうが、火曜日は休むということで、例会は38回でした。あれから例会数が少なくなってしまいました。

おかげで、PCRの費用増加もあったのですが、予算が余ようになって、ちょっと例会少ないのではないかという声は聞こえてきたのですが、いや、このぐらいでないと蔓延中ですからねというふうに例会数を減らしたのは事実なのです。

その後我々のやった後の年度に、例会数はこんなものだというふうに例会数が減ってしまった可能性はあるのですが、その功罪のほうは後々検証していただけたらと思います。



吉田博 ありがとうございます。須藤年度に、最初に第1回の緊急事態宣言が出て、トータルで確か4回緊急事態宣言が出ておりそのうちの2回が森本年度だと思います。

須藤 緊急事態宣言は後のほうになるたびに、兵庫県が付ける条件が緩くなっていきました。例えば最初は100人以上集まるなどか、けれどもそれが1,000人になったり、2,000人になったりしていったので、同じ緊急事態宣言でも中身は違ったと思います。

吉田博 条件が緩和されてきていると。

須藤 兵庫県から100人集まると言われると、もう当クラブの例会はできないわけです。多分

森本年度のときはもうちょっと1,000人とか、そういう数字には緩んでいたとは思いました。

工藤 僕の記憶では4回じゃなくて、21年だけで1月8日に出て、またその後蔓延防止に変わって、また4月12日から緊急が出て、また蔓延になって、もう1回7月ぐらいに出たのです。21年だけで3回。

吉田博 緊急事態宣言は4回出たということで、その間に蔓延防止とか、緊急事態宣言ほどではないけれども、もうちょっと緩い、蔓延防止宣言みたいなものは出てきました。

工藤 そうです。ただ2021年だけで3回出たのは記憶に残っています。

吉田博 なるほど。森本年度、ありがとうございます。次、2022年から2023年の井元年度の井元会長お願いします。

井元 私は最初、須藤年度の副会長をやっていたので、そこから鮑年度、森本年度、3年経過をして、そろそろもうコロナも終わりかなというふうに思いまして、方針はできるだけ、楽しく例会をしたいと考えました。親睦・友情を深めるためには、リモートじゃなくてちゃんと人が集まる例会にしていこうということでスタートして、少し笑顔が足りない3年間が多かったので、ウィンドオブスマイルということで、笑顔テーマにした会長方針にしてスタートしました。

しかし、もう終わりかなと思ったら、また7月から急に第7波が襲ってきまして、7月だけだったと思いますが、リモートになりましたけど、全体としては、90%ぐらいはいろんな行事

は開催されたという状況で、須藤年度から始まって森本年度までの3年間とは違って、ちょうどコロナにも慣れてきたという印象です。

そこで何を感じたのかというと、やはりロータリーの目的というか、親睦と友情の大切さです。先ほど話にありました未曾有のことが起きたときに、ロータリーはどうあるべきか、というふうなことで、ちょうどウクライナとロシアの戦争が始まりまして、ウクライナに約40、ロシアには70~80のロータリーがあるので、私、向こうのロータリーに問い合わせをして、こういう状況でコロナにプラス戦争ということで、友情と親睦が図れるのだろうか、どういう状況か知りたいということで、メールを送ったら返ってこないのです。そこで、今度アメリカのいわゆるロータリー本部にメールを送って、こういう状況だけど、どんな情報を持っておられますかということ、そういう状況の中でも、友情と親睦を保てるというふうなことをおっしゃっていました。

そういう中で、コロナによるパンデミックの4年間トータルで考えると、一番落ち着いた年度だったというふうに思います。世界のロータリー的にはどういう状況なのかということ、ちょうど3年間ぐらい国際大会は中止しておられる。幹事と相談して、メルボルンで国際大会が久しぶりにあるからということで参加しましたら、日本だけが何かコロナ、コロナと言っているような感じで、もう誰もマスクをしていないし、国旗を持って走っているし、リモートだということを言っているのは日本だけじゃないのかみたいな感じを受けました。

それと、いわゆる横断幕を会場に作って持って行ったら、世界のロータリアンが集まって来られて一緒に写真を撮ろうみたいな感じで、コロナがうつるとかなんかそんな感じでは全然ない。反対に、こんな状況だからこそ、より親睦とか友情が深まるみたいな雰囲気がある感じがありましたね。



井元憲生 会員

ですから、一番感じたことは、何か起きててもマイナス要因が起きてても、プラスの要因をみんなまで考えたら、前よりはよくなるというようなことも非常に痛感したということですね。

反対にもうほぼコロナは終わって、今年度は100%いろんな事業をやるので、本来の目的の親睦・友情を深めるような行事をどんどん積極的に進めてほしいなとこういうふうにあります。

吉田博 ありがとうございます。そんな井元年度の鈴木幹事さん、1つ。

鈴木 会長の井元さんが親睦の大切さということを大切に考えていて、井元年度が始まるまでにいろいろなお話を聞いておまして、コロナがもうぼつぼつあける年度になるだろうから、親睦を大切にしながら、そういうことをベースにして、地域の奉仕事業もしっかりやろうじゃないかというふうな話も強調されていました。ちびっこラグビー大会とインターナショナルスクールと日本人の学校の音楽交流会、ボウリング大会も頑張ってやりました。その中でもやっぱりコロナ感染者数が若干上がったり下がったりいうことで、いろいろ気を使いながら、どうしましょうかねとちょっと思うときでも、井元さんはしっかりやろうじゃないかというふうなことで、背中を押していただいたので、何とかうまくできたかなというふうには思っております。

1つ心残りなのは、最初の親睦会ですかね。やっぱりコロナがちょっと増えて、さすがにここだけは1回目なのでいろいろ自重しようかということで、1回目は延期しましたことは少し心残りではあります。

それと政府の対応もだんだん緩くなってきて、例会でも間仕切りの設置をやめるとか、あるいはマスクはどういう形でしましょうとかいうこともいろいろ気にしながら、自主的にやっぱり判断いただき、ワクチンの打つ回数によって御判断くださいとか、多様な対応をさせても



鈴木祐一 会員

らいました。

一方、井元年度の中で、やっぱりコロナにかかる会員の方がいらっしゃったので、誰とは言わず、今これぐらいの方々がコロナにかかって療養中で元気にしておられますとか、あるいは例会の前後でかかられた場合は、そのテーブルの方々の皆さん、状況確認して問題なかったですというような御報告をさせていただいたりとか、その辺はかなり井元会長と相談しながら、丁寧に対応をさせていただいたりはしましたが、全般的には井元さんがおっしゃったように、9割ぐらいはいろんな事業がきちっとできたかなというふうにあります。

つくづく思いますのは、やはり井元さんがおっしゃる親睦、具体的には会員同士が飯を食ったりお酒を飲んだりしながら、いろいろなお話をさせていただいて、いろいろな刺激をいただいているというベースの部分が、いかに大切であるかということ、井元年度1年を通じて感じました。今現在もそういう考えは変わりません。アフターコロナでそういう心配なしに親睦会ができるようになってよかったかなと、樋口年度の活躍、樋口さんの活躍を心から祈念して終わりたいなと思っております。ありがとうございます。

吉田博 どうも大変ありがとうございました。非常に貴重なお話を、須藤年度から井元年度まで4年間のお話を拝聴していましたら、神戸東ロータリークラブは、コロナ禍には打ち勝ったなということをものすごく感じました。

それでは将来のために、うまくいかなかった

対策というのが、各年度あったかどうか、もしあれば教えていただきたいですか。

須藤 うまくいかなかったというか、反省点としたら、2月ぐらいに感染が広がりましたときに、例えば、2月後半の2回の例会をやめると決めたのに、さらに広がって、やっぱり3月も例会をやめるとか、何か休会のお願いとか休会しますとか、そういうことが小出しになってしまったというところは、反省点ですね。

例えば、2月の何日に国が方針を出しますよとか、県がどうしますよという、そういう境目のポイントを押さえてから、当クラブはどうしますと言わないと、ちょっとちぐはぐになったところがあるのが私の反省点です。



吉田茂 本当に例会をどうするの、いつまで休みますというのは、政府の方針自体も全然出てなかったものですから、須藤元会長が言われたように、いつまで例会をやるかやらないか、再開するかしないかということを決める会議を、毎回毎回その都度やるのですが、何も決められない。決められないというのは当然のことながら未曾有のことなので、政府も決められないので、我々も決められないというのは、これをまたいろんな方を集めてというと、4人以上集まったらダメとかいろいろ出ているのに、なおかつ危機管理委員会を開催するといったら、当然のことながら大人数集まらないといけないじゃないですか。そういう面を先ほど言いましたように、緊急の場合はその担当の委員長と、三役あたりで緊急の場合は決めていいかを規定してほしいです。その前年度には、災害に関

して理事会で決まって、緊急で明日の例会をやめるという場合は、三役で決めていいということ、危機管理委員会で決めたのですが、病気のことは決まらなかったもので、どうしても集まって話し合わなきゃいけないということ、やっぱりちょっとモタモタすることにつながったので、できる限りそういうことも速やかにできるような体制ができる様に規定することを想定できなかったということは反省点ですかね。

吉田博 ありがとうございます。

須藤 クラブ運営の最終決定権は、会長、幹事、危機管理委員会ではなく理事会であり、その理事会に議題をあげるのは執行部であるわけですから、それはさっき工藤さんがおっしゃったように、いくら危機管理委員会が書面で出してきた、執行部がこうやりたいといえば理事会決定を通じてやれると思います。ただ、これはもうロータリーで言っても仕方がないですけど、国の在り方として、その規制かお願いかというのは日本の場合すごく曖昧です。マスクだっただけお願いして、逆にマスクしてないと、皆で村八分にするみたいなやり方でしょう。緊急事態宣言で営業を控えるような通達の中で営業していた夜の店もあった訳です。それは日本が憲法で私権の制限はできないとか言うけど、やる時にはやらないと、逆に守っている者が馬鹿を見るみたいなそういうところに私はものすごくこのコロナの中の国の在り方についてどうかなと思いました。

吉田博 ありがとうございます。鮑年度でうまくいかなかった対策というのがございましたか。

鮑 私は特にこれというのは、思いつかないですね。幹事は分からないですけど、結構皆さんに協力いただいて、神戸東ロータリークラブはあのコロナの中で何とか、皆さんよくクラブを支えてくれました。「思いがあれば、打つ手は無限」とかいう言葉がありますが、何か方法

あるのではないかなと、特に私は反省点はなかったです。結果よし、結果オーライだったということもあると思うのですけれどね。

吉田博 ありがとうございます。

樋口 私は基本的に同意見です。何とかうまく乗り切れて、重篤な方も出ずに、本当よかったなと思っています。

今、今年度会長をしているので、会費半期無料を半額ぐらいにしとったらよかったな。もうちょっとほかにやることがあったのではというのはあります。

あのときは阪神大震災と同じことで、こんなに長引くとはあんまり考えてなくて。とにかく退会者をゼロにして、神戸東の心意気を見せるということで、理事会一丸となって、賛成していただいたので、それはそれでよかったかなと思います。

吉田博 ありがとうございます。森本年度でうまくいかなかった対策というのはございましたか。

森本 それはあんまり具体的にないのですが、個人的にちょっと残念だったと思うのが、以前は、例会前にバーがあったでしょう。あれを私の年度で再開したかったなというのが。逆にね、あれが楽しみで、例会に来る人も多からやりたいねと思います。あれはコロナでやめています。



工藤 あと1つ我々のときの問題点というのは、理事の数を減らしたことです。それは危機管理委員会から、実例会やるなという意見書が出るのは目に見えていたので、全会一致の強行

をするために理事会の数を減らそうと。理事が多いと、1人、2人がまた反対するということで理事の数を減らしたのですね。その為に理事数を減らせるように、また戻せるようにというような細則を変更までして。とにかく理事の数を減らしたのがよかったのか、どうだったのかと。多くて反対が出てもしっかり説得するべきじゃないかなと。だから、減らしてやっぱり参画意識が減って、理事が勝手にやっているのだからというような、ところが、あったじゃないかなと、未だに不安があります。その代わりに副会長が3人あって、蔓延させたときに会長、幹事が辞めるというために、副会長を3人も作ったわけだったので、理事を減らしたのはよかったかなとかいうのが、未だにどっちがよかったのかなという問題意識はございます。

吉田博 ありがとうございます。では、井元年度でうまくいかなかった対策というのはございましたでしょうか。

井元 全くありません。

吉田博 ありがとうございます。素晴らしい。それでは非常に順調に進んでまいりまして、最後に、今年度樋口年度は70周年ですけれど、あと30年後の100周年を迎える神戸東ロータリークラブにとって、今回のコロナ禍をどのように捉えたらいいかということ、また須藤年度から、簡単にお願ひできますでしょうか。

須藤 21世紀は感染症の世紀になるというのは、もう2000年になる頃に、知り合いのお医者さんの方に言われました。今まさにそういうことが目の前で起こっているわけですね。

ただ、今回の話は、第一次大戦のときに流行ったスペイン風邪と似たような病原体だから、当時と一緒に3年ぐらいで消えていくのではないかなと早いうちから予測されていました。ただスペイン風邪は収束しても、結局、経済的な混乱というのは様々な要因もありますが第二次大戦が終わるまで続いているわけです。今回もそ

の時と同じようなことになると思うと、今ウクライナとかイスラエルで紛争があるというのは不安です。それと中国、ロシアと何処かの国が一緒になり、そこに日本や欧米系が一緒になって対立し、インドとか、ブラジルみたいな人口の多い国が真ん中において、どちらに付くか分かりませんというような事をやっているのを見ると、何か不安が増しますね。ただそれはロータリーとは関係ないのですが、多分また違う病気になるだろうし、それからもっと致死性が高いものが出る可能性だってあるわけです。例えば鳥インフルエンザって人間が感染すると確か2割ぐらい死ぬのではないですかね。今は主に、鳥しかかかってないけど、鳥から人間への感染というのはインドネシアとかベトナムとかで起こってきているし、もし人と人の感染が起こり致死率2割と言われると怖いわけです。あとエボラのような強毒性の感染症みたいなのが来たらどうするかとか、そういうのはやっぱりあらかじめ、そのスタディはしていてもいいんじゃないかと思えます。もしそのような事態が起こったら、例會をいかに素早く判断してやめるとか、何かそういうことはあらかじめ勉強していてもいいのではないかと思えます。マニュアルに無い有事が起こった時にどうするかです。

吉田博 鮑年度さんのほうで100周年を目指してどうでしょうか。

鮑 100周年目指して、私は多分ロータリーの姿も変わっているんじゃないかなというふうに考えています。ロータリーは今いろいろ奉仕活動をやっています。存続していくのでしょうか、いろんなところにお金を出す、そういったことは必要ない社会になればいいというふうに思っています。

須藤さんがいろいろ戦争の話だとか、世界が分断されているとかいう話がありましたけど、やっぱり平和な世界になって、ロータリーも、そういういろんな奉仕活動、あるいは他の民間

の奉仕活動。奉仕活動を否定しているのではないですけどね。もっと豊かな社会になれば、ロータリーも時代と共に変わるのではないかなというふうに思っています。

吉田博 ありがとうございます。樋口会長は70周年、今回もそうですけど、会長テーマの文章には100周年を目指すと書いてありますよね。

樋口 そうですね。その具体的な策があるわけではないですけども。私は一番キーというか、やっぱり大事にしなきゃいけないというか、この歴史ある神戸東クラブの伝統を守りつつ、いかにその魅力あるクラブであることを維持して、かつ、会員増強もして、活発なクラブを維持していくということが、結局神戸東を生きながらえさせるということになると思います。

吉田博 ありがとうございます。森本年度はいかがでございますか。

森本 逆説的な言い方をすると、今回コロナのおかげでやっぱりロータリーの一番大事なところ、さっきから言っておりますけども、同時に食事すること、いかに大事かというのが改めて分かったことです。

私、大学生のときに文化人類学を学んでいまして、文化人類学ですごく高名な先生、石毛直道先生がおられます。この方が言われるには、人間と動物の違いは、人間は料理を作る、食事を作る。それで一緒に「共食」って、共に食べるということ、これが動物と人間を一番区別する。そういうふうに定義されている。今回そういうことがよく分かって、いかにみんなで一緒に食事を取ることが大事なことが分かった。これはコロナになったからこそ、より明確に分かったことだなど。これは個人的にそう思っています。

100年に向かうに当たって、やっぱりちょっと水を差すようですが、親切にこのようにして記録を残して、今度どうしたらいいか議論するというのは、余りにみんなは心配性かなと思います。だから、もうこんだけAIが進んでくると、

会長職なんかAIに任せておいたらいいじゃないかということになってくるので、やっぱり心配して言う必要はないじゃないかなというのが個人的な意見です。

吉田博 ありがとうございます。

工藤 ここのところ、谷村新司とか、もんたよしのりとか、多くの我々の年代が死んでいます。我々の年代があと何年、生きているのかなというように、最近特に思うようになってきたので、高齢化だけじゃなくて死亡化で、もっと減っていくというふうに、今、70歳以上の会員が何人いるのだとちょっと数えてみたら、そこそこの人数おられるので、人数は減っていくよねと。110名を割ってくると、やっぱりしんどいなというように感じて、やっぱり多いから面白いのだというのもあるのですね。若い人があんまり入りがたない感じができて、年寄りが減っていくと。そういう問題があるので、さあその辺がどうしていくのかなというのが、100年に向けては大きな課題かなというように感じています。自分のことも含めて、あと何年この会にいるのだろうかというがあるので、そういう意味で、5年先10年先、100年と言わないでもあと5、6年先のことがそもそも急激に減っていくというように不安、ちょっと可能性が高いというふうに思います。

吉田博 ありがとうございます。100周年に向けて、井元年度はいかがですか。

井元 私、神戸東の70と同じ年で70歳なんですけど。100年まで生きれば100周年でお祝いしてくれるかなと思うので、ちょっと健康に留意して、頑張りたいと思います。100周年で、神戸東が100周年でどうのこうのと言う前に、世界で国際ロータリークラブが30年後を迎えられるのかという、それがなかったら神戸東もないと思うんですけど。今の国際問題などを見ると、国境とか国とかで区切ってしまうと、戦争とかいろんな争いが起きます。ロータリーとしては、国境と国で切らなくて、地区と

して、もう少し広範囲で切って、やっていくと争いごとが減って行ってロータリーが続くのではないかなと思います。

今、日本も国境ではなく、トンガとかあの辺が、日本と同じ地区になっていますよね。というふうに、広い範囲で国と国境を越えていくと、30年後もまだロータリークラブが世界にあって、その中の神戸東がまだ残るのではないかと思います。今のこの殺伐とした国同士の争いが起ると、もしかしたら30年後はロータリーそのものがなくなっている可能性もあるかなというふうに、少し危惧するところがあります。何はともあれ、100歳まで生きると100周年でお祝いしてくれるということで、頑張りたいと思います。

吉田博 ありがとうございます。鈴木幹事さん。



鈴木 井元さんのお話とか、森本さんのお話なんかとも近いのですが、やはりクラブの中の親睦、フェローシップ、フレンドシップというのですか。これがやっぱり当たり前のことだけど、やっぱりものすごくここが不足している感じがしていて、若手の方々と長老の方々、あるいは僕ら中間世代の人間との本当の意味で心から、胸襟開いて話できているかと言えば、あまりできてないように思います。

それと、今、小人数なクラブも増えてきて、私も地区の財団で、地区内のロータリークラブを回りましたが、雰囲気低迷しているところもあります。こういうところを回っていると、神戸東RCの良さは本当よく分かります。ただ、こういうところをほっといていいのかという話

になるかと思うので、ここもロータリーの仲間としてのフェロウシップ、フレンドシップで、うまく地区の中でも、ロータリークラブ同士が連帯して、いろんな共同事業ですとか、そういうことをうまく進めていきながら、これは井元さんが言われるようにロータリー全体が活性化するようにも考えていけば、100周年も迎えられるかなと思います。当たり前のお話ですけど、そういう親睦の大切さということ、井元さんと1年やらせていただいて、改めて感じたということでございます。

吉田博 ありがとうございます。

吉田茂 すみません。今、井元元会長の話を聞いていますと、実は親父の年代につきましては、ロータリークラブ、ライオンズクラブって本当にプレミアム感があったのです。ところが、現状は新しいクラブを作れ作れということで増やしていますよね。もうプレミアム感って全くないわけなのですよ。もうどんな方でもどんどん入ってくださいという感じで、このままじゃきっと100周年は残らないと。ロータリークラブが残らないのじゃないかというふうに思うのです。会員数を増やせ増やせというよりも、そういう新しいロータリークラブを作ってどんどんどんどんというのをやめて、昔に戻ったらきっと100周年も迎えることができるというふうに思います。

先ほど井元さんが言われましたように、国境とかそういう面もありますし、どんどん増やせということ自体、間違っていると思うのです。私が増強委員長やら副委員長をやったときに実感したのですが、奥様にロータリークラブとは何ですかと聞かれたのです、JCみたいなものですかと聞かれたので、違いますよという説明から始まるわけなのですよ。もうプレミアム感って全くない。認知度もないということなので、ロータリークラブの100周年、我々の100周年以外にもロータリークラブ自体が存在しなくなるというふうに思ったりもします。ロータ

リークラブをもっと整理改編してプレミアム感を出せば、ずっと続くのではないですかね。

吉田博 ありがとうございます。まだもう少し大丈夫ですから、お話をされた方いらっしゃいますか。

鈴木 今、吉田茂さんのお話、僕も同じ意見です。やっぱり大きなクラブが小さなクラブをうまく合体してあげるといって、いつも工藤さんが言っておられましたけど、僕も本当そう思います。それをするためには、やっぱり共同でいろいろ事業に入れてあげたりとか、ガバナーさんも今そういうことをよく言われていますけど、そういうことをしながら、メンバー間の親睦を深めていけば、やっぱり大きいところに集約していけるチャンスが生まれてくるんじゃないかなというふうに、考えたりもします。

須藤 ロータリー全体の会員数が減っていくときというのは、減らずに人数を守っているクラブと辞めていくクラブと極端に2つに割れていくと思います。そういう意味では、神戸東はうまくやっているほうだと思います。ただ、さっきも樋口さんも言われたみたいに、会員数が減少しクラブ運営がしんどいというクラブも見えます。合併も一つの考え方でしょうが、これをこちらから提案した方が良いのか先方から言われるのを待っていたほうがいいのか、逆にこっちから提案する場合は、少なくともクラブの中でコンセンサスをとってから言わないといけないうし、その辺の意志の統一というのが、春秋会なり冬夏会なりも含めて何かあれば外に出てものは言いやすいと思います。また会員数が少ないと青少年奉仕、国際奉仕とか、全ての奉仕活動をやるのは無理です。その1つだけを一緒にやりませんかとか、提案するのはいいことだし、それがまた将来の活性化につながるかもしれません。またもう1つの考え方として、事務局同士をまず統合するという事もあり得るのかなと思います。

吉田茂 私は合併には反対です。ものすごく苦

労して合併したのに、逆にまた会員が減ってしまうという実例があるのは残念な事です。クラブを替わりたい方が移籍するというふうな仕組みのほうが、まだ円滑に行くのではと私は思います。合併は、難題が多いので私としては反対なのです。

須藤 合併という言葉の中には、吉田茂さんがおっしゃったような、この人はという人だけ引き受けるという、それも広い意味であると思います。神戸東クラブが発展していくようなM&A的な発想を考える必要がありますね。

吉田博 ありがとうございます。石川さん、一言、何か。

石川 皆様の苦労話をお聞かせいただきまして、コロナ禍での組織運営は本当に大変だったのだらうと思いました。

4年間の皆様のご苦労を糧に私も含め現会員、これから入会される会員は80周年、90周年、100周年へと歩んでいくのだらうと思いますが、ご苦労された皆様の行ってきたことや考え方を1人でも多くの会員様に記録を残しながら伝え



石川泰平 会員

ていくことも重要という風に感じました。

本日は貴重なお話をお聞かせいただきまして有難うございました。

大変勉強になりました。

吉田博 ありがとうございます。私も今回、記念誌部会の担当をさせていただくについて、50周年記念誌と60周年記念誌の座談会のところを見てみましたら、テーマが多いと長くなるので、テーマを絞って、このパンデミックに絞ってさせていただきました。私が言うのもおかしいけれど結果よかったなと思っております。お忙しいところ集まっていたいただいて、本当にありがとうございました。



2013

平成25年～26年

2014

地区ガバナー 大室 雋

会長(理事・役員) 野々村 禎之
 会長エレクト(理事・役員) 乙守 典厚
 副会長(理事・役員) 岡 栄治
 幹事(理事・役員) 須藤 雄二
 副幹事 澤田 正樹
 直前会長S.A.A.(理事・役員) 中井 章詞
 副S.A.A. 三戸岡英樹
 // 道上 明
 会計(役員) 田中 健三
 副会計 多田 善計
 職業奉仕(理事) 橋本 豊捷
 社会奉仕(理事) 井元 憲生
 国際奉仕(理事) 村元 信吾
 青少年奉仕(理事) 土田 剛司
 無任所(理事) 野田 晴清
 // 岩野 了



2013(平成25)年
7月9日 第1回親睦会
(オリエンタルホテル神戸)



8月3日
みなとこうべ海上花火大会鑑賞会(神戸メリケンパーク
オリエンタルホテル)



10月24日 王子動物園案内看板
及びベンチ寄贈



11月2日
永田 萌さんと王子動物園で絵を描こう
(王子動物園)



11月4日
シンガポールRC歓迎会
(ホテルオークラ神戸)



11月6日 友生支援学校太鼓寄贈



第60代会長
野々村 禎之

2013-2014年度は、2013年7月2日に第1例会を行い、6月24日までに45回の例会を行いました。

当該年度はクラブ創立60周年、人生に例えるならば「還暦」という節目の年でありました。「これまでの人生を振り返り、生まれ変わった気持ちで新たにスタートを切る年」と位置付け、過去から継続してきた事業を振り返り、また新しい事業の開発等スタートをさせるとの思いから、当該年度の会長テーマを「みんなでさがそう 新しい芽」とさせて頂きました。

当該年度は、創立60周年実行委員会組織とダブルキャスト(double casting)を組みましたので、上半期(7-12月)は、通常のクラブ事業に集中させ、結束力を高めるための親睦会、プロバスクラブ総会への出席、花火大会、写生大会、中央区少年団野球大会、地区資金活用事業として、友生支援学校への和太鼓寄贈事業、王子動物園案内看板等の贈呈式の事業を行いました。

下半期(1-6月)は創立60周年実行委員会の活動中心で、例年恒例の初釜例会に合わせ、関連クラブであります東灘・六甲・ベイ・プロバスとの合同例会の開



11月17日～18日 東北家族旅行



12月26日 忘年家族会 (第一樓)



2014 (平成26) 年
1月7日 初釜合同例会
(神戸東灘RC、六甲RC、ベイRC、神戸東プロバスクラブ)



1月17日
青陽東養護学校招待ボウリング大会
(神戸六甲ボウル)



2月21日
友生支援学校招待ボウリング大会
(神戸六甲ボウル)



3月9日 中央区少年団親善野球大会
(山の手小学校)



3月11日
職場訪問ゴンチャロフ製菓



4月8日 創立60周年記念講演会・式典・祝賀会



6月24日 第3回親睦会
(モズライトカフェ)

催、4月に創立60周年記念式典・祝賀会と記念講演会「インクルージョン社会を目指して」題して細川佳代子氏に講演を頂き、「新しい芽」として、職業・社会奉仕分野で障害者の就労支援への取り組み事業へのスタートとなりました。

各委員会も、テーマに伴う具体的な活動を行い、目的を十分に達成して頂き次年度へのバトンタッチもスムーズにできました。

日本の出来事・世界の出来事

- 2013年
 - 7月13日 スノーデン容疑者、米情報収集活動を暴露
 - 9月8日 2020年夏季五輪・パラリンピック、東京開催決定
 - 10月1日 消費税8%へ引き上げ決定
 - 11月8日 フィリピン台風、死者・不明7千人
 - 11月23日 中国が尖閣上空に「防空識別圏」
 - 11月24日 イラン核合意、米との対立に転機も
 - 12月6日 特定秘密保護法が成立
- 2014年
 - 2月 ウクライナ(クリミア)危機
 - 6月 「イスラム国」が勢力拡大、有志連合空爆
 - 3月～12月 エボラ出血熱感染拡大

2014 平成26年~27年 2015

地区ガバナー 滝沢 功治

会長(理事・役員) 乙守 典厚
会長エレクト(理事・役員) 道上 明
副会長(理事・役員) 吉井 正幸
幹事(理事・役員) 澤田 正樹
副幹事 鮑 悦初
直前会長S.A.A.(理事・役員) 野々村 禎之
副S.A.A. 野田 晴清
// 植村 孝一
会計(役員) 岩野 了
副会計 田中 寿夫
職業奉仕(理事) 横山 公一
社会奉仕(理事) 吉田 茂
国際奉仕(理事) 香山 道宣
青少年奉仕(理事) 榊原 志朗
無任所(理事) 吉田 建美
// 須藤 雄二



2014(平成26)年
7月22日 第1回親睦会
(神戸メリケンパーク
オリエンタルホテル)



10月19日 京都日帰り家族旅行
(京懐石美濃吉竹茂楼)

10月20日
特別支援学校作業学習見学会
(青陽東養護学校)



11月24日
中央区少年団親善野球大会
(山の手小学校)

11月26日 心の扉を開くハーモニー
(青陽東養護学校)



11月30日
永田 萌さんと王子動物園で絵を描こう
(王子動物園)



12月16日
忘年家族会
(ホテルオークラ神戸)



第61代会長
乙守 典厚

神戸東ロータリークラブが創設された1954年は、日本も明るい未来に向かう成長期であり、ロータリークラブも同様に成長を続けてまいりました。

しかし振り返ってみますと、経済も文化も生活水準も向上し、確かに社会が豊かになっておりますが、60年前の希望や輝きは影を潜め、元気をなくしてしまったような気が致します。これはロータリークラブにおいても同様のことではないでしょうか。

創立60周年という節目を越えた今年度は、過去を見直し現在を見つめ将来に目を向け魅力あるクラブにすることを目標に、テーマを「希望を抱いて輝きを！」と制定し、常に希望をもって進んで行くことに努めてまいりました。

神戸東ロータリークラブらしさである他クラブにはない魅力ある雰囲気づくりや、新理事や正副委員長の方々を会員みんなで支えていくとともに、「若い力」「新しい力」を育ていけるような仕組みを構築し実行してまいりました。

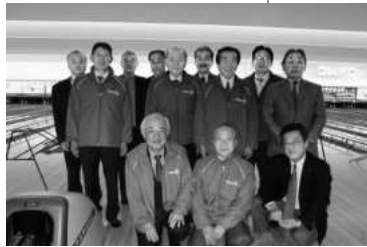
奉仕活動についても、質の高い発信力のある奉仕事業計画を、各委員会と共に考えました。

特に「会員増強」と、それに伴う「多様性」についても、新たな考え方で取り組み、すべてにおいて「選択と集中」を基本として、各委員会には、成果を実感できるような事業をしていただきました。

創立から60年が経ち、会員も100名を超える大所帯となりました。また我クラ



2015（平成27）年1月6日 初釜例会



2月20日 友生支援学校招待ボウリング大会
（神戸六甲ボウル）



5月26日 職場訪問バリュープランニング



1月16日
青陽東養護学校招待ボウリング大会
（神戸六甲ボウル）



4月14日 創立61周年記念例会
（ホテルオークラ神戸）



6月30日 第2回親睦会（天安閣）

日本の出来事・世界の出来事

- 2014年
 - 7月1日 解釈改憲で集団的自衛権容認
 - 12月14日 衆院選で与党圧勝
 - 11月18日 消費税率10%への引き上げ延期
 - 12月 エボラ出血熱感染拡大、死者6000人
- 2015年
 - 1月 ギリシャ債務問題でユーロ危機

ブがスポンサーとなって創立したクラブは4クラブに達し、ここまで歩むことができたのも先達の御苦勞があつてこそと拝察いたします。

ただ、この規模のクラブを現在の会場で例会を行い、事務局を設置し、近い将来の消費税率の引き上げなど国民負担率の増加を考えると、110名以上の会員が必要になってくると思います。

女性会員の入会に関しては、世界の潮流として、ロータリークラブだけでなく、あらゆるところで女性が活躍しております。我クラブも、今後検討する必要があると思われまふ。

最後に、効果的なクラブにするシステム「CLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）」について、ご説明いたします。CLPを理解するには、「DLP（ディストリクト・リーダーシップ・プラン）」から理解しなければなりません。どちらも地区とクラブの「時間対効果」と「費用対効果」を最大限に引き上げていく運営上の組織構成のことです。

我クラブのような大規模クラブでは、あまり急がず会員の理解を深めながら準備を進め、機が熟すのをみて実行に移してまいりたいと思っております。

これらの課題を一步ずつ進めながら、我クラブに関わる全ての人が、希望に満ち、光輝き、そして少しワクワクするようなクラブに発展していけるよう尽力する所存でございます。

2015

平成27年～28年

2016

地区ガバナー 丸尾 研一

会長(理事・役員) 道上 明

会長エレクト(理事・役員) 横山 幹夫

副会長(理事・役員) 岩野 了

幹事(理事・役員) 鮑 悦初

副幹事 大澤 勇

直前会長兼S.A.A.(理事・役員) 乙守 典厚

副S.A.A. 嘉納 忠夫

// 松下 衛

会計(役員) 山崎 仁嗣

副会計 榊原 志朗

職業奉仕(理事) 大澤 勇

社会奉仕(理事) 宮 昭久

国際奉仕(理事) 井元 憲生

青少年奉仕(理事) 福原 敏晃

会員増強(理事) 榎野 孝人

無任所(理事) 中井 章詞



2015(平成27)年
8月8日 親睦・家族花火大会
(神戸メリケンパーク
オリエンタルホテル)



8月25日 第1回親睦会
(カフェテラスドパリ)



10月27日 職業訪問
(KIMECセンター、
理研計算科学研究機構)



11月15日 日帰り家族旅行(淡路)



11月29日 永田 萌さんと王子動物園で絵を描こう
(王子動物園)



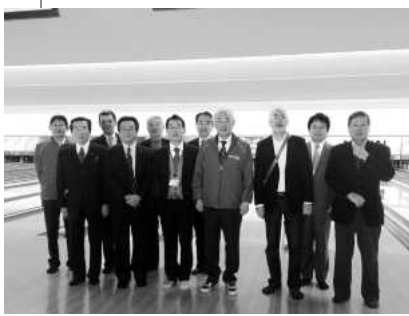
第62代会長

道上 明

今年度会長テーマである「原点をみつめ、愛あるロータリー活動を」にご理解を賜り、誠にありがとうございます。今年度、例会は、合計45回開催し、147名のビジターの来会を迎えました。また、従来にもまして会員卓話の回数も増え、卓話経験のない会員を中心に可能な限りお声がけて会員卓話の拡大を追求するとともに、特別月間や身近な関心事に近い卓話を追求しました。ロータリーは、発足当時から、すなわちポール・ハリスの時代から、いわば会員卓話から始まっていると考えられ、ロータリーの原点はまさに会員卓話にあると思います。

他方、このテーマを掲げたのは、丸尾ガバナーが通年行事や行動を単に踏襲しているだけではないか。又、セミナーが年中行事化し、感動が希薄化していないかなどを検討してほしいと問題点指摘されたからでした。すなわち、マンネリズムの打破ということだと思います。

そこでまず、福原敏晃会員の協力で「夢をかなえるパティシエ体験」を初めて行いました。また、「時代に合った事業」として、神戸医療産業都市及び理研計算科学研究センターの「スーパーコンピューター京」の見学を行いました。スーパ



12月11日
青陽東養護学校招待ボウリング大会
(神戸六甲ボウル)



12月22日 忘年家族会
(神戸メリケンパーク
オリエンタルホテル)



2016 (平成28)年1月5日 初釜例会



4月12日 創立62周年記念例会
(ホテルオークラ神戸)



5月15日 夢をかなえるパティシエ体験



5月28日～30日 国際ロータリーソウル国際大会開会



6月28日 第2回親睦会 (天安閣)

ーコンピューターの意味するところやその価値は、私などでは計り知れないところがありますが、その開発に向けられた人々の思いには、深く感じ入るものがありました。また、国際奉仕の活動として、5月28日から30日まで、ソウル国際大会に参加して世界のロータリアンと交流を深めました。ロータリーに対する認識を深めるとともに、世界における日本ロータリアンの存在感を示すことができたのではないかと思います。非常に私事ながら、妻と2名で旅行に参加するのは新婚旅行以来であり、こそばゆいような楽しいような不思議な気持ちでありました。これこそまさに、「原点」をみつめる「愛ある」ロータリー活動だったかもしれません。

他方、王子動物園での絵画教室は、ガバナー賞をいただきました。マンネリは打破しつつ、必要なものはしっかりと続けていく、永年にわたる当クラブのこの活動が認められたものであり、本当に嬉しく思います。

最後になりますが、神戸東ロータリークラブ会員の皆様、並びにむつみ会の皆様及び事務局のご協力を心から感謝いたしまして、結びの言葉とさせていただきます。

日本の出来事・世界の出来事

- 2015年
 - 7月5日 アメリカとキューバ、54年ぶり国交回復
 - 8月15日 戦後70年
 - 9月19日 安全保障関連法成立
 - 10月5日 環太平洋連携協定 (TPP) 大筋合意
 - 10月15日 ラグビー W杯で日本が歴史的勝利
 - 12月10日 大村智・北里大特別名誉教授が「エパーメクチン」の発見でノーベル医学生理学賞を受賞
 - 梶田隆章・東京宇宙船研究所長が「ニュートリノ」に質量があることの発見でノーベル物理学賞を受賞
- 2016年
 - 1月29日 日銀がマイナス金利政策の導入を決定
 - 4月16日 熊本県を震源とするM7.3の地震が発生 (熊本地震)
 - 5月17日 オバマ米大統領が現職米大統領として初めて広島を訪問
 - 6月1日 消費税増税再延期

2016

平成28年～29年

2017

地区ガバナー 室津 義定

会長(理事・役員) 横山 幹夫

会長エレクト(理事・役員) 吉井 正幸

副会長(理事・役員) 澤田 正樹

幹事(理事・役員) 大澤 勇

副幹事 梅田 稔

直前会長S.A.A.(理事・役員) 道上 明

副S.A.A. 今井 拓雄

// 野々村 禎之

会計(役員) 中井 章詞

副会計 多田 善計

職業奉仕(理事) 吉田 正人

社会奉仕(理事) 香山 道宣

国際奉仕(理事) 土田 剛司

青少年奉仕(理事) 樋口 一哉

会員増強(理事) 山本 裕計

無任所(理事) 松下 衛



2016(平成28)年
10月15日
障がい者の福祉事務所へのお菓子作り教室



10月25日
職場訪問
(ハーレーダビッドソン、PIGC)



10月16日
中央区少年野球団親善野球大会



11月10日
神戸東プロバスクラブ
創立15周年祝賀会
(芦屋竹園)



第63代会長
横山 幹夫

ロータリー活動は一人ひとりが個人として、また事業及び社会生活において奉仕の理念を实践すること、すなわち職業奉仕が第一義の目的ですが、これを木の幹とするならば、そこに栄養を送る根にあたる「会員が集まる場」が楽しくなければ参加者も減り、会話が弾まず、足らざるところを他のロータリアンから学ぶ機会も減ります。そういった考えから会長テーマを「楽しもう、そして何ができるか考えよう!」として一年間活動しました。

このテーマを踏まえたクラブ奉仕に属する委員会のご尽力で楽しい場を多く持つことが出来、特に例会のプログラムにおいては会員卓話が20回を超え、その話から刺激を受けるとともに大いに参考になり、各人の職業奉仕に役立ったのではないかと思います。

次に、幹を太くすることが出来たのなら、枝にあたる対外的な奉仕活動も積極的にやっいていこうということで、地区補助金を利用した「福祉事業所での本格的なお菓子作り」に重点的に取り組み、お菓子作りのための機材一式を「NPO法人ボレロ」に寄贈しました。この事業はマスコミにも取り上げられ、地区の評価



11月23日
日帰り家族旅行（丹波篠山）



11月27日
永田 萌さんと王子動物園で
絵を描こう（王子動物園）



12月9日
友生支援学校招待ボウリング
大会（神戸六甲ボウル）



2017（平成29）年
1月13日
青陽東養護学校招待ボウリング大会
（神戸六甲ボウル）



1月17日
NPO法人ボレロに業務用設
備機材贈呈式



5月16日
地区補助金奨学生小川優さん卓話



5月27日
「三東会」結成調印式（帝国ホテル大阪）

も高く、次年度以降に引き継がれました。その際協力いただいた「特定非営利活動法人クルーズ」には現在も支援を続けています。

その他にも青陽東養護・友生支援両校の生徒を招いての招待ボウリング大会、王子動物園での永田萌さんの絵画教室、中央区少年団野球大会を引き続いて行いましたが、創立50周年より行ってきた日本熊森協会に対する援助はしっかり自立し、活動を継続されているということで我々の目的は達せられたと判断して終了しました。

また、この年はロータリー財団100周年に当たり過去最高額の寄付金を送ることが出来ました。更に、2009～10年度以来7年ぶりに地区奨学金（タイプ2）の制度を利用した留学生（小川優さん）をイギリスのヨーク大学に派遣しました。

対外関係では、大阪東クラブから京都東クラブを加えた規模・歴史がよく似た3クラブで友好関係を作ろうという提案があり、大阪東クラブの創立60周年記念式典において調印式を行い「三東会」を結成しました。文化の違うクラブとの交流は我がクラブにとっても大いに参考になると思います。

日本の出来事・世界の出来事

- 2016年
 - 8月5日～21日 リオ5輪 過去最多41個のメダル
 - 9月2日 日ロ首脳会議 プーチン大統領・安倍首相の故郷山口で会議
 - 10月2日 大隈良典氏ノーベル医学生理学賞受賞
 - 11月8日 トランプ氏 大統領選の勝利
 - 12月8日 天皇退位 2019年4月末日、閣議で決定
- 2017年
 - 1月 トランプ氏大統領に就任
 - 5月7日 フランス大統領にマクロン氏史上最年少39歳で就任

2017

平成29年～30年

2018

地区ガバナー 瀧川 好庸

会長(理事・役員) 吉井 正幸

会長エレクト(理事・役員) 澤田 正樹

副会長(理事・役員) 山崎 仁嗣

幹事(理事・役員) 梅田 稔

副幹事 山本康一郎

前会長兼S.A.A.(理事・役員) 横山 幹夫

副S.A.A. 中井 章詞

// 須藤 雄二

会計(理事・役員) 吉田 建美

副会計 多田 善計

職業奉仕(理事) 三戸岡英樹

社会奉仕(理事) 鈴木 祐一

国際奉仕(理事) 田中 義明

青少年奉仕(理事) 四方 克明

会員増強(理事) 藤本 義洋

ロータリー財団(理事) 上村 伸幸

公共イメージ(理事) 乙守 典厚



2017(平成29)年
8月5日
みなとこうべ海上花火大会鑑賞会
(神戸メリケンパークオリエンタルホテル)



9月12日 第1回親睦会
(北野クラブ)



10月24日 職場訪問見学会 ヤクルト本社三木工場



10月26日
地区補助金プロジェクト
ボレロ水道筋店「地域の福祉施設を繋ぐ障がい者福祉作業所の施設改善」



11月17日
第4回神戸東ロータリークラブ交流会(神戸メリケンパークオリエンタルホテル)



第64代会長

吉井 正幸

ロータリークラブの創始者ポール・ハリスは、ロータリークラブは「千人いれば千通りのロータリークラブがある」と言っております。そこで、名門である神戸東ロータリークラブの歴史と奉仕の伝統を、独自色であると考え、みんなで参加してロータリー活動をしようと、「明るく・楽しく・みんなで奉仕!(I serve it together brightly and happily!)」と会長方針を決めさせて頂き、1年間クラブ運営をして参りました。

よく言われる、会長職は「短い1週間・長い1年間」を実感した1年でした。

先達者の先輩が築き上げた「伝統と格調の高さ」を継承するというプレッシャーは相当にありましたが、その「伝統と格調の高さ」を指針として助けられたことも多々ありました。

7年ぶりに野田ガバナー補佐を輩出し、中井IM実行委員長の元、原点回帰の素晴らしいIMが開催出来ました。そして、前年度締結した友好三クラブ、京都東RC・大阪東RCとの「三東会」の第1回目を当クラブの担当で開催をしました。他府県ロータリーアンとの交流でロータリーライフの幅が大きくなったと実感しています。

この年度の目標は職業奉仕の精神(Vocational Service)を神戸東RCの根幹とすること、それから新会員の増強でした。



11月26日
永田 萌さんと王子動物園で絵を描こう
(王子動物園)



12月8日
友生支援学校招待ボウリング大会
(神戸六甲ボウル)



12月26日 忘年家族会
(神戸メリケンパークオリエンタルホテル)



2018 (平成30) 年1月9日 初釜例会



2月19日 青陽東養護学校招待ボウリング大会
(神戸六甲ボウル)



4月10日 第64回創立記念例会
(ホテルオークラ神戸平安の間)



4月15日
日帰り家族旅行春の京都(京おどり)と京料理を楽しむ旅



6月12日 第2回親睦会
(神戸メリケンパークオリエンタルホテル)

日本の出来事・世界の出来事

- 2017年
 - 7月 北朝鮮、核・ミサイル開発加速
 - 7月5日 九州北部豪雨
 - 10月 中国、習近平氏「1強」確立
 - 10月22日 衆院選で自民大勝、民進が分裂
 - 12月8日 天皇退位、2019年4月末に
 - 12月 NYダウ、2万4000ドル突破
- 2018年
 - 1月 トランプ米政権発足、混乱続く
 - 4月27日 朝鮮半島非核化、南北首脳が合意
 - 5月8日 米がイラン核合意離脱、制裁再発動
 - 6月4日 財務省が森友文書改ざん、20人処分
 - 6月12日 米朝が史上初の首脳会談

細則改正で職業奉仕の精神を神戸東風に文言を追加しました。会員も純増を達成しました。本当に多くの奉仕活動を実行して、目標を達成できたのも神戸東RC会員の皆様が個人個人、素晴らしい奉仕の力を持っているからだと感じました。

例を挙げますと、クラブ奉仕として書道家の安田舞氏の書道パフォーマンスの第1回会員親睦会、アイドルグループ「DDプリンセス」のショーで盛り上がった最終の会員親睦会。2年毎の「みなと神戸海上花火大会」鑑賞会、恒例の忘年家族会、創立記念例会、京都宮川町「京おどり」鑑賞の家族旅行、入会候補者との交流会など多様な事業を実施いたしました。

また奉仕プロジェクトとして、ヤクルト本社三木工場の職業奉仕見学。NPO法人ボレロ水道橋店内の壁のしっくい塗奉仕。恒例の支援学校と養護学校の招待ボウリング。「永田萌さんと王子動物園で絵を描こう」と題して幼児・小学生を対象にした

事業等々実施して頂きました。紙幅の関係で全ての事を記すことは出来ませんが多くの奉仕活動を各委員長さんが中心になって実施して頂いた1年でした。

最後になりますが、神戸東ロータリークラブの益々の発展を祈念しまして、心から感謝と御礼を申し上げまして年度報告とさせていただきます。

2018

平成30年～令和1年

2019

地区ガバナー 矢野 宗司

会長(理事・役員) 澤田 正樹

会長エレクト(理事・役員) 須藤 雄二

副会長(理事・役員) 福原 敏晃

幹事(理事・役員) 山本康一郎

副幹事 吉田 茂

直前会長兼S.A.A.(理事・役員) 吉井 正幸

副S.A.A. 山崎 仁嗣

// 森本 一裕

会計(理事・役員) 友藤 順義

副会計 田中 寿夫

職業奉仕(理事) 松井 照男

社会奉仕(理事) 石原 守

国際奉仕(理事) 松谷 齊泰

青少年奉仕(理事) 田中 寿夫

会員増強(理事) 井元 憲生

ロータリー財団(理事) 藤井 光造

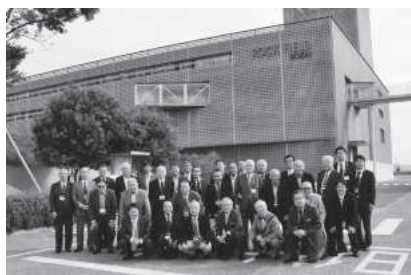
公共イメージ(理事) 横山 幹夫

相談役 三原 孝公

// 高嶋 良平



2018(平成30)年
8月28日
第1回会員親睦会
「真夏のナイトクルーズ」



10月16日 職場訪問見学会
(株)ロック・フィールド
(神戸本社)



11月17・18日
創立65周年記念家族旅行
足立美術館、松江堀川めぐり、玉
造温泉を巡る1泊旅行



11月25日
永田 萌さんと王子動物園で絵を描こう
(王子動物園)



12月7日 友生支援学校招待ボウリング大会
(神戸六甲ボウル)



12月25日
忘年家族会
(神戸メリケンパークオリ
エンタルホテル)



第65代会長

澤田 正樹

私は、2018年7月から2019年6月まで、第65代会長を務めました。

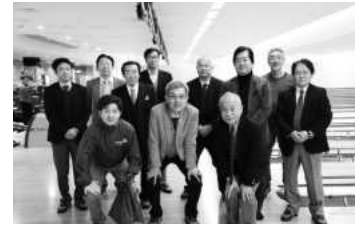
RIバリー・ラシン会長テーマは、「インスピレーションになろう」。ロータリーが直面している課題を解決する意欲を周囲の人々の心に芽生えさせる行動を起こそうということでした。

矢野宗司ガバナーは、それに呼応して、ロータリーデーの開催を呼びかけ、兵庫県政150周年関連事業として2018年11月3日、4日に兵庫フェスタを開催。当クラブの松井照男奉仕プロジェクト委員長は地区の実行委員として精力的に尽力、神戸東ロータリークラブは大きく貢献しました。

創立60周年以降、新しい会員が1/3を占めてきているなかで、クラブの一体感を生み出す何らかの活動をしなないといけない時期に来ていると感じ、クラブの活性化のために創立65周年事業をすることにしました。目玉事業として、車いすテニスの社会奉仕事業(故石原 守委員長)、カンボジアからのVTT国際奉仕事業(松谷齋泰委員長)、メキシコからの留学生受入の青少年奉仕事業(鈴木祐一会員)を行うことに決めました。びっくりするくらい各活動は活力に満ちあふれ、事業は成功裏に進みました。こうして、各奉仕委員会活動が活性化されるにつれ、ロ



2019（令和元）年
1月8日 初釜例会



1月31日
青陽東養護学校招待ボウリング大会
（神戸六甲ボウル）



2月19日
地区補助金事業「車いすテニスを
介した障がい者と健常者の交流支
援事業」



3月31日
グローバル補助金プロジェクト
GG19831392



3月31日 カンボジアVTTプロジェクト
報告会・送別会（神戸メリケンパークオ
リエントルホテル）

4月16日
創立65周年
記念式典・祝賀会
（ホテルオークラ神
戸平安の間）



6月25日
第2回親睦会（神戸メリケンパーク
リエントルホテル）

ーター財団委員会（藤井光造委員長）や米山記念奨学委員会（大澤 勇委員長）の活動も盛り上がり、多くの寄付金、浄財をいただくことができました。一方、家族委員会事業（田中義明委員長）として、足立美術館、松江城、大山寺の1泊バス旅行も行い、思い出に残る家族旅行ができました。この創立65周年の事業全般の執行委員長を乙守典厚元会長にお願いし、2019年4月16日の記念式典祝賀会は大いに盛り上りました。会員皆さんの熱意が素晴らしく、創立65周年事業を行って良かったなと心底感じました。一方、これらの事業を支えていただいたニコニコ箱奉仕金も、SAAの吉井正幸直前会長のご尽力もあり、多額のご奉仕をいただきました。会員増強についても、井元憲生会員増強委員長の尽力により、12人の新会員が入会しました。クラブ全体に活気が満ちあふれた一年でした。ただ、6月の会期末、会費値上げという厳しい案件をお願いすることになりました。また、長くクラブの事務方でご尽力いただいた橘 恵子さんが退職されました。

これら全ての活動は、福原敏晃副会長、山本康一郎幹事のご協力なくして得られないものでした。感謝！

日本の出来事・世界の出来事

- 2018年
 - 7月6日 オウム松本元死刑囚らの刑執行
 - 7月10日 タイの洞窟で少年ら13人全員救出
 - 米中貿易摩擦が激化
- 6月・9月
 - 西日本豪雨、北海道地震、災害相次ぐ
- 9月28日 インドネシア地震津波で犠牲者多数
- 11月19日 日産ゴーン会長を逮捕
- 2019年
 - 4月15日 ノートルダム大聖堂火災
 - 5月1日 天皇陛下が即位令和に改元
 - 6月9日 香港で大規模デモ

2019

令和1年～2年

2020

地区ガバナー 浅木 幸雄
 会長(理事・役員) 須藤 雄二
 会長エレクト(理事・役員) 鮑 悦初
 副会長(理事・役員) 井元 憲生
 幹事(理事・役員) 吉田 茂
 副幹事 樋口 一哉
 副会長S.A.A.(理事・役員) 澤田 正樹
 副.S.A.A. 今井 拓雄
 // 松井 照男
 会計(理事・役員) 横山 幹夫
 副会計 多田 善計
 // 大澤 勇
 職業奉仕(理事) 工藤 恭孝
 社会奉仕(理事) 西原興一郎
 国際奉仕(理事) 村元 信吾
 青少年奉仕(理事) 梶野 孝人
 会員増強(理事) 角田 嘉宏
 ローターリ-絆(理事) 中井 章詞
 公共イメージ(理事) 鎌田 哲夫
 相談役 高嶋 良平
 // 野々村 禎之



2019(令和元)年
 8月3日
 みなとこうべ海上花火大会鑑賞
 会(神戸メリケンパークオリエン
 タルホテル)



9月10日 第1回親睦会(TheSorakuen)



10月29日 職場訪問見学会キリンビール神戸工場



11月23日 永田 萌さんと王子動物園で絵を描こう(王子動物園)



第66代会長
須藤 雄二

一隅を守り千里を照らす。
 国際ロータリー(RI)は、会員が自らの職業を通じて社会に貢献するという職業奉仕の根幹であった、一業種一名、地域制、職業人、例会重視、という核心要素を緩めて、ロータリー財団への資金集中を重視し、個人奉仕から集団での奉仕へ、また、積極的な広報を通じてのロータリーの存在アピール重視へと舵を切りました。これは経済環境の変化と先進国での会員減少への対応策と考えられます。
 これに対してロータリー歴の長い会員ほど、財団寄付金重視のやり方が、本当にクラブのや会員増強に繋がるのかという疑問を持っています。
 振り返って当クラブを含めた我々に身近な神戸市内のクラブの現状を見ると、クラブ創立時のチャーターメンバーが残っておられるクラブはもう少なく、また、チャーターメンバーの教えを引き次いでクラブを運営されてきた古参のメンバーも引退されつつあり、クラブ運営の中心はロータリー歴の浅い40から60歳前半世代に移り、今のRIの方針が当たり前という風潮になって来ています。
 また多くのクラブが会員増強(特に若い世代の入会)に苦勞され、出来ないところは合併や解散が起こり地区全体でのクラブ数は減少傾向にあります。おのずから新入会員の勧誘も同好会活動を含めた遊興重視で行っているのが現状です。奉仕活動を新たに提案する能力も落ちてきているように見えます。
 一方で、大災害時における国の創造的復興への早い対応や積極的な個人ボランティア活動がみられること、SDG's関連の活動が若年世代にみられることから、日本人の自助共助への意識は以前より高まっていると見る事が出来ます。
 外部への奉仕活動をする社会に良いことをしたと気分もよく満足感も得られます。これは活動として重要なことには間違いありませんが、それだけでクラブの価値



12月13日 友生支援学校招待ボウリング大会
(神戸六甲ボウル)



1月10日 青陽東養護学校招待ボウリング大会
(神戸六甲ボウル)



2020 (令和2) 年1月7日 初釜例会



12月24日
忘年家族会(ホテルオークラ神戸)



6月30日
最終例会にて創立66周年表彰会
のみ開催

日本の出来事・世界の出来事

- 2019年
 - 7月18日 京アニ放火殺人36人死亡
 - 9月20日 ラグビーワールド杯日本大会開幕、日本8強
 - 9月23日 グレタさん国連で演説
 - 10月1日 消費税10%に、軽減税率導入
 - 11月15日 米、「パリ協定」離脱を国連に通告
- 2020年
 - 1月31日 英国EU離脱
 - 3月11日 WHO パンデミック宣言
 - 4月7日 コロナ感染拡大緊急事態宣言
 - 5月29日 米国WHO離脱
 - 6月30日 香港で「国安法」施行

が上がるのかまた維持していけるのか、会費を払ってクラブに所属する価値を見出すことが出来るのか疑問です。

また資本の自由化が進み、実体経済より大きくなった投機活動により、尻尾が体を振り回すというないびつな経済環境が格差や労働環境の悪化に繋がっており、自らの職業活動を通じて社会に貢献するという職業奉仕的な概念が見直されてきていることも確かです。

ロータリーは親睦と奉仕と言われています。この親睦という言葉には、例会、同好会、親睦会、旅行等を通じてお互いの理解を深め、お互いの事業全般について話し合い、自分の事業を良くする色々なアイデアを得てそれを実践し自らの事業の発展に繋げ、得た利潤を地域社会に還元するという職業奉仕の前提となる意味も込められています。それ故、会員構成に職業の多様性が求められて訳であり、良い会員とはお互いの為になる良い仲間であるべきと考える所です。そのような会員が集まり対外奉仕活動をするからこそより社会の為になり、結果として千里を照らす存在になれるはずです。

人間には大なり小なり、認められたい、役に立ちたい、褒められたい、という承認要求があります。クラブに所属することが、良い仲間を得ることが出来、自らの事業の発展に役立ち、尚且つ奉仕活動を通じて、自己満足にならない承認要求への達成感が上がるという事が重要ではないでしょうか。

今からの時代を担う世代に方々には、全国でも少ない100名以上の会員が集まる我がクラブの核心となる理念を何に求めるのかを良く考えて欲しいと思う所です。

2020

令和2年～3年

2021

地区ガバナー 高瀬 英夫

会長(理事・役員) 鮎 悦初

会長エレクト(理事・役員) 森本 一裕

副会長(理事・役員) 大澤 勇

幹事(理事・役員) 樋口 一哉

副幹事 工藤 恭孝

前会長兼S.A.A.(理事・役員) 須藤 雄二

副S.A.A. 野々村 禎之

// 橋本 豊捷

会計(理事・役員) 田中 寿夫

副会計 和田 新

職業奉仕(理事) 山本 康一郎

社会奉仕(理事) 植村 浩史

国際奉仕(理事) 後藤 章暢

青少年奉仕(理事) 林 伯正

会員増強(理事) 光葉 應宏

ロータリー財団(理事) 三戸岡 英樹

公共イメージ(理事) 吉井 正幸

相談役 松下 衛

// 中井 章詞



2020(令和2)年
12月11日
友生支援学校招待ボウリング大会(神戸六甲ボウル)



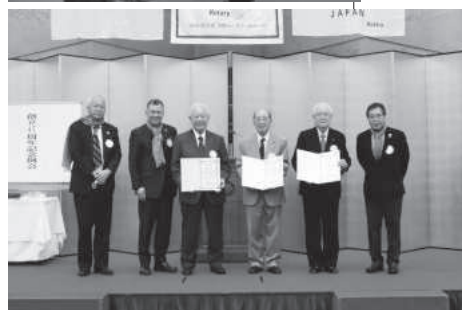
2021(令和3)年
1月8日
青陽東養護学校招待ボウリング大会(神戸六甲ボウル)

12月22日
神戸市医師会にPCR検査機器を寄付

執行会員の在籍50年お祝い



原田会員の金婚お祝い



4月13日 創立67周年記念例会(ホテルオークラ神戸)



第67代会長

鮎 悦 初

2019年末に「新型コロナウイルス」の発生、感染が報道され、年明け1月、2月には世界中に一気に感染が拡大しました。日本では日々の都道府県別感染者数と死者数がTVや新聞等々で報道され、日本政府による緊急事態宣言で日本中がロックダウン、神戸のまちも一時ゴーストタウン状態となりました。

コロナ禍で須藤年度の後期はほぼ例会の開催が不可能な状態で、多くの会員企業にも大きな経済的打撃、困難を与えました。

鮎年度スタートに当って須藤会長と相談し、須藤年度の繰越金とクラブが永年にわたり積み立てて来た「基本金」の一部を取り崩し、全会員の前期会費を全て免除に致しました。

須藤年度最終の6月には感染者数が減少し、7月に神戸東RC活動の正常化を期待して“Rライフ、面白く!楽しく!カッコ良く!”を会長方針にスタートした鮎年度でしたが、8月感染者が減少傾向から再度増加傾向に転じ、RCの基本である例会の開催が難しくなりました。休会にするのが一番楽で安全、リスクが無い!危機管理委員会、道上委員長からも“何かあれば責任を問われるのは会長、幹事ですよ!”と助言を頂きました。また、多くのクラブが休会にしている中で“すんなり休会するは面白くないね!何とか例会を継続する方法はないかな!?”と大澤副会長、樋口幹事と相談し、ZOOMでの例会開催に挑戦しました。感染状況を考慮しながら「ZOOM例会」と



4月23日 新設の灘さくら支援学校に当クラブ社会奉仕地区補助金事業として記念植樹の目録贈呈、感謝状の受取り



6月29日 親睦、家族合同打ち上げ懇親会
(神戸メリケンパークオリエンタルホテル)

ZOOMとリアルを組合せた「ハイブリッド例会」で神戸東RCの親睦、絆の維持に努めました。技術面ではITに詳しい山本裕計会員が、社員を動員して協力してくれました。

「コロナ禍」の中でも、藤井プログラム委員長はじめ、多くの委員長、会員の皆さんが知恵と挑戦する勇気を出して、縮小や変則的でも多くの奉仕事業を実施してくれました。計41回例会を開催し、会報を発行し続けました。

そして、我々神戸東RCの奉仕活動に対して、兵庫県医師会や神戸市から感謝状を頂きました。

例会での会長報告では会長方針の“Rライフ、面白く！楽しく！カッコ良く！”を連呼しました。その甲斐あってか、内外に何とか神戸東RCのカッコ良い姿を見せられたかな？カッコ悪い姿を見せずに済んだかな？と思っております。

振り返るとバタバタの一年でしたが、いい経験をさせて頂きました。

改めて鮑年度を支えて頂いた理事会をはじめ、神戸東RCの皆様のご深いご理解と暖かいご支援に感謝申し上げます。

日本の出来事・世界の出来事

- 2020年
 - 東京五輪、1年延期
 - 6月 黒人男性死亡 抗議拡大
 - 7月～ 九州で豪雨、死者多数
 - 9月16日 安倍首相が退陣、後任に菅氏
 - 12月 英国がEU離脱
- 2021年
 - 1月20日 バイデン大統領就任
 - 2月1日 ミャンマー 国軍がクーデター
 - 2月17日 ワクチン接種開始

2021

令和3年～4年

2022

地区ガバナー 吉岡 博忠

会長(理事・役員) 森本 一裕

会長エレクト(理事・役員) 井元 憲生

副会長(理事・役員) 塚本 哲夫

// 植村 孝一

// 三戸岡英樹

幹事(理事・役員) 工藤 恭孝

副幹事 鈴木 祐一

副会長S.A.A.(理事・役員) 鮑 悦初

副S.A.A. 横山 幹夫

// 大澤 勇

会計(理事・役員) 吉井 正幸

副会計 池西 正広

職業奉仕(理事) 吉田 博

社会奉仕(理事) 横山 公一

国際奉仕(理事) 山本 裕計

青少年奉仕(理事) 藤本 義洋

会員増強(理事) 神田 孝平



2021(令和3)年
12月21日
2年振りの忘年家族会

(神戸メリケンパークオリエンタルホテル)



2022(令和4)年
1月11日

新春例会

(年男お祝い、
初釜は中止)

1月14日
青陽東養護学校
招待ボウリング大会
(神戸六甲ボウル)



1月14日 神戸東プロバスクラブ創立20周年祝賀会(芦屋竹園)



第68代会長

森本 一裕

年度初めの7月はまだまだコロナは収束には程遠い状況にありましたが、「楽しくなければロータリーでない」という思いから会長テーマを「質素剛健、自重自治」「ふんわりわくわくロータリーライフ」として一年間活動致しました。

特に神戸東ロータリーらしくを念頭にリモートを併用しながらも食事を共にするリアル例会を断行する事にしました。

それは「幅広い年代、幅広い職業の会員が週に一回一堂に会し歌を歌い食事を共にする事が我クラブ68年の歴史と伝統を築いて来た」と確信していたからです。

親睦活動については、むつみ会との合同での例会開催、二年ぶりに開催出来た忘年家族会、新開地喜楽館を借切った落語会と天安閣での親睦会等を盛大に開催する事が出来ました。

奉仕活動では、コロナ禍の影響を受け青少年委員会の王子動物園写生大会や社会奉仕委員会の友生支援学校招待ボウリング大会の開催は断念する事となりましたが、青陽東養護学校招待ボウリング大会や国際奉仕委員会の病理医VTT事業、職業奉仕委員会の職場訪問は実施する事が出来ました。



4月12日
創立68周年記念むつみ会合同
例会・祝賀会
(ホテルオークラ神戸平安の間)



4月21日 「三東会」盟約締結調印式 (帝国ホテル大阪)



4月22日
グローバル補助金によるVTTカン
ボジア病理医育成支援プロジェク
ト報告会と送別会 (神戸メリケン
パークオリエンタルホテル)



5月24日 落語鑑賞と親睦会の夕べ
(新開地喜楽館、天安閣)



6月28日 職場訪問六甲バター神戸工場

対外関係ではコロナ禍で延期になっていた「三東会」盟約締結更新調印式を大阪東ロータリークラブ様のお世話で帝国ホテル大阪で開催する事が出来ました。

また大阪東ロータリークラブと京都東ロータリークラブの両クラブの例会を訪問し、大変刺激を受け勉強になりました。

冒頭「楽しくなければロータリーでない」と書きましたが、一方で「ロータリークラブは暇なオジさん達の集まり」などと揶揄されているのも事実です。

また昨今はロータリアンによる不祥事や大企業の偽装、不正事件が跡を絶たない風潮になっております。

今改めてロータリーの「4つのテスト」を日常に活かして実践していく事の大切さを痛感しております。

「自治」と「自戒」の念を込めまして。

日本の出来事・世界の出来事

- 2021年
 - 7月23日 東京五輪・パラ、1年延期で開催
オミクロン株 急拡大
 - 8月4日 コロナ感染者 2億人超
 - 10月4日 菅首相1年で退陣、後継は岸田氏
- 2022年
 - 2月24日 露、ウクライナ侵略
 - 2月24日 原油急騰100ドル突破
 - 4月23日 知床観光船沈没事故

2022

令和4年～5年

2023

地区ガバナー 阪上 栄樹

会長(理事・役員) 井元 憲生

会長エレクト(理事・役員) 樋口 一哉

副会長(理事・役員) 梅田 稔

幹事(理事・役員) 鈴木 祐一

副幹事 和田 真一

前会長兼S.A.A.(理事・役員) 森本 一裕

副S.A.A. 石橋 恒生

// 田中 義明

会計(理事・役員) 大澤 勇

副会計 和田 真一

職業奉仕(理事) 林 伯正

社会奉仕(理事) 鮑 悦初

国際奉仕(理事) 光葉 應宏

青少年奉仕(理事) 池上 勝義

会員増強(理事) 小坂 哲也

無任所(理事) 乙守 典厚

ロータリー-嗣(理事) 渡邊英一郎

公共イメージ(理事) 中井 章詞



2022(令和4)年

10月18日

第2回親睦会

(神戸メリケンパークオリエンタルホテル)



11月21日

第7回Kobe っ子親善ラグビー大会開催



12月20日 忘年家族会

(神戸メリケンパーク
オリエンタルホテル)



2023(令和5)年

1月10日 新春例会(ホテルオークラ神戸)



第69代会長

井元 憲生

70周年直前の69代目会長としての役を仰せつかってから、会長テーマを熟考してまいりました。コロナの影響ももちろんですが、様々な出来事がある今の時代こそ、仲間達との親睦を深め、笑顔で過ごすことが何より重要と考え、今年度のRIテーマ「イマジンロータリー」、地区テーマ「Let's Enjoy Rotary!!」を受け、神戸東ロータリークラブとして「Wind of Smile “笑顔の風”運ぶクラブを目指して」を会長テーマに掲げることを発表いたしました。

この一年間を振り返りますと、スタート早々にコロナの第7波がやってまいりまして、例会や奉仕活動が制限されることも多々ありました。中盤以降は徐々に通常モードにシフトしてまいりましたので、様々なイベント実施にも力を入れ、無事に各委員会の活動も遂行が叶いました。回数を重ねるたびに神戸東ロータリークラブの会員同士の親睦も深まり、数々の楽しい会が開催できましたので、“笑顔の風”を吹かせることができたのではないかなと思っています。

“笑顔”をテーマに掲げた一年でしたが、会を重ねる中で大切なことに気付かされました。それは、会員同士の親睦やコミュニケーションが非常に重要であると



1月16日 青陽灘高等支援学校招待ボウリング大会
(神戸六甲ボウル)



1月27日 友生支援学校招待ボウリング大会
(神戸六甲ボウル)



4月11日
創立69周年記念例会むつみ会新春合同祝賀会
(ホテルオークラ神戸)

4月13日 三東会 (大阪帝国ホテル)

4月23日 家族旅行(京都美濃吉本店 竹茂楼)



5月26日～31日
ロータリー国際大会 (メルボルン)



6月13日 職場訪問アシックススポーツミュージアム



6月20日 第3回親睦会 (北野クラブソラ)

ということです。これはまさしく、ロータリークラブならではの素晴らしさとも言えますが、他業種のそれぞれのプロフェッショナルの方々が集まれる会ですので、コミュニケーションが深まるほどビジネスの話を本音で語り合えます。そこからさらに輪が広がっていくと、新しいアイデアやビジネスが生まれる。私もこんなシーンを何度も目にしました。このような関係性は他ではなかなか得られるものではありません。この本音の親睦こそ、私たちにとって必要であり、世の中に役立ち、職業奉仕にも繋がっていくものであると思います。これから先、未来のロータリークラブの在り方を考えましても、このように良い親睦、コミュニケーションを深めていける場であり続けてほしい、と強く感じております。

70周年は非常に重要な年となります。これから先、多くの出来事が起こることと思いますが、ロータリークラブの皆の笑顔がこの先もずっと続いていくことを願っています。

日本の出来事・世界の出来事

- 2022年
 - 7月8日 安倍元首相撃たれ死亡
 - 8月～ 旧統一教会との関係、政界揺るがす
 - 9月8日 エリザベス女王死去
 - 10月20日 円安、1ドル150円突破
 - 10月29日 韓国雑踏事故158人死亡
 - 11月20日 カタール W杯開催中東初
- 2023年
 - 2月6日 トルコ・シリア大地震5万人超死亡
 - 3月21日 WBC14年ぶり優勝
 - 5月5日 コロナ緊急事態WHO解除
 - 5月6日 チャールズ英国王戴冠式

クラブ管理 運営委員会

吉田 博
クラブ管理運営委員長

- 2013～2014年：岡 栄治 委員長
本年度のテーマは「みんなでさがそう 新しい芽」です。活発な委員会活動を推進するとともに、当該年度は創立60周年に当たり、本来の委員会活動以外にも記念事業、式典、祝賀会等へも参画して、新しい芽も芽生えつつあると思います。
- 2014～2015年：吉井 正幸 委員長
本年度のテーマは「希望を抱いて輝きを！」です。活発な委員会活動を推進するとともに、委員会間の連帯と調整をして活動の円滑化を図り、会員にロータリークラブの奉仕の精神を理解していただけだと思います。
- 2015～2016年：岩野 了 委員長
本年度のテーマは「原点をみつめ、愛あるロータリー活動を」です。
例会をクラブ奉仕活動の基本として、例会出席と会員卓話を中心に推進致しました。
- 2016～2017年：澤田 正樹 委員長
本年度のテーマは「楽しもう、そして何ができるか考えよう！」です。
上半期も、下半期も各委員会は活発に行動したと思う。
- 2017～2018年：山崎 仁嗣 委員長
本年度のテーマは「明るく・楽しく・みんなで奉仕！」です。
本年、委員会名が「クラブ奉仕委員会」から「クラブ管理運営委員会」に改められ、その役割がクラブの円滑な運営を助けることに変更されました。
- 2018～2019年：福原 敏晃 委員長
本年度のテーマは「共に一緒に心の手つないで行動しよう」です。
今年度でクラブ管理運営委員会に代わって2年目になりますので、クラブの円滑な運営を助けることを心がけました。

●2019～2020年：井元 憲生 委員長

5つの基本方針

①クラブ理念の確立、②厳かさ緊張感のある世代を超えた会員相互の融和、③会員（若い世代）増強及び影響力のある人材の入会、④今の時代にあった事務局の運営、⑤クラブ運営の為の健全な財務体質の強化

●2020～2021年：大澤 勇 委員長

本年度の会長方針は『ロータリークラブライフ"面白く！楽しく！カッコ良く！』です。

上期も下期もコロナ禍により満足な活動が出来なかったことは残念ですが、例会運営については完全休会にせず、今後の指針を示せたのではないかと思います。

●2021～2022年：植村 孝一 委員長

委員会は委員長を中心に会員みんなでふんわりわくわくロータリークラブライフを楽しみながら活動できたのではないかと思います。

●2022～2023年：梅田 稔 委員長

本年度の会長方針は「笑顔で、活動を積極的に楽しみ未来を切り開く」です。コロナ禍の影響もありましたが、各委員長のご尽力によりクラブの活性化に寄与できたと思います。

我がクラブの定款と細則によれば、クラブ管理運営委員会の役割は、クラブ管理運営を担当させていただくことになっておりまして、今年度は現在のところ、次の6つの委員会がございます。

1. 出席委員会（大澤勇委員長）は、例会に出席することはロータリー活動の出発点と捉えて、本クラブの例会への出席と本クラブの例会に出席できない場合の他のクラブ例会への出席を奨励し出席率を上げる為に尽力して頂きます。
2. 親睦委員会（崎山豊委員長）は、会の運営をスムーズにするために会員間の親睦を図り、趣向を凝らしたクラブづくりを行い、明かるく笑顔の多いクラブの親睦活動を委員会一丸となって設営して頂きます。
3. 家族委員会（吉田 茂委員長）は、親睦委員会と連携を保ち、会員家族間の親睦に努めていただきます。
4. プログラム委員会（植村孝一委員長）は、本クラブの例会および臨時の会合のためのプログラムを準備し手配していただくことになっております。今年度は会員卓話を中心とすることに決定されております。
5. 週報委員会（小林一也委員長）は、クラブ週報の刊行によって、関心を促して出席の向上を図り、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を報告し、クラブ、会員、及び世界各地のロータリー・プログラムに関するニュースを伝えるべく努めなければならないこととなっています。
6. 唱歌委員会（植村浩史委員長）は、例会その他ロータリーの諸会合における唱歌を指導し、歌うことによって友愛の高揚をはかり、雰囲気融和に努めることになっています。

各委員長さん全員が夫々立派で優秀な方々ですので、連携しながら満足度の高いクラブ管理運営を進めさせていただきたい。

職業奉仕委員会

澤田正樹
職業奉仕委員長

2013年から2014年の年度が創立60周年に相当しました。今年度2023年から2024年が創立70周年に当たります。この過去10年間は、神戸東ロータリークラブが最も重要な核心的考え方として中心に置いている職業奉仕理念がともすれば過去の考え方に追いやられてきた感がある期間でもあったように思われます。特に、2020年から世界中に新型コロナウイルス感染症が蔓延し、ロータリークラブの活動それどころではなくなりました。この10年は、職業奉仕理念を追求する雰囲気を保つのが難しかった期間であったと言わざるをえません。

2014年7月から2024年6月の10年間の各期職業奉仕委員長です。

創立61期	2014-15	横山 公一
62期	2015-16	大澤 勇
63期	2016-17	吉田 正人
64期	2017-18	三戸岡英樹
65期	2018-19	松井 照男
66期	2019-20	工藤 恭孝
67期	2020-21	山本康一郎
68期	2021-22	吉田 博
69期	2022-23	林 伯正
70期	2023-24	澤田 正樹

各期に行われた職業奉仕をテーマにした卓話です。

2014年10月28日	野田一夫氏「人脈は人生を変える」
2016年1月26日	石丸太郎パストガバナー「私の考える職業奉仕」
2017年1月31日	瀧川好庸ガバナーエレクト「ロータリーと職業奉仕」
2018年1月16日	大谷透先生（大谷透内科院長、大阪西南ロータリークラブ、2009-2010国際ロータリー第2660地区ガバナー）「職業奉仕月間にちなんで」
2018年7月17日	第1回職業奉仕卓話 松井照男会員「廃棄食品による職業」
2018年11月7日	第2回職業奉仕卓話 井元憲生会員 「バリューブランニングが考える職業観～表裏一体～」
2019年1月15日	職業奉仕月間 丸尾研一パストガバナー「職業奉仕のお話し」
2019年3月26日	第3回職業奉仕卓話 飽悦初会員「私の珍プレー・迷プレー」
2020年1月14日	複数会員による「職業奉仕ってなんですか？」
2020年6月16日	会員による情報交換を通じた職業奉仕理念「各業界のコロナによる影響と今後の見

通し」

2021年1月19日 令和元年秋の叙勲、褒章受章者（当会会員）による職業奉仕について：
卓話者 吉田博会員・福原敏晃会員・山本康一郎会員

2022年4月5日 職業奉仕卓話

「地区・職業奉仕セミナーの参加報告」担当：吉田博委員長

「ロータリー研修デー『職業奉仕部門』参加報告担当：小林一也副委員長

2023年1月24日 株式会社パナソニック常務執行役員松村卓司氏「淡路島創生」

2024年1月 創立70周年記念事業「職業奉仕理念を考えよう」

1月16日 澤田正樹職業奉仕委員長「職業奉仕の心は？」

1月23日 安平和彦パストガバナー「日本のロータリーとその職業奉仕理念」

1月30日 須藤雄二ガバナー補佐「これからの新しい職業奉仕の考え方」

職場訪問の記録です。

2015年5月26日 (株)バリュー・プランニング（おもてなし研究所）（美脚研究所）を見学

2015年10月27日 神戸医療産業都市の見学（内藤直担当部長が概要説明）及び理研計算科学研究機構「スーパーコンピュータ」の見学

2016年10月25日 「ハーレーダビッドソン ライダーズクロス神戸港島」とポートアイランドゴルフ倶楽部内にある「チームヨシムラゴルフスタジオ」の2か所を訪問。

2017年10月24日 ヤクルト本社三木工場を見学

2018年10月16日 株式会社ロック・フィールドを訪問。

2019年10月29日 キリンビール神戸工場を職場訪問

2020-21年 職場訪問の中止（コロナ禍）

2022年6月28日 六甲バター神戸工場（神戸市西区）

2023年6月13日 アシックススポーツミュージアムを訪問

2023-24年 職場訪問計画せず。

その他：奉仕プロジェクト委員会

2019年5月25日（土曜日）第8回インターナショナルキッズデー（2680地区第一グループ主催）へ参加協力

米山梅吉を始めとする戦前20年間の先導者たちが、今日に続くロータリー運動の骨格を作り、強固な理論的骨付けをして、100年をかけて考え続けて来た日本におけるロータリー運動の職業奉仕を軸にした理論構造は、ひときわ高く聳え、私たちが進むべき方向を示している。大きな時代の流れは変化して、「ロータリーとは何か」も変質してこよう。これらは静かに、しかも確実に進行していて、もう過渡期を超えてしまったかもしれない流れが、RI的思考を加速させているようにも考えられる。

100年をかけて一周した日本におけるロータリーが、次の世紀に向かって新たな鼓動を刻みはじめることができれば、ポールや米山の思い描いたロータリー運動を、さらに美しいものにしていく事ができるのではなかろうか。

（ロータリー日本 思想の潮流：神崎正陳PG茅ヶ崎湘南ロータリークラブ：より抜粋）

社会奉仕委員会

麦 志明
社会奉仕委員長

本年はクラブ創立70周年に該当するというので、60周年以降の社会奉仕委員会の活動についてのご報告を仰せつかりました。当クラブに入会して3年程度しか活動歴がない私ごときが過去10年分の社会活動についてまとめるというのは大変おこがましいことではございますが、ご指名でございますので、本年度の社会奉仕委員長として、過去、先輩方が作成された資料を拝見しつつ、ご報告させていただきます。

1. 定例活動・支援等について

さて、近年の社会奉仕委員会の定例活動としては、毎年行われている神戸市立青陽灘高等支援学校（旧・神戸市立青陽東擁護学校。以下「青陽支援学校」といいます。）・同友生支援学校（以下「友生支援学校」といいます。）の学生を招待してのボウリング大会がございます。今回の原稿まとめるに当たり、50周年記念誌に寄稿されておりました「4大奉仕委員会の歩み」を拝見いたしましたところ、この大会の開催のルーツは、昭和55年が国際障害者年にさかのぼり、40年以上の歴史があることを知りました。諸先輩方が永きに亘りこれを承継されてきたことについて、改めて畏敬の念を抱いております。

近年では、これらの大会は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のために縮小開催されておりましたが、今年度より改めて全学年の生徒をお招きしての開催となり、参加人数も新型コロナウイルス感染症蔓延以前の活気を取り戻しつつありますので、今後もきちんと引き継いでまいりたいと考えております。

その他にも、近年は、神戸東プロバスクラブ・NPO法人クルーズへの資金支援活動も行っております。

2. 新たな活動について

上記にてご報告いたしました定例活動以外に、ここ10年間で行った新たな活動としては、友生支援学校への和太鼓贈呈（2013年11月）、障害者が働く職場訪問（2014年3月・ゴンチャロフ製菓株式会社様）、障害者の福祉事務所でのお菓子教室（2016年10月）、NPO法人ボレロ店内内装しっくい工事共同施工（2017年10月）、プロテニスプレイヤーをお招きしての友生支援学校招待車いすテニス体験会（2019年2月）、特別支援学校建設記念植樹（2021年1月）、外国人学校主催にかかる交流会（音楽祭）の共催（2023年2月）がございました。

このような新たな活動にあたっては、主催団体とのご連絡、お打ち合わせや諸準備、当日の運営等、大変な労力・時間を要しますので、今後、このような活動を定例活動とするためには、これらの団体とのお打ち合わせを十分に行うとともに、これらの団体や参加いただく方々に過度の負担とならないように、開催の時期・頻度等について配慮しなければならないと思われまます。

また、新たな活動を計画するに際しては、地区補助金を申請することが考えられますが、地区補助金申請事業となり、補助金を受け取る場合には、その申請時期、補助金の受取方法、管理、支出方法、

報告等については、かなり厳格な規定が設けられておりますので、そのような場合には、ご経験のある先輩方にご相談されるのが良いように思われます。

3. 各活動の年表について

- 2013 - 2014年度
 - 2013年11月16日 友生支援学校への和太鼓贈呈
 - 2014年1月17日 青陽支援学校招待ボウリング
 - 2014年2月21日 友生支援学校招待ボウリング
 - 2014年3月11日 障害者が働く職場訪問
- 2014 - 2015年度
 - 2015年1月16日 青陽支援学校招待ボウリング
 - 2015年2月20日 友生支援学校招待ボウリング
- 2015 - 2016年度
 - 2015年12月11日 青陽支援学校招待ボウリング
 - 2016年2月19日 友生支援学校招待ボウリング
- 2016 - 2017年度
 - 2016年10月15日 障害者の福祉事務所でのお菓子教室
 - 2016年12月9日 友生支援学校招待ボウリング
 - 2017年1月13日 青陽支援学校招待ボウリング
- 2017 - 2018年度
 - 2017年10月22日～23日 NPO法人ボレロ店内内装しっくい工事共同施工
 - 2017年12月8日 友生支援学校招待ボウリング
 - 2018年2月19日 青陽支援学校招待ボウリング
- 2018 - 2019年度
 - 2018年12月7日 友生支援学校招待ボウリング
 - 2019年1月31日 青陽支援学校招待ボウリング
 - 2019年2月19日 プロテニスプレイヤーをお招きしての友生支援学校招待車いすテニス体験会
- 2019 - 2020年度
 - 2019年12月13日 友生支援学校招待ボウリング
 - 2020年1月10日 青陽支援学校招待ボウリング
- 2020 - 2021年度
 - 2020年12月11日 友生支援学校招待ボウリング
 - 2021年1月8日 青陽支援学校招待ボウリング
 - 2021年1月14日 特別支援学校建設記念植樹
- 2021 - 2022年度
 - 2022年1月14日 青陽支援学校招待ボウリング
 - 2022年1月28日 友生支援学校招待ボウリング
- 2022 - 2023年度
 - 2023年1月16日 青陽支援学校招待ボウリング
 - 2023年1月27日 友生支援学校招待ボウリング
 - 2023年2月25日 外国人学校主催にかかる交流会（音楽祭）共催

中井 章詞

国際奉仕委員長

国際奉仕委員会10年の歩み（2013～2023年）

国際ロータリー手続要覧 標準クラブ定款 第6条 五大奉仕部門（2022年度版）

「ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実際的な規準である。奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、積極的平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。」これに従い2013-2014：野々村会長年度から2022-2023：井元会長年度までの10年間の委員会報告概要を以下に記載する。

2013-2014年度 野々村 禎之 会長年度：委員長：村元 信吾

この年度は、当クラブ創立60周年に当たり多忙を極め、2013年11月3日にシンガポールRCの19名が来訪、前夜歓迎会には32名が出席し友好と相互理解を深めた。翌日の例会には、19名全員が出席され、当クラブメンバーとの交流が図られた。

2014年4月8日創立60周年記念式典には、ブリスベンRCよりハミード会長夫妻ならびにパスワニ夫妻に参加頂き、前夜に、歓迎会を開催。2014年6月27-28日シンガポールRC80代会長就任パーティーに参加、記念品を贈呈し、当クラブ創立60周年を記念し、国際交流に多く関与した。

2014-2015年度 乙守 典厚 会長年度：委員長：香山 道宣

マカティーウエスト45周年祝辞等、姉妹クラブへ挨拶状を発信し、関係維持に努めた。

2015-2016年度 道上 明 会長年度：委員長：井元 憲生

2016年5月28日-30日までのソウル国際大会に、当委員会がツアーを企画し17名が参加、国際大会で各国ロータリアンと交流し、熱い思いを共有出来た。

2016-2017年度 横山 幹夫 会長年度：委員長：土田 剛司

「王子動物園での永田 萌さんとの写生会」に神戸市内の外国人学校に通う児童・父兄も参加できるように兵庫県外国人学校協議会に働きかけ外国人3組が応募されたが、外国人学校優先枠確保の調整の為、参加者1組となり課題を残した。

2017-2018年度 吉井 正幸 会長年度：委員長：田中 義明

2017～18年度地区補助金奨学生 小川 優さんのイギリス、ヨーク大学留学支援金として132,000円を支出。

当クラブとフィリピンマカティウエストRCとの姉妹契約解消の確認を山野会員が、相手クラブの現会長に直接面談し口頭で伝え、当クラブとの姉妹クラブ契約は解消された。

2018-2019年度 澤田 正樹 会長年度：委員長：松谷 齊泰

VTTカンボジアプロジェクト事前調査(2019.6.18~19)の為、当クラブより松谷、後藤会員他1名がカンボジアを訪問、調査費合計298,054円(地区支援金150,000円、神戸東RC 148,054円)を拠出した。グローバル補助金VTTカンボジア病理技師育成支援プロジェクトGG1981392に、実施国提唱クラブとして、\$2,500拠出、事業費 5,819,068円(うち補助金5,299,318円)

カンボジア人病理技師5名を3月17日~4月1日の日程で神戸大学及び神戸常磐大学にて研修を行った。

8月5日~8月10日フォローアップ研修として現地訪問実施。中古顕微鏡等の医療機器を合わせて寄贈したが、プロジェクトが2年度に渡り特別会計で処理を行なった。

2019-2020年度 須藤 雄二 会長年度：委員長：村元 信吾

3月5日~6月2日までコロナウイルス蔓延の為、例会開催は取りやめとなった。

3月19日・24日のハワイ国際大会参加並びに2680地区ガバナーナイトも中止され、コロナウイルスに翻弄された年度となり、国際奉仕委員会としての活躍の場が失われた。

2020-2021年度 鮑 悦初 会長年度：委員長：後藤 章暢

コロナウイルス蔓延の影響が色濃く残り、補助金プロジェクトが延期・中止となった。

1) カンボジア病理医育成支援および学会設立支援プロジェクト：

グローバルVTTの地区承認を得、当地区協同提唱クラブからの支援も確定したが、国際ロータリーへの申請書提出段階でカンボジアからの出入国が困難となり、日程延期の決定に至った。

2) ホスピスボランティアハワイ研修プロジェクト：

2020年11月7日~11日の予定で地区VTTの承認を得たが、ハワイへの出入国が困難となり、日程延期(2021年3月)を決定し、地区からの承認もとったが、状況が変わらず、今年度の計画を断念。

2021-2022年度 森本 一裕 会長年度：委員長：山本 裕計

コロナウイルスの影響も弱まり、延期されていたプロジェクトが動き出した年度であった。

カンボジア病理医育成支援および学会設立支援プロジェクト：

グローバルVTTとして補助金を獲得し、当地区内の共同提唱支援を受け、カンボジア人病理医6名を4月7日~23日まで日本に招聘し、研修の実施と日本の学会に参加させた。COVID-19隔離期間中も顕微鏡をレンタルしてホテルで研修を行う工夫がRIからも評価された。

2022-2023年度 井元 憲生 会長年度：委員長：光葉 應宏

メルボルン国際大会へ当クラブのツアーを企画し、12名の有志参加者を得た。

前年度からのグローバルVTTプロジェクト「カンボジア人病理医育成プロジェクト」のフォローアップ研修を2回実施し、12月10日にプロジェクトの活動を終了した。

「カンボジア人病理医育成プロジェクト」の精算および報告、返金を実施した。

その後、参加した6名のカンボジア病理医全員がフランスの病理医留学試験に合格し、世界レベルで評価され、本プロジェクトの効果が実証された。

青少年奉仕委員会

高橋恵信

青少年奉仕委員長

2013年～2014年

(1) 上半期活動報告

- ・青少年交換派遣生として、島本佳奈さん（啓明学院）を8月にフランスデュラン地区に派遣。
- ・青少年交換来日生として8月、フランス1520地区からヴァレア・キュヴィリエ君が来日、啓明学院1年に編入。当クラブのホストファミリーは、中井会員ご家族、塚本会員ご家族。
- ・10月24日（木）、第2回王子動物園絵画教室に対して、地区の協力を得て、園内案内板、ベンチ、画板を寄贈した。贈呈・除幕式を開催した。
- ・11月2日（土）、第2回王子動物園絵画教室を後援。

(2) 下記活動報告

- ・3月9日（日）、山の手小学校グラウンドにて第6回中央区少年団親善野球大会を行った。
- ・青少年交換来日生、3～4月のホストファミリーは同級生宅である今野様、4月下旬から帰国までは塚本会員ご家族。4月20日（日）～5月3日（土）、ヴァレア君のご両親と友人が来日、例会にご招待等交流をはかった。ヴァレア君は7月12日（土）帰国予定。
- ・3月20日（木）～23日（日）香川県余島の神戸YMCA野外活動センターで行われた第36回RYLAセミナーに、地区推薦の神戸市須磨区在住の鎌田佐和子さんを受け入れた。

2014年～2015年

- (1) 青少年交換プログラムの最大課題であるホストファミリーの引き受け手を探すためのアンケートを実施し、その回答内容をデータ化し次年度以降に引き継ぐこととした。
- (2) 「新世代のための月間」において卓話を提供した。卓話テーマ「青少年交換プログラムについて」（卓話者：榊原志朗）、「長期青少年プログラムを終えて」（卓話者：島本佳奈さん）
- (3) 中央区少年団野球主催の第7回神戸市中央区少年団親善野球大会（中央区の小学6年生が区内の仲間との友情を深め、練習の成果を発揮し、今後の希望を交感できることを目的とした大会）ゲスト：元阪神、オリックス、ヤクルト選手等を後援し、当事業を当クラブのロータリーデーとして実行した。）

2015年～2016年

- (1) 中央区少年団親睦野球大会 神戸東ロータリークラブ杯（2015年10月18日）神戸市少年団野球リーグ中央地区の少年野球チーム（9校8チーム）に所属する小学6年生を、混成の4チームに編成し通常とは異なるチームメートどうして試合を行うという、親睦を目的とした野球大会を支援した。

2016～2017年

- (1) 中央区少年野球団主催の第9回神戸市中央区少年団親善野球大会では、中央区の小学6年生が区内の仲間との友情を深め、練習の成果を発揮した。
- (2) 王子動物園主催の「(第5回)永田 萌さんに写生を指導してもらうことを通して、幼児、小学生らが写生の楽しさを実感できることを目的とした事業を後援し実施した。

2017～2018年

- (1) インターアクトクラブ設立に向けての活動
平成29年9月14日、地区青少年奉仕委員長坂東隆弘氏（柏原ロータリークラブ）よりインターアクトクラブの説明を受け、その後兵庫県立神戸商業高等学校において、インターアクトクラブの立ち上げについての打合せを、担当教諭の相手方として行った。話し合いの結果、お互いに長くインターアクトクラブの活動を継続するには設立を急ぐのではなく、十分に計画を練り、時期を見計らう必要があるとの結論に至った。

2018年～2019年

- (1) 王子公園主催「第7回 永田 萌さんと動物園で絵を描こう」
平成30年11月25日（日）子供100人集めて絵本作家の永田 萌さんに絵の指導をして頂く会を実施しました。子供たちの画用紙、お菓子の手配、更には永田 萌さんがスムーズに指導できるように、ボランティアスタッフとして配置し、しっかり後援致しました。

2019年～2020年

- (1) 「第8回永田 萌さんと王子動物園で絵を描こう」
11月23日（土）に子供70名、保護者含め約140名を集め開催した。今回から王子動物園と神戸東ロータリークラブとの共催という形式に変わり、プレスリリースにも共催として記載され会長挨拶もイベント冒頭に行い、神戸東ロータリークラブのリーフレットの配布もした。

2020年～2021年

ヤル気マンマンで委員長を引き受けましたが、新型コロナウイルスの為、全事業中止になりました。

2021年～2022年

王子動物園主催の「永田 萌さんと動物園で絵を描こう」は残念ながらコロナ禍により中止となった。

2022年～2023年

「第7回Kobeっこ親善ラグビー大会後援」

11月21日（月）神戸東ロータリークラブがスポンサーとなり、神戸市内の保育園4歳・5歳児約350名が参加する「第7回Kobeっこ親善ラグビー大会」を、神戸しあわせの村多目的広場で開催した。当クラブは当日、受付・検温・消毒を担当した。

閉会の挨拶は、神戸東ロータリークラブ、井元会長が行った。

出席委員会

大澤 勇

出席委員長

70周年記念誌の発刊に際して、創立60周年以降の出席委員会の年度別活動を総括致します。
年次で見ますと、その対象期間は2013年7月から2023年6月迄の10年度分という事になります。
60周年記念誌で指摘されていましたが、平成13年迄は年間平均出席率が90%を超えていた様ですが、直近10年間においては80%台で推移しております。特に2020年2月に初めてコロナ報道があり、神戸東ロータリークラブにおいて須藤年度・鮑年度・森本年度が大きな影響を受けました。
例会出席が基本のロータリー活動においても、通常例会が開催出来ない状況が続きました。
井元年度でやっと通常例会（リアル例会）を復活出来ました。この様な状況も出席率低下の大きな要因と考えられます。

<年度別活動>

2013～2014年度 委員長 田中義明

- ① 毎例会ごとに出席率を表示して、出席率向上に努めた。
- ② 他クラブの例会日程やメイクアップ対象事業を知らせて欠席補填を推奨した。
- ③ 60周年創立記念例会において皆出席を表彰し、20年未満・20年以上の皆出席者にそれぞれ記念品を贈呈した。
- ④ 皆出席者：28名
- ⑤ 年間出席率：ホームクラブ 81.50% 補填後85.57%

2014～2015年度 委員長 鎌田哲夫

- ① 第1回出席委員会報告 期日・参加者・テーマ（本年度活動予定）
- ② 第2回出席委員会報告 期日・参加者・テーマと（皆出席者表彰の打ち合わせ）
- ③ 平成27年4月14日創立61周年記念式典での皆出席者表彰。
- ④ 第3回出席委員会報告 本年度活動の総括と次年度への引継ぎ事項の確認。
- ⑤ 皆出席者：29名
- ⑥ 年間出席率：ホームクラブ 82.18% 補填後 86.50%

2015～2016年度 委員長 藤井光造

- ① 第1回出席委員会報告 期日・参加者・テーマ（本年度の活動予定）
- ② 第2回出席委員会報告 期日・参加者・テーマ（皆出席者表彰の打ち合わせ）

- ③ 平成28年4月12日創立62周年記念例会・式典における皆出席者表彰
- ④ 第3回出席委員会報告 本年度の活動総括と次年度への引継ぎ事項の確認
- ⑤ 皆出席者：27名
- ⑥ 年間出席率：ホームクラブ 80.13% 補填後 83.82%

2016～2017年度 委員長 山本康一郎

- ① 第1回出席委員会報告 期日・参加者・テーマ（本年度の活動予定）
- ② 第2回出席委員会報告 期日・参加者・テーマ（皆出席者表彰の打ち合わせ）
- ③ 平成29年4月11日創立63周年記念例会・式典における皆出席者表彰
- ④ 第3回出席委員会報告 本年度の活動総括と次年度への引継ぎ事項の確認
- ⑤ 皆出席者：28名
- ⑥ 年間出席率：ホームクラブ 80.75% 補填後 85.12%

2017～2018年度 委員長 角田嘉宏

- ① 第1回出席委員会報告 期日・参加者・テーマ（活動方針配布説明）
- ② 第2回出席委員会報告 期日・参加者・テーマ（活動予定）
- ③ 第3回出席委員会報告 期日・参加者・テーマ（活動予定）
- ④ 創立64周年記念例会における34名皆出席者への記念品の選定
皆出席者への記念品を一律にする。（ロータリーロゴ入りバスタオル）
- ⑤ 皆出席者：34名
- ⑥ 年間出席率：ホームクラブ 80.78% 補填後 84.60%

2018～2019年度 委員長 野々村禎之

- ① 第1回出席委員会報告 期日・参加者・テーマ（本年度の活動方針）
- ② 第2回出席委員会報告 期日・参加者・テーマ（皆出席者表彰の件）
- ③ 表彰事業：創立65周年記念例会において皆出席者表彰
- ④ 皆出席者：33名
- ⑤ 年間出席率：ホームクラブ 80.34% 補填後 85.23%

※創立65周年記念例会式典において、故嘉納忠夫会員在籍50年の記念品と地区よりの感謝状を嘉納夫人に贈呈しました。

2019～2020年度 委員長 吉田建美

- ① 第1回出席委員会報告 日時・出席者・テーマ（本年度の活動方針）
- ② 第2回出席委員会報告 日時・出席者・テーマ（皆出席者表彰の件・在籍50年表彰）
- ③ 表彰事業：創立66周年記念例会4月7日予定でしたが新型コロナにより中止となり6月30日（火）最終例会にて表彰式のみ開催しました。
*在籍50年表彰 木下 健・小倉宗夫 会員
- ④ 皆出席者：35名

- ⑤ 年間出席率：ホームクラブ 81.43% 補填後 84.98%

2020～2021年度 委員長 木下 健

- ① 表彰事業

4月13日創立67周年記念例会式典において皆出席者表彰。

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、出席率のカウントを行わないこととした。
その為、全会員を皆出席と取り扱いし表彰を行うこととした。

*在籍50年表彰 執行英毅 会員

- ② 皆出席者：111名（全員）

2021～2022年度 委員長 上村伸幸

- ① 表彰事業

4月12日創立68周年記念例会式典に於いて表彰を行いました。

*在籍50年表彰 角田嘉宏 会員

- ② 皆出席者：41名

- ③ 年間出席率：ホームクラブ 80.26% 補填後 81.81%

2022～2023年度 委員長 西原興一郎

- ① 第1回出席委員会報告 2022年8月に予定致しておりましたコロナ禍の為中止。

上期にコロナ禍の為、出席免除期間あり、蔓延防止の為オンライン例会有り。

7月26日から9月27日迄、コロナ禍の為出席率カウント致しませんでした。

- ② 表彰事業

創立69周年記念例会式典に於ける皆出席者への記念品の選定。

記念品を一律にする。(モバイルバッテリー)

創立69周年記念例会式典にて、皆出席最高者を代表して木下健会員が会長より壇上にて記念品を贈呈されました。

- ③ 皆出席者：36名

- ④ 年間出席率：ホームクラブ 80.26% 補填後 81.81%

各委員会報告

親睦委員会

崎山 豊

親睦委員長

親睦委員会は、クラブ創立時から設けられ、現在は、次のように基本方針が定められている。

- ① 例会における来客の接待
- ② 例会における会員相互の親睦
- ③ 例会外における会員相互の親睦
- ④ 会員の慶弔関係)

また、新入会員の委員会所属は、創立当初から早く会員としてクラブに溶け込めるよう親睦委員会に所属するようになっており、今日まで継承されている。

① 例会における来客の接待

来客の受け付け内容は、創立以来変わらず、外国からの来客には、国際奉仕委員会に連絡し接待をしてもらっている。ビジッティングカードは、創立3年目よりハガキ付きの様式に変更して現在に至っている。外部スピーカーが卓話を実施された場合は、その様子をボライドカメラで撮影し、プレゼントしていたが、現在は実施していない。又ゲストおよびビジター紹介の順序は、①会長ゲスト。②神戸市以外の場合には、遠隔地順。③神戸市内は、クラブ創立の古い順。④会員のゲスト。⑤米山奨学生及び交換学生。の順番でロータリーソングの後紹介を行っている。

② 例会における会員相互の親睦

創立当初より、毎月第1例会において、当月に誕生日を迎える会員にメッセージカードを例会受付時に渡し、例会において紹介している。

③ 例会外における会員相互の親睦

毎年、4回程度、会員親睦会を企画運営し、例会外における会員親睦を踏っている。

60周年よりの親睦委員長

2013・14年度 松井 照男 (家族委員長兼任)
2014・15年度 山崎 仁嗣
2015・16年度 菅野 和矢
2016・17年度 弘田 芳裕
2017・18年度 山本 裕計
2018・19年度 香山 道宣
2019・20年度 梅田 稔 (家族委員長兼任)
2020・21年度 渡邊英一郎
2021・22年度 山崎 仁嗣 (家族委員長兼任)
2022・23年度 森本 光一
2023・24年度 崎山 豊

家族委員会

吉田 茂

家族委員長

1. 家族委員会として

家族委員会は会員とその家族の皆様方の親睦及び懇親を深めるため、コミュニケーションの場を設け、ロータリー活動とはなにかを理解してもらい家族を含めた神戸東ロータリークラブ全員が仲良く当該年度の会長の掲げるテーマを達成できるようにフォローする活動をする。

2. 2013～2014年度から2022～2023年度までの各年度の活動

〈2013～2014年度〉

- (1) 委員長 松井 照男 親睦委員長兼任
- (2) みなと神戸海上花火大会開催
2013年8月3日(土) 神戸メリケンパークオリエンタルホテル 参加者 118名
- (3) 家族旅行開催 2013年11月17日(日)～18日(月) 東北仙台方面 参加者 29名
- (4) 忘年家族会開催 2013年12月26日(木) 第一楼 参加者118名
- (5) 創立60周年記念祝賀会開催 2014年4月8日(火) ホテルオークラ神戸

〈2014～2015年度〉

- (1) 委員長 多田 善計
- (2) 家族旅行開催 2014年8月24日(日) 京懐石美濃吉本店 竹茂楼 参加者 58名
- (3) 忘年家族会開催 2014年12月16日(火) ホテルオークラ神戸 参加者 114名
- (4) 創立記念例会 2015年4月14日(火) ホテルオークラ神戸
参加者 121名 金婚式 2組 銀婚式 2組 昼間開催

〈2015～2016年度〉

- (1) 委員長 林 伯正
- (2) みなと神戸海上花火大会の観賞
2015年8月8日(土) 神戸メリケンパークオリエンタル 参加者 121名
- (3) 家族旅行開催 2015年11月15日(日) あわじ島 参加者 35名
- (4) 忘年家族会開催
2015年12月22日(火) 神戸メリケンパークオリエンタルホテル 参加者 111名
- (5) 創立記念例会開催 2016年4月12日(火) ホテルオークラ神戸
参加者 117名 金婚式 2組 銀婚式 1組

〈2016～2017年度〉

- (1) 委員長 菅野 和矢
- (2) 家族旅行開催 2016年11月23日（水） 丹波篠山 参加者 43名（会員 31名 家族 12名）
- (3) 忘年家族会開催 2016年12月20日（火） 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
参加者 118名（会員 73名 家族 39名 小学生 2名 事務局、他 5名）
- (4) 創立63周年記念例会 2017年 4月11日（火） ホテルオークラ神戸
参加者 110名（会員 83名 家族 22名 事務局、他 5名）

〈2017～2018年度〉

- (1) 委員長 吉田 茂
- (2) みなと神戸海上花火大会観賞会開催
2017年 8月 5日（土） 神戸メリケンパークオリエンタルホテル 参加者 131名
- (3) 忘年家族会
2017年12月26日（火） 神戸メリケンパークオリエンタルホテル 参加者 124名
- (4) 創立64周年記念例会開催 2018年 4月10日（火） 昼 ホテルオークラ神戸
- (5) 家族旅行開催 2018年 4月15日（日） 京都宮川町 京おどり 参加者 39名

〈2018～2019年度〉

- (1) 委員長 田中 義明
- (2) 創立65周年記念家族旅行 2018年11月17日（土）～18日（日） 玉造温泉
参加者 23名（会員 15名 家族 8名）
- (3) 創立65周年記念忘年家族会開催 2018年12月25日（火） 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
参加者 142名（会員 82名 家族 47名 小学生 3名 幼児 3名 事務局・他 7名）
- (4) 創立65周年記念例会開催 2019年 4月16日（火） ホテルオークラ神戸

〈2019～2020年度〉

- (1) 委員長 梅田 稔
- (2) みなとこうべ海上花火大会開催
2019年 8月 3日（土） 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
参加者 115名（会員、家族、同伴者、米山記念奨学生）
- (3) 家族旅行 2020年 3月22日（日） 比良山荘 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- (4) 創立記念例会 2020年 4月 7日（火） ホテルオークラ神戸
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

〈2020～2021年度〉

- (1) 委員長 鈴木 祐一
- (2) 忘年家族例会 2020年12月22日（火） 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- (3) 家族旅行 京都菊乃井本店 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- (4) 創立67周年記念例会開催 2021年4月13日（火） ホテルオークラ神戸

〈2021～2022年度〉

- (1) 委員長 山崎 仁嗣 親睦委員長と兼務
- (2) 忘年家族会開催
2021年12月21日（火） 神戸メリケンパークオリエンタルホテル 参加者 135名
- (3) 創立記念例会開催 2022年4月12日（火）夜 ホテルオークラ神戸 参加者 138名

〈2022～2023年度〉

- (1) 委員長 芳賀 博之
- (2) 忘年家族会開催
2022年12月20日（火） 神戸メリケンパークオリエンタルホテル 参加者 144名
- (3) 創立69周年・むつみ会新春合同祝賀会開催
2023年4月11日（火） ホテルオークラ神戸 参加者 121名
- (4) 家族旅行開催 2023年4月23日（日） 美濃吉本店竹茂楼 都をどり 参加者 35名

プログラム委員会

植村孝一

プログラム委員長

コロナの為此の三年間、どのクラブもRCの原点である通常の例会を開催できなかったが為に、RCのあるべき姿を見失っているように思う

そこで今回、今後の神戸東RCを背負っていく人材を育てるべくRCをよく理解し、私と同じ様にクラブを良くしたいと考える人達の推薦を得て、本年のプログラム委員会を編成した。

この人達が次代の幹事、副会長、会長となって神戸東RCを楽しく地域に必要とされ、存在意義をもつクラブにしていく事を期待している。

尚、過去のプログラムは、毎年の事業報告書を参照して下さい。

週報委員会

小林一也

週報委員長

60周年以降の週報委員会の活動

1. 基本方針

週報委員会の基本方針としてこの10年間不変のテーマは、「クラブ活動の正確な記録と情報の伝達を行う」ということである。

全ての年度の基本方針の最初にこのテーマが掲げられている。

同じくこの10年間かならず掲げられているテーマが「週報配信の電子化」である。言葉としては、インターネット、ホームページ、メール発信、電子情報、電子配信など様々であるが、必ず基本方針の2番目か3番目に掲げられている。

次に多いのが、「見やすく楽しめる週報」というテーマである。10年間で5回テーマとして取り上げられている。

19-20年度からの新しいテーマが「週報の内製化」である。その後連続4回テーマに取り上げられている。

2. 活動報告

上記基本方針に対する活動実績をまとめると以下の通りである。

「クラブ活動の正確な記録と情報の伝達を行う」に関しては、全ての年度に渡って実施できているようである。

「週報配信の電子化」に関しては、毎年の努力のかいあってメール件数は増加してきているが郵送件数が30件台からなかなか減らないのが現状のようである。

「見やすく楽しめる週報」に関しては、目標が抽象的であることもあってか、はっきりとした実績をうたっている年度は少ない。写真の活用や委員会同好会の活動予告などを行っている。

「週報の内製化」に関しては、内製化に向けて委員会メンバーの週報作成スキルを高める事などを行っているが、完全な内製化実現には至っていない。

特記すべきは、コロナ禍の3年間も休み無く週報を発行し続けたことである。委員会はもちろん三役、事務局、興正社殿など関係者の方々の努力の結果である。

以下に各年度の活動報告を記載する。

2013年～2014年

- (1) 今年度は45回週報を発行した。
- (2) 創立60周年実行委員会、各委員会、各同好会活動などの、予告・報告を掲載した。
- (3) 例会卓話について、雑誌会報委員会と協議して週報と会報に振り分けた。
- (4) 週報を2頁1枚に収まる工夫をした。

2014年～2015年

- (1) 2014年7月1日の第1回例会から、6月30日までの第46例会までの週報を発行いたしました。
- (2) ペーパーによる配信からメールによる配信に努め現在82人がメールによる配信に移行しました。
- (3) 委員長の職務を全員で行い全ての委員が週報の仕事ができるようになった。

2015年～2016年

引き継ぎも兼ねて新旧委員会を実施

一部連絡漏れが発生しましたが、次週での掲載でなんとかりカバーした。

副委員長の尽力もあり、システム化できた。

全員とは行きませんでした、4人体制で週報を担当し、確実性を増した。

正確で見やすい週報を心掛け実施できたと思う。

2016年～2017年

- (1) クラブの活動の正確な記録と情報伝達と言う目的は達成。
- (2) 見やすくすることは心掛けたが、楽しめる週報の部分で新規の企画などを設けることはできなかった。
- (3) メール件数 130件 (会員、他クラブ)
 郵送件数 37件 (会員)
 郵送は昨年度に比べ4件減らすことができた。

2017年～2018年

- (1) 年度途中で副委員長が体調を崩されてその後身罷られたので、週報委員会としては困難に直面した。ただ、会長と幹事の支援もあり目的は基本方針通り達成された。
- (2) 詠みやすく楽しめる週報の作成もできた。
 就中卓話の内容をじっくり読んで頂けるような編集に心を注いだ。
 また、卓話、委員会活動、その他大事な行事の写真の活用も推進した。
- (3) 週報の送付の電子情報の推進については、少しだけ進んだ。
 メール配信件数 138件 (会員、他クラブ、むつみ会、ガバナー事務所等を含む)
 郵送件数 35件 (メールと郵送のダブルの方も若干名有り)

2018年～2019年

- (1) 詠みやすく楽しめる週報の発行を掲げて活動し、例会の報告並びに予告を行い、大事な行事

については、写真も活用した。週報は例会が開催される週には必ず発行した。

- (2) 各委員会並びに同好会活動の予告とその報告を適切に掲載した。
- (3) 情報の電子化については、できるだけ早い時期に全部メールで配信できるようにしたい。少数ではあるが、今のところ郵送も残っている。
- (4) 広報委員会とは連携し常に情報の交換をしながらホームページの充実を図った。

2019年～2020年

- (1) 委員会メンバー及び会員の方々のご支援のもと、毎例会毎に遅延無く週報の発行ができた。コロナウイルス感染症対策の休会期間中も、会長と幹事、事務局の支援も有り、例会が開催されるはずであった週には必ず週報を発行することができた。
- (2) 週報内製化の検討を行い、今後の週報内製化の素地を整えた。内製化に向けて、委員会メンバーの週報作成スキルを更に高めるように作業分担を推進した。
- (3) 週報の送付の電子情報への移行の推進を行った。また、コロナウイルス感染症対策の休会のお知らせがあったため、3月、4月の週報を全員郵便で発送した。
メール配信件数 118件（会員、他クラブ、むつみ会、ガバナー事務所等を含む）
郵送件数 38件（コロナ対策で週報の送付方法を再確認したので、郵送件数は増加した）

2020年～2021年

- (1) 委員会メンバー及び会員の方々のご支援のもと、毎例会毎に遅延無く週報の発行ができた。コロナウイルス感染症対策でオンライン例会のみの期間中も、会長と幹事、事務局のご支援も有り、通常例会開催時と同様に必ず週報を発行することができた。
- (2) 週報内製化の検討を行い、会員皆様、委員会及び事務局のご協力の下、今後の週報内製化の素地を整える事ができた。
- (3) 週報の送付の電子情報への移行の推進を行った。
メール配信件数 120件（会員、他クラブ、むつみ会、ガバナー事務所等を含む）
郵送件数 33件

2021年～2022年

- ・委員会メンバー及び会員の方々のご支援の中、遅延無く、的確に森本公一会員の新しいデザインのもと週報の発行ができた。
- ・昨年に引き続きコロナ禍中の、ハイブリッド例会、各委員会、同好会報告を適切に掲載できた。
- ・事務局並びに印刷をご依頼している会社スタッフ様に助けて頂き感謝しております。

2022年～2023年

- (1) 委員会メンバー及び会員の方々のご支援のもと、毎例会毎に遅延無く週報の発行ができました。皆様の積極的なご支援も有り、スムーズに業務を進めることができました。
- (2) 週報内製化の検討を行いましたが、今年度においては諸事情から断念いたしました。次年度以降にアドバイスも含め、引き継ぎを行っていきます。

各委員会報告

唱歌委員会

植村浩史

唱歌委員長

唱歌委員会は創立当初からあったわけではありません。創立50周年記念誌によりますと創立当初は海輪会員1名が唱歌担当をしていました。

現在、毎月第一例会に国歌「君が代」及びロータリーソング、そして、その月に誕生日を迎える会員の為にバースデーを歌うようになったのは創立2年目の1955-1956年度からです。

高山会員のお世話で神戸高校の柳音楽教諭にお願いし教諭のご指導の下、年1回、創立4年目まででロータリーソングの練習をしていました。

又、4年目には、ビジターが増えてきたこともあり、会員よりビジター歓迎歌の募集を行い、末正会員の「コーコー神戸」と高嶋平介会員の「たのしき友よ」が当選しました。当時関響の朝比奈隆氏がビジターとして来られた際歌われた「コーコー神戸」を聞いて、微笑みを浮かべたというエピソードもあったようです。今回、西村雅子先生がお持ちでしたので、歌詞を掲載いたしました。

「コーコーこうべ」

作詞 末正久 曲 証城寺の狸囃子

コーコー神戸 東の例会は
 ユーユー愉快だ
 みんな出て来い来い来い
 おいらの友達ア
 ワッハッハのワッハッハ
 世のため尽そうよ
 仲よく暮らそうよ
 アウワ フェロー ロータリアン
 みんな出て来い来い来い

「たのしき友よ」

作詞 高嶋平介 曲 N.H.K. 三つの歌

たのしき友よ
 よくぞ来ませり
 我等の友よ うちとけて
 きょうのひととき
 たのしく語ろう
 皆ゆかいに
 Dear Rotarian

創立13年目、1966-1967年度よりピアノ伴奏が始まったらしく、それによって例会がより華やかに、そして和んだ雰囲気になったようです。

創立22年目、1975-1976年度に、現在の西村雅子先生がピアノ伴奏と食事中の演奏や歌唱指導を受けるようになり、当クラブのロータリーソングの歌唱力が大きく伸びました。その翌年度に、コーラ

ス同好会が誕生し、西村先生の指導の下、むつみ会コーラス部との男女混声コーラスが、クラブ創立記念例会や忘年家族会、福祉施設の慰問、全日本ロータリークラブ親睦合唱祭での優秀賞受賞など、多くの実績を残しました。

創立47年目、平成12年にプログラム委員会に吸収されました。

そして、現在の唱歌委員会は、今から4年前2019-2020年度にコーラス同好会のメンバーを基礎として、再発足しました。長年例会前の歌唱の際ピアノ伴奏をして下さっていた当クラブ事務局の橘さんが引退し、それまで歌唱指導をして下さっていた西村雅子先生にピアノ伴奏をお願いすることで、歌唱をコーラス同好会が引き受けるようになったのが再発足の理由です。

再発足し5年目となりますが、5年間、基本方針として一貫しているのは、「国歌、ロータリーソング、唱歌をソングリーダーを中心に会員全員で歌唱することを通じて、例会の規律と会員の親睦友好に努める。」というものです。

そして、具体的な活動としては、

- ・ 創立間もないときから続いている、毎月第一例会において、「国歌」「ロータリーソング」、その月に誕生日を迎える会員の為に「ハッピーバースデー」を歌唱すること。
- ・ 第一例会以外では唱歌を会員全員で楽しく歌唱すること。
- ・ 新入会員の入会式における「それでこそロータリー」を歌唱すること。
- ・ 全員がロータリーソングを正しく歌えるよう、適宜歌唱指導をおこなうこと。

を通じて例会の規律、会員相互の親睦友好の向上に努めております。

再発足後、翌年2020年には新型コロナウイルスCOVID-19の感染が猛威を振るい、感染対策として、例会の自粛期間も長期におよび、再開後もリモートによる参加などで、会場における出席者全員で歌うことが困難となりました。

2021-2022年度には、通常例会を再開実施するようになり、会場にて出席者全員で例会前に歌唱をすることができることのありがたさを実感しました。

そして、委員会の活動ではありませんが、2022年5月に名古屋にて第25回全日本RC親睦合唱祭に出席、2023年7月29日には神戸にて当クラブ主催で第26回全日本RC親睦合唱祭を開催し、合唱祭には373名、懇親会には430名の参加があり盛会となりました。委員会としてコーラス同好会の活動の重要性を例会で訴え、創立70周年の行事として委員会、クラブ一丸となって合唱祭開催に向けて準備も進めました。また、リモートではできない合唱という行事の重要性を再認識する行事となりました。

今回、創立70周年記念誌にて唱歌委員会の活動を掲載する機会を頂き、改めて、クラブ運営における、唱歌委員会の重要性について、私なりに認識することができました。

委員会や同好会の運営が継続されるよう会員相互で連携してまいりたいと思います。

各委員会報告

会員増強委員会

樋口敦仁

会員増強委員長

今年度、神戸東ロータリークラブは110名でスタートしています。所属する2680地区の68クラブでも会員数100名を超えるのは神戸ロータリークラブと当クラブの2クラブであり、全国的にみても規模が大きいクラブです。

創立60周年以降の10年間の会員数の推移、歴代増強委員会の基本方針及び活動報告の要約は次の通りです。

【会員数推移】

年度	委員長	入会者	退会者	増減	会員数
2014-2015	梅田 稔	6	6	±0	109
2015-2016	樫野 孝人	5	4	+1	110
2016-2017	山本 裕計	9	10	-1	109
2017-2018	藤本 義洋	7	3	+4	113
2018-2019	井元 憲生	12	6	+6	119
2019-2020	角田 嘉宏	3	4	-1	118
2020-2021	光葉 應宏	4	11	-7	111
2021-2022	神田 孝平	4	7	-3	108
2022-2023	小坂 哲也	10	8	+2	110
2023-2024	樋口 敦仁	1	○	○	○

2023年12月31日現在 ○○○

【基本方針・活動報告要約】

『2014-2015年 梅田委員長』

基本方針：活力あるクラブ運営を維持する為、全会員に理解・協力を求め、魅力ある人材の発掘をもとに会員数の維持・増強を図る。

活動報告：会員増強の為のアンケート実施・会員増強月間での卓話・候補者等との交流会の実施・退会防止に向けた活動について反省点

『2015-2016年 樫野委員長』

基本方針：ロータリーの原点を見つめ、その魅力を伝えることによって、会員数の増強を図る。

活動報告：会員増強月間での卓話・候補者等との交流会の実施・候補者リストの整備及び引継ぎ

会員増強委員会

【2016－2017年 山本委員長】

基本方針：クラブ運営の維持、更なる活性化に向けて、全会員へ推薦依頼を行ない、会員数の増強、純増を図る。

活動報告：会員増強月間での卓話・候補者等との交流会の実施・候補者リストの整備及び引継ぎ

【2017－2018年 藤本委員長】

基本方針：多種多様な職種から候補者を募り、メンバー同士のコミュニケーションを推進して、クラブ内の変化と活性化を図る。

活動報告：会員増強月間での卓話・候補者等との交流会の実施・候補者リストの整備及び引継ぎ

【2018－2019年 井元委員長】

基本方針：ロータリーの魅力を伝えることにより会員数の増加に努め、クラブ会員数の純増を図る。

活動報告：候補者等との交流会の実施・候補者リストの整備及び引継ぎ

【2019－2020年 角田委員長】

基本方針：神戸東ロータリークラブの魅力を伝えることによって、会員数の増強に努め、クラブ会員数の純増を図る。

活動報告：会員増強の為のアンケート実施・会員選考委員会との合同委員会開催・会員増強月間での卓話

【2020－2021年 光葉委員長】

基本方針：神戸東ロータリークラブの魅力を伝えることによって、会員数の増強に努め、クラブ会員数の純増を図る。

活動報告：会員増強月間での卓話・候補者等との交流会を親睦委員会と合同で実施

【2021－2022年 神田委員長】

基本方針：神戸東ロータリークラブの魅力を伝えることによって、会員数の増強に努め、クラブ会員数の純増を図る。

活動報告：会員増強の為のアンケート実施・候補者等との交流会を実施

【2022－2023年 小坂委員長】

基本方針：神戸東ロータリークラブに相応しい方へ、幅広く当クラブの活動や魅力を伝え、会員増強に努め、クラブ会員数の増加を図る。

活動報告：職業分類委員会との合同委員会の開催・会員増強月間での卓話・退会防止への活動について反省

【2023－2024年 樋口委員長】

基本方針：入会したいと思ってもらえるよう【神戸東】としての魅力を発信し、会員純増・増強を図る。

活動予定：候補者等の例会等ロータリー活動へのプレ参加・候補者等との交流会の実施・紹介時に利用できるパンフレット等の作製について検討・例会出席状況等を把握し、ヒアリング等の適宜の対応による退会防止活動

【80周年に向けて】

冒頭でも報告しましたが、100名を超える会員を有する当クラブですが、大規模であるが故の強みがある一方、これまでも問題提起されてきた『質と量』といった課題などがあるのも実情です。

様々な多様化が進む情勢の中、10年後のロータリークラブに求められるものにも変化はあるでしょう。

そのような変化に対応していくためにもクラブ組織力の強化は必須です。会員数の増加のみならず、質の向上も図らなければなりません。

会員増強委員会の活動ですが、アプローチの仕方は各年の方針や委員会の提案によりますが、ルーティン的な部分が大きいと思います。その根本となるのが候補者リストです。

候補者リストの作製には会員増強委員会のみならず、クラブ全体での協力が必要です。

候補者リストに掲載された方をいかにメンバーへと導くかが会員増強委員会に求められる職務であると思います。

候補者リストの更新・引継ぎ、そして候補者からメンバーとして入会してもらうまでの理事会等での手続き、これらの点について明確にルーティン化する事で、他の会員増強に係る実働的な部分に注力することができると思います。

70周年を契機とし、ルーティン化された基本的な部分を土台とし、様々な変革に対応できる会員増強活動ができるよう80、90・・・周年に向けてクラブ一丸となって頑張っていけたらと期待します。

会員選考・職業分類委員会

横山公一

会員選考・職業分類委員長

会員選考委員会の任務上個人のプライバシー問題に抵触するため、過去の記念誌には詳細な活動報告は記されていない。本誌についても同様の取扱いの方針で、創立当初の委員会活動方針と今年度の活動方針の記載に留める。

(設立当初)

1：会員選考委員会の方針

ロータリークラブはその目的に対してこれが成功するか否かはこれを構成する会員各位の人格如何による事は論ずるまでもないが、その選考に当たってはその候補者の人格調査に主力を注ぎ、人格に問題点あらばその事業が如何に大事業であっても、又その候補者の業界における名声高く勢力大なものと雖も断固これを排除し、人格において真にその業界の代表的人物を求めるものである。

2：選考方法

会員の資格条件中1事業の主宰者たるを要する関係上、勢い比較的年齢の高き者が多く集まり易いので、この欠点に考慮を加え候補者2～3ある時は成るべく年少者を優先的に採択し、会員平均年齢の低下を企図し、以って当クラブに新鮮の気を注入せんとしたものである。

3：選考調査の方法

前述の如く基本方針に基づき選考調査に従事するのであるが、具体的方法については選考委員各自分担して候補者の知人友人は勿論、同業者、取引銀行等を訪ねまた興信所に調査を依頼しその人格を第一とし業界の信用、家族、家庭の状況等詳細に調査し資料を作製し、これを持ち寄り委員会において公平なる採否を決定した上で調査票を作製し、委員会の意見を付し理事会に報告するものである。

ずいぶんと厳しい選考内容であったようですが、プライバシー侵害等の問題もあり現在においては当時とは様子が違いますが、今日までの歴代委員長並びに委員の皆様方の努力で、厳正及び中立公平な選考が実施されて来た事を付記します。

(今年度活動方針)

1. 基本方針

会員として推薦された方が神戸東ロータリークラブの「未来に向けての」会員としてふさわしいかどうかを適格性・職業分類面・社会的地位・人格等について調査し、審査の上理事会に報告する。

2. 具体的活動内容

(1) 会員選考について、下記の点を重視して審査する。

- ①職業分類規定による適格性
- ②本人が神戸東ロータリークラブの会員として相応しい人物か
- ③本人が属する業界における評判
- ④奉仕の精神に富んでいるか
- ⑤入会后、財政上の義務が履行出来るか
- ⑥例会に規則正しく出席でき、クラブの各種会合や、活動に説教的に参加、協力する意欲があるか

(2) 職業分類規定について、変更あるいは新たな分類の必要性について調査する。

ロータリー情報委員会

山本康一郎

ロータリー情報委員長

委員会活動の記録

ロータリー情報委員会の主な任務と2013～2014年度から2022～2023年度までの活動について各年度のクラブ活動年次報告書をもとに取りまとめました。

1. ロータリー情報委員会の任務についての規定

ロータリー情報委員会の任務については「神戸東ロータリークラブ細則」に次のように規定されています。

「この委員会は、(1)新会員候補者に会員としての特権及び責務に関する情報を提供し、(2)会員、特に新会員に会員の特典と責務に関する適切な理解を与え、(3)会員にロータリー、その歴史、綱領、規模、活動に関する情報を提供し、(4)会員に国際ロータリーの管理運営についての情報を提供する方策を考案し、これを実践するものとする。」と記されています。

2. ロータリー情報委員会の主な任務

- (1) 新入会員に対するインフォメーション
- (2) ラウンドテーブル会の開催
- (3) ロータリー理解推進月間の卓話（2015～2016年度まで実施）
- (4) その他

3. 2013～2014年度から2022～2023年度までの各年度の活動

〈2013～2014年度〉

- (1) 委員長 鎌田 哲夫
- (2) 新入会員のインフォメーションの実施 計6名
- (3) ラウンドテーブル会の開催
第1回 2013年11月5日「RIと地区と我がクラブについて」
第2回 2014年2月18日「職業奉仕と我が社の経営理念」（職業奉仕委員会との共催）
第3回 2014年5月27日「私の考える我がクラブの今後」
- (4) ロータリー理解推進月間での例会卓話
2014年2月25日 演題「RIのゆくえ」 講師 三木 明パストガバナー
- (5) RI規定審議会のRI定款・細則改定に伴う当会の定款・細則の改定案の提出

〈2014～2015年度〉

- (1) 委員長 森本 一裕
- (2) 新入会員のインフォメーションの実施 計6名
- (3) ラウンドテーブル会の開催
 - 第1回 2014年10月7日「フリートーキング」
 - 第2回 2015年1月27日
 - 第3回 2015年6月16日
- (4) ロータリー理解推進月間での例会卓話
2015年1月17日 演題「ロータリーの理解推進」 講師 久野 薫 パストガバナー

〈2015～2016年度〉

- (1) 委員長 野田 晴清
- (2) 新入会員のインフォメーションの実施 計5名
- (3) ラウンドテーブル会の開催
 - 第1回 2015年10月20日「神戸東RCの昨日・今日・明日」
 - 第2回 2016年2月16日「神戸東RCと地区およびRIの活動」
- (4) 2016年3月8日 神戸メリケンパークオリエンタルホテルでの交流会参加

〈2016～2017年度〉

- (1) 委員長 高嶋 良平（改正特別委員会委員長兼務）
- (2) 新入会員のインフォメーションの実施 計7名（元ロータリアン2名除く）
- (3) クラブフォーラムの開催 2016年10月11日
 - ①ロータリーの理念を再認識する為には、我がクラブは何をすべきか？
 - ②規定審議会で改正された規定について、例外的に各クラブ細則で変更できるが、我がクラブでのその柔軟性に対する対応はいかがか？
- (4) 規定審議会改正定款・細則について、改正特別委員会と連携

〈2017～2018年度〉 ※本年度より公共イメージ委員会（常任委員会）の下に設置

- (1) 委員長 乙守 典厚
- (2) 新入会員のインフォメーションの実施 計7名
- (3) ラウンドテーブル会の開催
 - 第1回 2017年10月26日「会員資格と職業奉仕」
 - 第2回 2015年1月27日 ①「新しい補助金システムについて」②「カンボジアプロジェクトについて」③「変化し続けるロータリークラブ」会員資格・女性会員・出来るだけ多くの会員が各会合や事業等に参加するには
- (4) 福祉作業所内装贈呈式及びオープニングセレモニーの様子を地域新聞に掲載

ロータリー情報委員会

〈2018～2019年度〉

- (1) 委員長 横山 幹夫
- (2) 新入会員のインフォメーションの実施 計12名
- (3) ラウンドテーブル会の開催
第1回 2018年10月30日
第2回 2019年5月21日
- (4) 創立65周年記念事業実行委員会の中で、広報・記念誌部会として創立65周年記念誌を発行

〈2019～2020年度〉

- (1) 委員長 鎌田 哲夫
- (2) 新入会員のインフォメーションの実施 計3名
- (3) RI規定審議会報告
- (4) RI定款と我がクラブ細則とは、以下の内容について異なるものと決められた
 - ①例会開催については、RI定款では月2回の開催義務を定めているが、「原則毎週1回の例会」と義務付けた
 - ②メークアップについては「例会日前後2週間以内」とした
 - ③会員の身分については「職業人または職業に従事したもののみからなるクラブ」とした

〈2020～2021年度〉

- (1) 委員長 吉井 正幸
- (2) 新入会員のインフォメーションの実施 計4名
- (3) ラウンドテーブル会の開催 コロナ禍につき断念
- (4) 会員に対し、神戸東ロータリークラブの存在意義その他の事柄についてアンケートを実施。アンケートの回答結果を会報に掲載

〈2021～2022年度〉

- (1) 委員長 野々村 禎之
- (2) 新入会員のインフォメーションの実施 計4名
- (3) ラウンドテーブル会の開催
第1回 2022年4月19日「会員増強の障壁」
- (4) ロータリークラブに関する書籍の紹介「ロータリーの魅力」著者 田中久夫氏

〈2022～2023年度〉

- (1) 委員長 中井 章嗣（委員長の退会、後任委員長の急逝、中井会員に委嘱）
- (2) 新入会員のインフォメーションの実施 計11名
- (3) ラウンドテーブル会の開催
第1回 2023年5月9日「神戸東ロータリークラブとして押さえておかないといけない事」

各委員会報告

広報委員会

村井通浩

広報委員長

広報委員会は、ロータリーを一般の方々に広め、クラブの奉仕活動やプロジェクトに対する地域社会での認識と公共イメージ向上を推進します。具体的には、ホームページを作成更新してクラブ外に向けて情報発信すること、クラブの活動記録を年数回会報にまとめてメンバー向けに発行することが主たる活動となります。

広報委員会の過去10年間の基本方針、活動報告は下記の通りです。

※委員会名は2013~14年度から2016~17年度までは雑誌会報委員会、2017~18年度以降は広報委員会となりました。

2013~14年度 委員長 田中 寿夫

1. 基本方針

ロータリーを知らない人に対しても見て頂けるような会報・ホームページである様に務める。

2. 活動報告

- (1) 2013年9月 会報No.1 発行
- (2) 2014年2月 会報No.2 発行
- (3) 2014年7月 会報No.3 発行
- (4) 「ロータリーの友」に創立60周年行事の記事投稿

2014~15年度 委員長 田中 義明

1. 基本方針

本年度の会長方針の「希望を抱きて輝きを！」に基づき、対内的な広報に重点をおきつつ地域社会への広報も検討する。

2. 活動報告

- (1) 2014年9月 会報No.1 発行
- (2) 2015年2月 会報No.2 発行
- (3) 2015年7月 会報No.3 発行

2015~16年度 委員長 弘田 芳裕

1. 基本方針

ロータリー活動の原点を考慮しつつ、その現状と魅力をクラブの内外を問わず発信できるような広報活動をめざす。

2. 活動報告

- (1) 2015年9月 会報No.1 発行
- (2) 2016年2月 会報No.2 発行
- (3) 2016年7月 会報No.3 発行

2016~17年度 委員長 石橋 恒生

1. 基本方針

－印象に残る記録と広報活動を－

当委員会の目的は年度事業の記録とクラブの対外・対内事業の広報と考えます。

今年度の会長方針「楽しもう、そして何ができるか考えよう」に基づき各事業が印象に残る記録になるように注力します。ロータリー活動の原点を考慮しつつ、その現状と魅力をクラブの内外を問わず発信できるような広報活動をめざす。

2. 活動報告

- (1) 2016年9月 会報No.1 発行
- (2) 2017年2月 会報No.2 発行
- (3) 2017年7月 会報No.3 発行
- (4) 10月16日付の産経新聞に地区補助金事業として「障がい者福祉事業での本格的に売れるお菓子教室」を掲載。2月16日付の神戸新聞に「障がい者施設へ菓子作り指導－神戸東ロータリークラブ企画－」と大きく記事が掲載され神戸東RCを大いにPRできました。
- (5) 会報の表紙をリニューアルしました。
太原震也元会員の絵を神戸東RCの「らしさ」として残そうと委員会で決定した。

2017~18年度 委員長 白田 勉

1. 基本方針

ロータリーの現状と魅力を、クラブの内外を問わず発信し受信者に変化をもたらす広報活動に務める。

2. 活動報告

- (1) 2017年9月 会報No.1 発行
- (2) 2018年2月 会報No.2 発行
- (3) 2018年7月 会報No.3 発行

2018~19年度 委員長 小谷 哲也

1. 基本方針

澤田会長基本方針である「共に一緒に心の手つないで行動しよう」

Get Engaged Together Hand in Hand with United Hearts

この方針のもと、神戸東ロータリークラブの活動をメンバー、およびクラブ外に向けて発信することで、活動に関する認知度の向上に努めます。

2. 活動報告

- (1) 2018年9月 会報No.1 発行
- (2) 2019年2月 会報No.2 発行
- (3) 2019年7月 会報No.3 発行
- (4) 65周年記念誌発行

2019~20年度 委員長 石橋 恒生

1. 基本方針

ロータリー活動の対内・対外事業に委員会の会員が積極的に参加し活動の記録をメンバーに発信し、対外的に広報する。

2. 活動報告

- (1) 2019年9月 会報No.1 発行
- (2) 2020年2月 会報No.2 発行
- (3) 会報No.3は3月3日より例会及び事業が休止したため発行を中止し、次年度会報No.1に3役退任挨拶及びコロナ関連記事を掲載することになった。
- (4) 対外広報として、ホームページにそれぞれの事業終了後出来るだけ早く掲載することを各委員長に協力いただき実施した。

2020~21年度 委員長 吉田 博

1. 基本方針

ロータリー活動の対内・対外事業に委員会メンバーが積極的に参加し、活動の記録を会員に伝達し記録するとともに対外的に広報する。

2. 活動報告

- (1) 2020年8月 会報No.1 発行
 - (2) 2021年2月 会報No.2 発行
- 会報No.3は、緊急事態宣言発出の為、事業活動が縮小したので、次年度会報No.1に本年度の2月～6月までの事業活動及び3役退任の挨拶をまとめて掲載することになった。

2021~22年度 委員長 和田 真一

1. 基本方針

ロータリー活動の対内・対外事業に委員会の会員が積極的に参加し活動の記録をメンバーに発信し、対外的に広報する。

2. 活動報告

- (1) 2021年8月 会報No.1 発行
- (2) 2022年4月 会報No.2 発行

- (3) 会報No.3は次年度との合併号を予定しており、旧年度3役の退任挨拶、新年度3役の就任挨拶などを掲載する予定。
- (4) 対外広報として、ホームページは例年通りの運用を行った。フェイスブックやインスタグラムなど、SNSの再活用を試みた。
- (5) 病理医育成VTT事業（カンボジア）についてプレスリリースを行い、神戸新聞等に活動について取り上げられた。

2022~23年度 委員長 高橋 恵信

1. 基本方針

ロータリー活動の対内・対外事業に委員会の会員が積極的に参加し活動の記録をメンバーに発信し、対外的に広報する。

2. 活動報告

- (1) 2022年9月 会報No.1 発行
- (2) 2023年2月 会報No.2 発行
- (3) 2023年7月 会報No.3 発行
- (4) ホームページは例年通りであったが、その下にフェイスブック、インスタグラムとSNSを並べて見やすくした。

各年度において事業が印象に残る記録となるように、工夫をされた広報活動が実施されています。最近ではインターネットやスマートフォンなどが普及し、フェイスブックやインスタグラムでの広報にも取り組んでいますが、情報発信に関わる環境変化を踏まえ、より効果的な広報について常々検討していくことが必要であると感じました。

ロータリー財団委員会

鮑 悦初

ロータリー財団委員長

ロータリー財団委員会10年の活動

神戸東ロータリークラブ、記念すべき70周年の本年、歴代各委員長はじめ会員皆様の深いご理解と暖かいご支援のお陰で「100%ポール・ハリス・フェロークラブ」に認証され、財団より認証状とバナーを頂戴しました。

この10年、神戸東RCロータリー財団委員会の歴代委員長は以下の基本方針で活動いたしました。

2013～2014年度ロータリー財団委員会委員長 尾山宜道

基本方針

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め貧困を救済する事を通じて、世界理解、親善、平和を達成できる様にする事であり、本年度、当クラブロータリー財団委員会は、会長テーマ「みんなでさがそう 新しい芽」のもと、よりよい社会、よりよい人間形成のプロジェクト支援の為の活動を展開していく。

2014～2015年度ロータリー財団委員会委員長 中井章詞

基本方針

クラブに於けるロータリー財団委員会の任務は、寄付および補助金の活用を通じてロータリー財団を支援する計画を立て、これを支援する事にあります。このために当委員会は、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕などの奉仕プロジェクト委員会と密な連絡を取り、国際ロータリーの活動を経済面から支援することを全会員に理解して頂き、会長テーマである「希望を抱いて輝きを!」の具現化に向けて活動することを基本方針とします。

2015～2016年度ロータリー財団委員会委員長 須藤雄二

基本方針

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め貧困を救済する事を通じて、世界理解、親善、平和を達成できる様にする事であるとされています。本年度、当クラブロータリー財団委員会は、会長テーマ「原点をみつめ、愛あるロータリー活動を」のもと、よりよい社会、よりよい人間形成のプロジェクト支援の為の活動を展開していきます。

ロータリー財団委員会

2016～2017年度ロータリー財団委員会委員長 山崎仁嗣

基本方針

ロータリー財団は、ロータリーの奉仕の理念に基づき、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを目的としています。本年度、当クラブロータリー財団委員会は、会長テーマ「楽しもう、そして何ができるか考えよう!」のもと、よりよい社会、よりよい人間形成のプロジェクト支援の為の活動を展開していきます。

2017～2018年度ロータリー財団委員会委員長 上村 伸幸

基本方針

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解・親善・平和を達成できるようにすることであるとされています。今年度会長の方針通りみんなでロータリー財団を理解し実践したいと思います。

2018～2019年度ロータリー財団委員会委員長 藤井光造

基本方針

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて世界理解 親善平和を達成出来る様にすることを目的としています。本年度、当ロータリークラブ財団委員会は、会長方針「共に一緒に心の手をつないで行動しよう」のもとよりよい社会より良い人間形成のプロジェクト支援の為の活動を展開していきます。

2019～2020年度ロータリー財団委員会委員長 中井章詞

基本方針

クラブに於けるロータリー財団委員会の任務は、寄付および補助金の活用を通じてロータリー財団を支援する計画を立て、これを支援する事にあります。このために当委員会は、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕などの奉仕プロジェクト委員会と密な連絡を取り、国際ロータリーの活動を経済面から支援することを全会員に理解して頂き、会長テーマである「クラブライフを通じて世代を超えた繋がりを」の具現化に向けて活動することを基本方針とします。

2020～2021年度ロータリー財団委員会委員長 三戸岡英樹

基本方針

国際的にロータリー財団には6つの重点分野があります。その内現在の我が国のロータリー財団の任務は「経済と地域社会の発展」になります。具体的には当委員会はロータリーの活動を経済面から支援する意味を会員にご理解いただき実行していただくことに結びつけると共に各奉仕プロジェクト委員会と密な連絡をとりそのプロジェクトを会長方針の「ロータリークラブライフ “面白く！楽しく！カッコ良く！”」に沿って実現できるよう活動することを基本方針とします。

2021～2022年度ロータリー財団委員会委員長 松井照男

基本方針

世界の地域社会と密着した課題解決を目指す活動を行うのがロータリアンの使命であり、実行するためには、莫大な資金が必要となります。もちろん活動の土台には、ロータリアンの奉仕の精神が必要不可欠であります。資金がなければ奉仕活動も広げることができません。会員の皆様方には、今一度、超私の奉仕（最もよく奉仕する者が最も多く報いられる。）に基づき、寄付することへの情熱を育んで頂き、まずは、正会員全員がポール・ハリス・フェローになったクラブ（100% ポール・ハリス・フェロー・クラブ）を目指し、再度、会長方針である自重自治の精神と共に4つのテストを実践し、日々、ロータリー活動に邁進して頂くことを念頭に啓発を行ってまいります。

2022～2023年度ロータリー財団委員会委員長 渡邊英一郎

基本方針

各会員のロータリー財団の活動内容へのさらなる関心が高まることを目指し、財団の活動に対する経済的な支援の増加となり、結果として会長方針の『“笑顔の風” 運ぶクラブを目指して』に沿った『“笑顔の風” 運ぶ財団活動』になるように努めます。

神戸東ロータリークラブ 2023年12月末会員数106名

◆ロータリー財団寄付

ポール・ハリス・フェロー	現在在籍者中 106名 (100%)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	現在在籍者中 62名
メジャードナー (10,000ドル超)	現在在籍者中 2名
アーチC. クランフ・ソサエティ	現在在籍者中 0名
ベネファクター	現在在籍者中 10名
遺贈友の会	現在在籍者中 0名
「財団の友」会員	現在在籍者中 2名
ポール・ハリス・ソサエティ	現在在籍者中 4名
ポリオプラス・ソサエティ	現在在籍者中 1名

◆米山記念奨学会

第1回 米山功労者 (10万円)	現在在籍者中 21名
第2回～第9回 米山功労者マルチプル (20万円～90万円)	現在在籍者中 26名
第10回～ 米山功労者メジャードナー (100万円～)	現在在籍者中 1名



米山記念奨学委員会

石川泰平

米山記念奨学委員長

ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが作り育てた独自の事業で、34地区、全地区が参加する多地区合同活動です。

1952年に事業が始まって以来、一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。

「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」というのは、この事業をおこなうために、日本のロータリーが協同して運営する奨学財団で、財源はすべて皆様からのご寄付で成り立っています。

この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には世話クラブの例会や活動に参加してもらい、交流することを大切にしています。

ロータリー米山記念奨学金は、日本のロータリーの父、米山梅吉氏の名前を冠（かぶ）した事業です。と言いましても、梅吉氏の財産で作られたものではありません。

米山梅吉翁は1868年、ロータリーの創設者、ポール・ハリス氏と同じ年に生まれました。

遣米使節団の一員としてアメリカ滞在中、ダラスロータリークラブの会員となっていた日本人の福島喜三次（ふくしま きさじ）氏と出会い、1920年に日本で最初のロータリークラブ、東京ロータリークラブを設立しました。そのため、日本のロータリーの父と呼ばれています。

梅吉氏は、日本で初めての信託会社、三井信託株式会社を設立したことで知られています。晩年は、三井報恩会を通じて、ハンセン病や結核の患者を救う助成事業を行い、私財を投じて小学校を設立するなど、人生を通じて常に、奉仕に情熱を傾ける人物でありました。

終戦翌年の1946年、米山梅吉氏が亡くなりました。

3年後の1949年、戦争のため解散を余儀なくされていた日本のロータリーが、国際ロータリーへ復帰します。

戦後の落ち着きを取り戻すにつれ、梅吉氏の功績を永遠に偲ぶことができるような、何か有益な事業をやるのではないかとという声が大きくなってきました。

当時の日本はまだ食糧事情もはかばかしくなく、会員たちは「クラブへ行けばお茶を入れてもらえる」と、弁当を持参し、ストーブを囲みながら熱心に議論をしていたそうです。

そして1952年、東京RCが「米山基金」の構想を発表しました。これは、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助するとともに、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい、というものでした。

この「米山基金」が、わずか5年で日本の全ロータリークラブの共同事業となり、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

2023学年度は、日本全国で900人（前年度897人）が採用され、各ロータリークラブでお世話をいただ

いています。累計では、今年2カ国*増え、世界131の国と地域から2万3,509人を支援しています。

米山記念奨学生の採用に関しまして、全国統一の基準があります。

「将来の目標・留学の目的がきちんとしているかどうか」

「交流への熱意があるかどうか」

「人柄の良さ」

「コミュニケーション能力の高さ」

詳しい評価項目は公表していませんが、全国統一の評価項目を使って、各地区の選考委員会が面接選考をしています。もちろん、応募書類の審査もしています。

ロータリー米山記念奨学会は2012年に公益財団法人となり、より一層の公平性・透明性を確保するため、このように全地区共通の選考基準で選考をしています。

そのうえで、例えば「国籍や県別割合の調整」「地区独自に実施するグループディスカッションの評価」など、地区の裁量を加えて良いことになっています。

米山奨学金はお金に困っている留学生の経済支援ではありません。

珍しい国だから、生活に困っているから、あるいは、学校の成績が優秀だから……。ただそれだけでは米山奨学生に合格しません。

将来、日本と世界とを結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリーの良き理解者となる人材を育てる事業であります。

〈当クラブが世話クラブとして受け入れた米山記念奨学生〉

2013-14	ベトナムからの奨学生	神戸大学 医科学	医博
2014-15	中国からの奨学生	神戸大学 バイオメディカル	修士
2015-17	韓国からの奨学生	神戸大学 電気工学	修士
2018-19	中国からの奨学生	神戸大学 グローバル文化	修士
2019-20	中国からの奨学生	神戸大学 グローバル文化	博士
2020-21	バングラデシュからの奨学生	神戸大学 資源生命科学	博士
2023-24	ベトナムからの奨学生	兵庫県立大学 グローバルビジネス	学部

〈当クラブの寄付金額年度別〉

	普通寄付	特別寄付
2013年	525,000円	1,148,500円（個人寄付 717,000円）
2014年	540,000円	1,048,000円（個人寄付 642,000円）
2015年	545,000円	967,000円（個人寄付 550,000円）
2016年	550,000円	1,058,500円（個人寄付 611,000円）
2017年	545,000円	720,500円（個人寄付 259,000円）
2018年	565,000円	1,117,500円（個人寄付 650,000円）
2019年	595,000円	868,000円（個人寄付 671,000円）
2020年	590,000円	580,000円（個人寄付 580,000円）
2021年	555,000円	722,500円（個人寄付 499,000円）

2022年 540,000円 661,500円（個人寄付 430,000円）

〈当地区の米山学友会について〉

当初は2680地区には米山奨学会学友会が無く、大阪地区の「関西学友会」（創設1986年）に合同の形でお世話になっており、当地区としての現役奨学生や学友性に対する集团的行事や活動はありませんでした。関西学友会には毎年25-35万円の支援金を送っていました。

そこで当地区に独立した学友会を創設しようと、当クラブの会員を含む有志で半年をかけ米山記念奨学会と交渉して約10名の設立役員会を作り会合を重ね、必要書類、申請書を作成し、米山記念奨学会に提出、ようやく2004年5月に独立承認を受けました。その後関西学友会からは分離し、毎年米山記念奨学会から補助金を受けて奨学生と学友会員の活動を活発に行う様になりました。

長期計画委員会

井元憲生

長期計画委員長

長期計画委員会は、2014-2015年度に新たにできた委員会で、神戸東ロータリークラブの直面する諸問題や中長期的活動計画の立案、本来あるべき姿や進むべき方向に具現化していく事を目的とし、設置された委員会である。

創立60周年以降の活動内容については、下記の通りである。

◆2014～2015年度 委員長：野々村 禎之

- ・ホームページリニューアルについて問題提起を行った。
- ・幹事、事務局マニュアルについて問題提起を行った。
- ・基本金、消費税増加について問題提起を行った。
- ・会員増強、CLP（クラブリーダーシッププラン）について問題提起を行った。

◆2015～2016年度 委員長：乙守 典厚

- ・クラブが直面する今後の課題の調査研究、及び消費税増加の影響について調査分析を行った。
- ・CLP（クラブリーダーシッププラン）の導入について検討及び調査を行った。
- ・女性会員入会について、入会環境を整えていくとともに、相応しい女性会員の発掘方法や選定方法について考慮し、調査した。

◆2016～2017年度 委員長：道上 明

- ・幹事マニュアルの文章化を行った。
- ・会計事務の適切化について検討し、会計システムソフトの導入を行った。
- ・大阪東RCの提唱により、京都東RCと神戸東RCとの三東会が発足した。
- ・地区との関り方について検討し、ガバナー補佐を輩出した。

◆2017～2018年度 委員長：横山 幹夫

- ・ガバナー輩出について、候補者は確定していないができるだけ早くその機運を盛り上げた。
- ・周年事業の在り方について、65周年は控えめにし、70、75周年に力を注ぐ事とした。
- ・新会員入会資格に関し、前年度の細則改定時に削除された「職業人または専門職およびこれらに従事した者」という文言を復活するように理事会に提言した。

長期計画委員会

- ・事務局の運営について、簡素化、経費削減を念頭に事務負担の均等化とIT化を進めた。
- ・消費税増税の影響について、今後会費の値上げもしくは例会数の検討が必要と提言した。

◆2018～2019年度 委員長：吉井 正幸

- ・年会費の改定について答申し、理事会に議論を委ねた。
- ・周年事業の意味づけを検討し、10年刻みの年と75周年に行う事とした。
- ・将来のガバナー輩出に向けて検討し、10年から15年に1回は輩出すべきであるとの答申を行った。

◆2019～2020年度 委員長：澤田 正樹

- ・2020年2月18日に委員会を開催し、松下衛会員にオブザーバーとして参加していただいた。
- ・ロータリー情報委員会、研修リーダーの役割について議論した。
- ・地区とクラブの関わり方について地区委員を積極的に選任し、クラブとして地区にもっと関わっていく必要性を確認した。
- ・ガバナー候補者の選任について、検討を行った。

◆2020～2021年度/2021～2022年度 委員長：須藤 雄二

- ・国際ロータリーにてクラブ活動の重心が職業奉仕から財団中心の寄付へと大きな変化が起こっている中で、神戸東RCが会員維持し活動する為に、クラブの芯として保持する理念、規範が必要と考えた。
- ・地区とクラブの関わり方について、地区委員を積極的に選任し、関わっていく必要があると考えた。
- ・ガバナー候補者の選任について、オーストラリア、ニュージーランドから複数の地区を合わせてもっと大きな地域を設置するという提案が採択された。
- ・多様性のある会員構成について、会員の理解を深めていく啓蒙活動が必要だと考えた。

◆2022～2023年度 委員長：森本 一裕

- ・7月25日、10月13日に委員会を開催（計2回）した。
- ・数年後の我々クラブのあるべき姿を議論し、理事会に提言の為、具体的な活動内容の作成を行った。

◆2023～2024年度 委員長：井元 憲生

- ・10年後のクラブの将来像を見据え、方向性を提案する。
- ・クラブと地区の関わり方について検討を行う。
- ・地区の動向をふまえガバナー輩出の計画を行う。
- ・創立70周年記念式典における広報、記念誌に参画する。

今回、過去の長期計画委員会の活動報告をまとめる中で、各委員長をはじめ委員会の皆さんの活動を通して現在の神戸東RCの姿があるという事を改めて実感いたしました。今後も、この現状に満足することなく、あるべき姿をより良くしていく為、理事会より諮問を受けた案件を中心に、神戸東RCの直面する諸問題や将来像について中長期的に検討を進め、具体的な形にしていく事が大変重要であると感じました。

危機管理委員会

三戸岡英樹

危機管理委員長

危機管理委員会は他の委員会と比べると新しい委員会であり神戸東ロータリークラブ60周年までは存在していませんでした。世界の変化が影響し新しくできた委員会なのです。私なりに学んだ危機管理についてここに記したいと思います。危機とは‘自分や自分の組織にとって好ましくないことすべて’と定義されます。自然災害、パンデミック、ハラスメント、個人情報保護、サイバー攻撃・情報操作などに分けられますが、ここ30年であれば私たちのクラブは阪神淡路大震災、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）を経験しています。南海トラフ地震、新しい感染症のパンデミックなども今後想定されますが、それ以上に今危機管理が必要なのはハラスメントではないかと感じます。米国における‘#Me Too’に端を発したハラスメントを糾弾するムーブメントは2017年以降世界に波及しており、日本でも政府機関、企業、大学スポーツ、演劇・・・様々な組織でセクシュアルハラスメント（セクハラ）、パワーハラスメント（パワハラ）の事案が明るみに出ていることは皆さんご存知の通りです。ハラスメントを大まかに定義すると‘個人又はグループの特性（年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向または性自認）に基づいて、言葉であれ、身体的であれ、誹謗、中傷、侮辱、憤慨、又は攻撃する言動を指す’となりますが、簡単に言うと‘嫌がらせ’‘いじめ’ということになります。国際ロータリー（RI）でも特に青少年に対するハラスメントを重視しており発生した場合の即刻報知を怠ればクラブの存続を取り消すという強い姿勢で望んでいます。ハラスメントは今や世界の大きな潮流であり今を生きるヒトとして常に意識しておくべき課題なのです。日本のハラスメントの歴史は1992年に結審した「福岡セクシュアルハラスメント事件」として知られる事案がきっかけとなり、政府も対策として1997年の改正男女雇用均等法にセクハラに関して事業主はその予防と事後対応に関する配慮をすべきという配慮義務が導入され、2006年の同法改正では措置義務へと強化されています。また2016年にはマタニティーハラスメント（マタハラ）に関する項目も加えられています。このセクハラという言葉が一般的になってからもう一つの代表的なハラスメントであるパワーハラスメント（パワハラ）が顕性化し2018年の労政審は厚生労働省に対してパワハラ防止にも同様の措置義務を事業主に課すことを建議し、国会で審議され、2020年に大企業に、2022年に中小企業にも措置義務化されています。つまりまさに日本においてはハラスメントは最近の課題なのです。パワハラは和製英語でありヒエラルキー社会である日本独特のもので世界に通用するものではありません。措置義務とは事業主がすべき措置を定める規定であり、事業主が履行したかどうかを行政が判断し、事業主に是正指導できるというだけのものです。ハラスメント行為そのものを禁止する立法のある国が多数派を占める世界基準から見ると日本はまだ遅れているとしか言いようがありません。例外もありますが、多くのハラスメントは組織の強者から弱者に、上司

から部下へ、先輩社員から後輩社員へ、正社員から非正規社員へ、そして男性から女性へ対してなされるものであり、いわば固定化された強いパワーダイナミクス（力関係）が日本の組織においては今だ少なからず存在しているのです。組織の中の偉い人は、部下に激しい怒りをぶつけてもいい、無理な仕事をさせてもいい、異性を性的な対象と見るのも許される、そうした滑稽なルールがなぜか組織の中で脈々と繰り返され学習されてきているのです。日本のロータリアンの平均年齢は60代であり、まさにこのようなパワーダイナミクスの中で育ってきたハラスメントに疎い世代が中心であると認識すべきです。つまりハラスメントに対する意識改革は私を含めたロータリアンの待ったなしの課題なのです。日本における2大ハラスメントであるセクハラ、パワハラはなぜ起こるのかについて日本における人権教育の第一人者である福田弘氏は日本人は‘人権意識が未熟である’と断言しています。ハラスメントは人権侵害であるという意識が重要なのです。私が大好きなクリントイストウッドは現在93才で映画監督・俳優を続けていますが昔から弱者目線で人権を大切にする映画作りで有名です。最後に彼の言葉で終わりたいと思います。‘やたらとテーブルを蹴倒したり、タフに振る舞うことは男じゃない。以前、プロボクサーのロッキー・マルシアーノと握手をしたことがあった。彼は43戦KO勝ちを誇る強い男だ。自分の拳一つで、簡単に人を殺すことができることも分かっている。でもその握手は、まるでピアニストのように軽くてしなやかだった。これは彼が精神的にも肉体的にも、自分自身を制御できる強さを持っているという紛れもない証拠だ。これが本当の強さだ。だから、フェミニストについて誤った認識をして、女性を嫌いにしないこと。そして、全ての人がお互いを助け合うためにこの地上にいることを忘れてはいけない……。’

ゴルフ同好会

代表世話人 **土城敏彦** (2014~2023)、**友藤順義** (2023~)

ゴルフ同好会は58名(2023年11月現在)の会員が入会され、毎年3回から4回の競技会を開催しております。10年前と比べ10数名増えており納涼例会、忘年例会、お花見例会と名付け、会員相互の親睦を深めております。当クラブには、日本最古の神戸ゴルフ倶楽部や名門廣野ゴルフ倶楽部、小野ゴルフ倶楽部、東広野ゴルフ倶楽部、宝塚ゴルフ倶楽部、芦屋カンツリー倶楽部、数々のプロゴルフトーナメントを開催しております。六甲国際ゴルフ倶楽部、日本でも高難度のコースレートを持つゴールデンバレーゴルフ倶楽部のメンバー様が在籍しており、その方々にお世話になり素晴らしい環境のコースで楽しくプレーさせてもらっております。

2017年度からは年1回団体戦として委員会対抗も実施して結束を深めておりますので今後ともご協力宜しくお願い申し上げます。
(文責 世話人 尾山宜道)

年月日	場所	優勝	2位	3位	シニア優勝	団体戦優勝	
2014年9月4日	神戸ゴルフ倶楽部	雨天中止					
12月11日	小野ゴルフ倶楽部	上村(修)	井元	佐井	友藤		
2015年4月2日	廣野ゴルフ倶楽部	中川	土城	岡	友藤		
9月3日	神戸ゴルフ倶楽部	雨天中止					
12月10日	小野ゴルフ倶楽部	池西	川崎	宮	三原		
2016年4月7日	廣野ゴルフ倶楽部	雨天中止					
6月10日	東広野ゴルフ倶楽部	富永	池西	村元	三原		
9月8日	神戸ゴルフ倶楽部	雨天中止					
12月1日	小野ゴルフ倶楽部	上村(修)	川崎	尾山	友藤		
2017年4月6日	廣野ゴルフ倶楽部	木下(健)	川崎	三原	木下(健)		
6月22日	東広野ゴルフ倶楽部	土城	中川	尾山	友藤	米山チーム	
9月7日	神戸ゴルフ倶楽部	藤井	佐井	村元	※雨天10H		
12月7日	小野ゴルフ倶楽部	池西	小坂	川崎			
2018年4月5日	廣野ゴルフ倶楽部	三原	河崎	井元	三原		
6月7日	東広野ゴルフ倶楽部	川崎	土城	尾山	村元	会員増強	
9月27日	神戸ゴルフ倶楽部	梅田	尾山	小坂	友藤		
12月6日	小野ゴルフ倶楽部	富永	中川	川崎	佐井		
2019年4月4日	東広野ゴルフ倶楽部	池西	富永	山本(康)	村元	選考・米山・親睦	
6月20日	芦屋カンツリー倶楽部	尾山	上村(修)	川崎			
9月5日	神戸ゴルフ倶楽部	石原	中川	芳賀	村元		
12月12日	小野ゴルフ倶楽部	中川	土城	井元	佐井		
2020年4月2日	ゴールデンバレーゴルフ倶楽部	コロナウイルス感染対策の為中止					
6月25日	東広野ゴルフ倶楽部	コロナウイルス感染対策の為中止					
10月8日	ゴールデンバレーゴルフ倶楽部	土城	芳賀	中川	三原		
12月17日	小野ゴルフ倶楽部	尾山	川崎	中川	佐井		
2021年4月8日	東広野ゴルフ倶楽部	中川	魚谷	石川	三原		
9月16日	芦屋カンツリー倶楽部	上村(修)	中川	吉田(正)	横山(幹)	会員増強選挙	
12月16日	小野ゴルフ倶楽部	山本(康)	土城	中川	橋本(豊)		
2022年3月31日	六甲国際ゴルフ倶楽部	横山(公)	中川	上村(修)	横山(公)		
6月9日	東広野ゴルフ倶楽部	宮	土城	中川	横山(幹)		
9月15日	芦屋カンツリー倶楽部	尾山	芳賀	土城	横山(公)	家族	
11月24日	小野ゴルフ倶楽部	橋本(耕)	河崎	土城	森本(一)		
2023年3月30日	六甲国際ゴルフ倶楽部	川崎	中川	橋本(耕)	森本(一)		
6月8日	ゴールデンバレーゴルフ倶楽部	森本(光)	宮	横山(公)	横山(公)		
9月7日	宝塚ゴルフ倶楽部	魚谷	中川	宮	福原	R情報・職業奉仕	
12月7日	小野ゴルフ倶楽部						
2024年3月13日	六甲国際ゴルフ倶楽部						

俳句同好会「余韻会」

世話人 角田嘉宏・吉井正幸・小林一也

創立60周年記念誌によりますと、俳句同好会・余韻会は1968年（昭和43年）に第1回の句会が開催されました。

その後脈々と56年間続いている歴史の重みを改めて感じます。

例会は当初よりの形式を受け継ぎ、月1回（年10回程度）のペースで予め出された兼題（季題）のもとに5句を出句して出席者の選句を受けます。

故稲畑汀子先生（前ホトトギス主宰）のご推挙より2004年（平成16年）からホトトギス同人の本郷桂子先生、2017年（平成29年）より同じく同人の奥田好子先生にご指導を受けています。

俳句会と聞けば堅苦しいような印象を持たれますが、初心者の会員個々にも懇切丁寧に指導をして頂き、和気藹々とした楽しい句会を実施しています。

以前より会報誌には毎例会の句を掲載して頂いておりますが、今年度からは週報の末尾にも「余韻会・今週の俳句」として会員の句が掲載されています。

現在の余韻会の会員ほとんどが初めて余韻会で作句をしたメンバーなので今まで俳句とは縁がなかったという方もぜひ奮って参加をお願いいたします。

余韻会例会の出句作

言祝の七十周年風光る

夕暮れの滝の白さの残りをり

何もかも見て来た様な目刺の眼

街路樹に散り残りたる木の葉かな

身震ひの氷柱の朝の犬散歩

バレンタインブランドチョコは自分用

小ぶりとして夕餉明るし焼松茸

浅掘りの筍づくし妻の味

冬日和砂丘の向かう日本海

食卓に筍ご飯笑顔の輪

わら焼きの香り絶品初鰹

朝嵐去って躍るや鯉のぼり

散紅葉心の壁を埋めつくす

行秋やストロガノフと赤ワイン

輝きし君の瞳や若葉萌ゆ

茅葺の茶屋の連なる若葉道

初蝶や一ひら舞ひて季を告ぐる

奥田好子

執行 執艸

角田 伯堂

則岡 弘士

塚本 宗哲

松谷 泰山

吉井 聖倅

神田 淡京

小林 一也

伊藤 正

高橋 恵信

畑崎 青峰

壺井 仙岳

関本 剛紀

飯田 美音

村野 離翔

橘 恵子

コーラス同好会「神戸東混声合唱団」

世話人 梅田 稔

第26回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭が、神戸東ロータリークラブ主催で、2023年7月29日、国際会議場ポートピアホールにて開催。全国から25の合唱団が参加しました。

この合唱祭は、合唱団を持つ六つのロータリークラブがコーラスを通して親睦を深めようと始めたもので、1994年に明石西RC主催で第1回が開催。震災やコロナ禍で中止を経験しましたが、神戸東は第1回より毎年参加を続けてきて26回皆参加です。

思い起こせば昨年、コロナ禍で中断していた合唱祭を名古屋名駅RCが頑張っって再びともした合唱祭の灯を消してはいけないという我が合唱団の熱い思いから、神戸での開催を表明。横山幹夫実行委員長のもと樋口会長をはじめとした会員のご協力に支えられ、無事開催することができました。お陰をもって参加者からは「合唱祭が今年開催されるとの知らせに、どれほど勇気づけられ励みになったか」という声を沢山頂きました。そして、この開催が次回への開催とつながり4年先まで立候補していただけることになりました。

最後に「みんなで集まり合唱を楽しめるのは、当たり前のことではないとコロナ禍で気付かされました。人々が集まり実践（合唱、奉仕活動）するのが皆さん。素晴らしい。合唱のために知っている人も知らない人も集まる。それって重要。音楽って良いなと思う。ぜひ続けてほしいです。」と合唱祭の講評を務めていただいた山口英樹先生が参加者らを鼓舞されました。



オープニング



合唱



線路は続くよ



手に手

絵画・写真同好会「東彩会」

代表世話人 小倉宗夫

絵画・写真同好会「東彩会」は、クラブ創立35周年記念に「絵画同好会」として作品展示をしたのが活動の始まりです。本年で35周年を迎えました。また平成8年から神戸東ロータリークラブの創立例会開催に合わせた「東彩会作品展」を開催しています。通年活動としては、室内人物、静物描写、野外での写生会、時には絵画講師に指導をいただきながら芸術的感性を磨いております。

現在の会員は13名です。(敬称略ABC順)

古津彰宏 香山道宣 三原孝公 宮 昭久 野田晴清 則岡弘士 小倉宗夫
佐井奇正 澤田正樹 角田嘉宏 鈴木祐一 多田善計 吉田建美

2015年より2023年の主な活動を報告します。

2015-2016年度

- ・2015年3月7日 淡路由良港にて写生会
画 題：由良港・近辺風景
参加者：10名
貸切バスで由良へ、イノセント由良にて昼食・懇親
- ・2015年4月6日～11日までの6日間 第20回東彩会作品展開催
兵庫県民アートギャラリー 2F小展示室
出品品目：油彩水彩・ガッシュ・アクリル・水墨・写真 計22点
出 展 者：日下、香山、三原、宮、村元、野田、則岡、小倉、太原（晃）、白羽、角田、高石（昇）高石（和）
- ・2015年10月8日 琵琶湖にて写生会
画 題：堅田漁港、浮御堂
参加者：9名
貸切バスで琵琶湖堅田へ、浮御堂周辺で写生、近江八幡水郷めぐりにて昼食・懇親
- ・2016年2月6日 ダイアモンドギャラリーにてスケッチ・デッサン会
画 題：裸婦
参加者：12名
久保昌由先生の指導を受けながら創作に没頭しました。イタリアンレストランにて新年会。

2016-2017年度

- ・2016年4月12日～16日までの6日間 第21回東彩会作品展開催
兵庫県民アートギャラリー 2F小展示室
出品品目：油彩水彩 ガッシュ アクリル 墨彩 テンペラ 写真 計27点
出 展 者：日下、香山、三原、宮、村元、野田、則岡、小倉、太原（晃）、白羽、角田、高石（昇）、高石（和）、佐井、鈴木、多田

- ・2017年1月29日 京都大原三千院にて写生会
 画題：冬の大原三千院
 参加者：10名
 貸切バスで京都大原へ、写生後は「民宿大原の里」にて味噌鍋の昼食・懇親
- ・2017年3月2日 ダイヤモンドギャラリーにてスケッチ・デッサン会
 画題：裸婦
 参加者：8名
 久保昌由先生の指導を受けながら創作に没頭しました。中国菜群青にて食事会

2017-2018年度

- ・2017年4月11日～15日までの5日間 第22回東彩会作品展開催
 兵庫県民アートギャラリー 2F小展示室
 出品品目：油彩・水彩 計21点
 出展者：日下、香山、三原、宮、村元、野田、則岡、小倉、太原（晃）、角田、鈴木
- ・2018年1月23日 ダイヤモンドギャラリーにてスケッチ・デッサン会
 画題：花と静物
 参加者：6名
 久保昌由先生の指導を受けながら創作に没頭しました。神戸菊水にて新年会

2018-2019年度

- ・2018年4月10日～14日までの5日間 第23回東彩会作品展開催
 兵庫県民アートギャラリー 2F小展示室
 出品品目：油彩・水彩 計25点
 出展者：日下、香山、三原、宮、村元、野田、則岡、小倉、太原（晃）、角田、鈴木、佐井
- ・2018年4月20日 「KAIRA」作品展打ち上げ会
- ・2019年1月14日 淡路一宮、伊弉諾神宮、あわじ花さじきにて写生会
 画題：伊弉諾神宮
 参加者：10名
 貸切バスにて淡路島へ。写生後は岩屋「正寿司」にて新年会
- ・2019年3月26日 ダイヤモンドギャラリーにてスケッチ・デッサン会
 画題：人物画「アラビアンナイト」
 久保昌由先生の指導を受けながら創作に没頭しました。「ラゴローニャ」にて食事会

2019-2020年度

- ・2019年4月9日～13日までの5日間 第24回東彩会作品展 開催
 兵庫県民アートギャラリー 2F小展示室
 出品品目：油彩・水彩 計21点
 出展者：香山、三原、宮、村元、則岡、小倉、太原（晃）、角田、鈴木

- ・2019年4月16日
神戸東ロータリークラブ 創立65周年記念式典に作品展示
- ・2020年2月24日 倉敷美観地区にて写生会
画題：倉敷美観地区
参加者：8名
新幹線で岡山倉敷へ。写生後に旅館くらしきにて昼食、大原美術館見学

2020 - 2021年度

- ・2020年4月14日～18日（予定） 第25回東彩会作品展はコロナ禍のため中止

2021 - 2022年度

- ・2021年4月13日～17日（予定） 第25回東彩会作品展はコロナ禍のため中止
- ・2021年11月20日 御津町室津にて写生会
画題：室津漁港 賀茂神社
参加者：9名
貸切バスにて室津漁港へ。写生後は食事処「まるよし」にて昼食・散策

2022年 - 2023年度

- ・2022年4月12日～16日までの5日間 第25回東彩会作品展開催
兵庫県会館 2F アートギャラリー
出展作品：油彩8点・水彩5点・クレパス画1点
小倉宗夫 「室津漁港」油彩・「さくら隧道」油彩
角田嘉宏 「MR OMURA」油彩・「丹波の農家」油彩
三原孝公 「ポルトガルの風景」油彩・「南イタリア アマルフィ海岸」油彩
則岡弘士 「迎賓館」油彩
村元信吾 「舞妓」油彩
宮 昭久 「明石大橋」クレパス画
鈴木祐一 「AKAONI」水彩・「MARUKUN」水彩
香山道宣 「室津賀茂神社」水彩「アテネの三人衆」・水彩「アマルフィの賑わい」

2023 - 2024年度

- ・2023年4月11日～15日までの5日間 第26回東彩会作品展開催
兵庫県会館 2F アートギャラリー
出展作品：油彩8点・水彩8点・クレパス画1点
小倉宗夫 「芦屋川風景その1」油彩・「芦屋川風景その2」油彩
角田嘉宏 「緑の館」油彩
三原孝公 「1999年頃の長江の風景」油彩・「薔薇」油彩
則岡弘士 「もみじ公園」油彩
村元信吾 「島原大夫」油彩
香山道宣 「帽子のある部屋」油彩・「穏やかな河」油彩

宮 昭久 「淡路市岩屋の朝」クレパス画

鈴木祐一 「我が家のわんちゃんの絵」水彩・「静物Ⅰ」「静物Ⅱ」「静物Ⅲ」「静物Ⅳ」水彩

古津彰宏 「ピアス」水彩・「オンフルールの朝」水彩・「ピアノが好き」水彩

(文責 香山道宣)



写生会 丹波篠山



写生会 室津



ワイン同好会

世話人 吉田 茂、梅田 稔

ワイン同好会は1988年に角田会員と今井会員によってワインを通じて親睦を深める目的で始まった歴史ある同好会です。この10年間で以下の15回の例会を開催しました。【13-14年度】「イタリアトスカーナのワイン」参加者24名、「アメリカのワインいろいろ」参加者33名【14-15年度】「イタリア各地のワイン」参加者25名、「新旧ワインの飲み比べ」参加者44名【15-16年度】「オーストラリアワインの熟成の可能性を探る」参加者33名、「驚異のチリワイン」【16-17年度】「ワイン同好会創立30周年記念例会」参加者60名、「いよいよ夏、海の季節！」参加者36名【17-18年度】「木下健会員旭日小綬章受章のお祝い」参加者38名【18-19年度】「フランス各産地のワインを楽しむ」、「ワイン同好会創立年1988年物を中心にフランス銘醸ワインを楽しむ」【19-20年度】「Old and New」参加者36名【21-22年度】「フランス主要産地のワインを楽しむ」参加者34名【22-23年度】「イタリア各地のワインを楽しむ」参加者31名【23-24年度】「カリフォルニアワインを楽しむ」参加者32名。途中、コロナ禍による休止期間もありましたが、2021年に約2年ぶりの開催を果たしました。これからも「世界のワインを味わいながら会員同志の親睦を深めるとともに世界の歴史と文化を理解し親善を深めていく」という同好会の趣旨に沿って楽しい例会を開催して参りますので多くの皆様のご参加をお待ちしております。



麻雀同好会「楼満会」

代表世話人 田中健三

神戸東ロータリークラブ麻雀同好会は平成13年1月23日「楼満会」と命名され第1回の会合が開催され今日に至っていますが、残念ながら2020年よりのコロナ禍の影響で3年ほど開催できませんでした。ご存じの様に麻雀は密な環境での集まりですので止む負えない状況でした。早く再開出来ることを念じています。永い歴史の有る碁や将棋同様に現在まで愛されているのにはそれなりの魅力が有っての事だと思います。

麻雀同好会は中国文化の研究と親睦を目標として掲げ、反面会員相互の人間性を探るといふ奥の深い目的と生来の博打好きが相まって個性豊かな会員が参加しています。

年代的には昭和20年代から30年代生まれが大半を占め、学生時代の貴重な青春を麻雀に浪費してしまった世代が中心となっています。

デジタルの世界に順応するより「麻雀」というアナログの原点のようなゲームに郷愁を覚え、「駆け引きと」手中の14個の牌に「自分の世界」を構築しうることに快感する世代があります。現在の会員は崇高な目的も忘れ、何の気遣いも無く、又負けず嫌いな性分そのままにひたすら「勝つこと」にだけに専念しています。

結果的に勝つても負けても金銭の授受は無い（賞品は有り）のに良く頑張るものだと感心しています。

以上の様にこれからも頭と指先の体操と考え毎回楽しくストレスを発散しながら親睦を図っていきます。もっと多くの会員の方々に参加していただき世代を超えて親睦が出来る事を願っています。

（入会歓迎） 謝謝



歩こう会

代表世話人 友藤順義

長年 代表世話人を努めて下さった大原晃一会員が退会されて、三原孝公会員、佐井奇正会員、田中寿夫会員と共に引き継ぎ、年に2回開催させていただいております。

この会はメンバーの体力増進、及び親睦を深める目的で1999年に結成され、本年で24年が経ちました。

発足当時は和歌山県や鳥取県など遠方へも足を延ばし、充分長距離を歩いてきました。近年はメンバーも年を重ね、足の具合も考えてハイキング程度の近距離を歩いております。途中の食事会でにぎやかに会話を交わすのも楽しみの一つになっております。

現在の同好会メンバー

三原孝公、塚本哲夫、佐井奇正、森本一裕、山本康一郎、吉田 茂、田中寿夫、友藤順義

日 時	ウォーキング先
2017年 4 月	摩耶ケーブル、王子公園
2017年10月	阪急岡本、JR甲南山手
2018年 4 月	須磨海浜公園、垂水・大蔵海岸
2022年 4 月	JR新長田駅、ノエビアスタジアム神戸、中央市場
2022年10月	新開地、湊川隧道
2023年 4 月	須磨浦公園、須磨寺参道



歩こう会 活動記録 2005年以降

年 月 日	行 先	備 考
2005.12.24 (土)	菊水山～再度山ハイク、忘年会	
2007.10.8 (月)～10.9 (火)	尾瀬周辺ハイク	
2010.7.24 (土)	菊水山～鍋蓋山他ハイクと食事会	12名参加
2010.9.4 (土)	比良山荘お食事会	
2011.6.4 (土)	伊丹ウォーク (中山寺～荒巻バラ公園他)	7名参加
2011.9.28 (水)～30 (金)	ニセコハイク	7名参加
2012.9.20 (月・祝)	清盛ゆかりの地散策と食事会	
2012.9.20 (木)～23 (土)	ニセコハイク・ゴルフ	
2014.3.29 (土)	竹ノ内街道を訪ねて (奈良葛城市)	
2015.11.7 (土)	森林植物園周辺散策	9名参加
2016.4.9 (土)	万博公園周辺ハイクと食事会	10名参加
2016.11.26 (土)	姫路城～書写山円教寺ハイク	5名参加
2017.4.8 (土)	灘区主な神社巡りと食事会	13名参加
2017.10.21 (土)	岡本～甲南山手～芦屋～谷崎潤一郎記念館ハイクと 潮芦屋温泉と食事会	13名参加
2018.4.21 (土)	須磨海岸～舞子公園～大蔵海岸ハイクと食事会	13名参加
2019.11.2 (土)	元町～新開地～湊川公園周辺ハイク	
2020.11.7 (土)	(六甲山～有馬)	中止
2021.11.20 (土)	御津田室津散策 (東彩会合同開催)	10名参加
2022.4.9 (土)	長田駅～兵庫の津ミュージアム周辺散策	7名参加
2022.10.15 (土)	長田神社～会下山湊川隧道ハイク	8名参加
2023.4.8 (土)	須磨浦公園～鉢伏山～須磨寺ハイク	9名参加
2023.11.4 (土)	諏訪山公園～五宮神社-祥福寺～祇園神社～ ネイチャースタジオ・みなとやま水族館ハイク	8名参加

カラオケ同好会

代表世話人 友藤順義

この同好会は数あるロータリークラブの中でも珍しい同好会として、1989年10月に発足した歴史ある同好会です。

元会員の田端基宏さんが代表世話人になりスタートして、発足当時は年6回の例会を持ち、クラブの家族会や親睦会に出演して幅広く活動して参りました。

現在は吉田 茂会員、宮 昭久会員、香山道宜会員に協力を頂き、年2回開催しております。

歌の上手下手に関係なく唄いたい方、聞きたいだけの方が集まって食事を共にし、楽しいひとときを過ごしております。

創立60周年（2013年）から70周年（2023年）迄の記録と共に参加して下さった会員の名前をセレクトして次に挙げさせていただきます。

日 時	会 場	参加人数	参加者の中のお二人
2012.12.11	酒夢猫	15人	樽本、野田
2013. 6 .17	〃	16人	畑崎、木下（健）
2015. 6 .25	HoneyRose	12人	樽本、三原、
2016. 5 .31	〃	17人	吉田（建）、関本
2017. 6 .13	〃	17人	角田、樋口
2018. 5 .31	フルーリ	14人	弘田、宮
2018.11.28	スナック南天	16人	澤田、鈴木
2019. 5 .14	〃	16人	田中（健）、神田
2019.11.28	〃	15人	香山、多田
2022. 5 .17	〃	12人	森本（一裕）、田島
2022.12.13	〃	15人	藤井、井元
2023. 6 .15	〃	16人	中村、田中義明

（順不同 敬称略）



日本酒同好会

日本酒が大好き、日本酒を飲みながらしゃべるのが大好きという同志20人が集まり、平成25年10月19日（土）に例会を開催した。

日本酒は日本文化であるという観点から思いきり和のテイストにこだわった。

すなわち、

1. バスをチャーターし、「山田錦の里、吉川町」へ遠征
2. 時は中秋の名月の夜
3. 温泉を堪能
4. 地元産の和食
5. 消えつつあるカヤ葺屋根の民家を訪問
6. 長唄、三味線の演奏
7. 全員で日本の唱歌を合唱
8. 県内産の日本酒の飲みくらべ

いつも開催すれば意気投合し日本人に生まれて良かったと実感する楽しい会である。

しかし問題もある。めんどうくさがりの幹事ばかりで開催が少ないことである。

2018年9月6日、永らく代表世話人を努めて頂きました嘉納様がお亡くなりになり、その後、代表世話人が決まっておられません。

（文責：森本一裕）



I.Y.F.R.神戸フリートJAPAN神戸東RC同好会

代表世話人 三原孝公

当同好会は、RIの親睦活動グループであるIYFRの親睦活動に積極的に参加することを目的とし2009年11月に発足致しました。

主にIYFR神戸フリート（会員数70名）の親睦活動に参加しています。

今年度、神戸フリートは発足30周年を迎えます。

この10年を振り返るとIYFR神戸フリート発足20周年、2012-13年神戸フリートコモドアは井元憲生さんで20周年記念行事として企画した「秋のマリンクルーズ&ランチパーティー」9月30日12時開催予定でしたが、丁度その時刻に台風が神戸を直撃、中止となり“嵐を呼ぶ男”と呼ばれるようになりました。

その後、神戸東のメンバーが神戸フリートコモドアに就任したのは2015-17年宮昭久コモドア、コロナウイルスもなく活発に活動できました。

2021-23年田中義明コモドア、コロナ対策は残っていましたがその中でも活発に楽しく活動が出来ました。

IYFR神戸東RC同好会はIYFR神戸フリートを盛り上げています。

(文責 世話人 宮 昭久)



ビール同好会

代表世話人 野々村禎之

ビール同好会は、東クラブ会員でもあるキリンビール神戸支社長さんが世話役となり始まった「キリンビールを楽しく飲む会」を前身とし、その後同好会という形で現在にいたります。

東クラブ60周年の際には塚本会員が代表世話人を務められ、それから年1～2回、その都度会場を替えて開催してまいりました。

しかしながら、会の発足以来世話人を務めておられた山崎会員がお亡くなりになられたため、今年新しい世話人で再出発することになったものであります。

2023年7月18日に本年第1回のビール同好会を神戸市中央区の中華料理「馨林」さんにて開催し45名のご参加頂きました。

キリンビールさんは現在、多種多様なクラフトビールを展開されており、これからも「おいしいキリンビールを楽しむ会」として、和気あいあいと続けてまいりたいと考えております。会員皆さまのご参加をよろしくお願い致します。

(文責：弘田芳裕)



野球同好会

総監督（代表世話人） 野々村禎之

全国ロータリークラブ野球大会は2023年5月から7月にかけて第38回大会が開催されました。

球児のあこがれである阪神甲子園球場にて開催される同大会ですが、全国のロータリークラブが参加し、試合前日の前夜祭では懇親を深め、試合当日は童心に帰って白球を無心に追いかけます。

また、選手以外でも応援団として参加することもでき、普段では入る事ができないベンチやブルペンといった裏側の雰囲気も味わえ、参加者皆さんが楽しめる機会になっています。

甲子園での試合だけではなく、勝利に向けた練習、友好他クラブとの合同練習や練習試合も行っており、野球を通じて様々な交流の場ともなっています。

神戸東ロータリークラブは、2017年-2018年度に開催の第35回大会から参加しており、戦績は次の通りとなっています。

参加者の皆さんが、怪我すること無く、楽しむことが一番の目的ではありますが、やはり、勝利の美酒を味わいたくもありますので、勝利も目指しつつ、練習を重ねて、次回大会にも臨んでいきたいと思えます。

選手、応援団にご参加いただければと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

（文責 樋口敦仁）

【戦績】 第35回大会（2017-2018年度）

2018年9月16日 VS 米子南RC（鳥取） 6対14 敗戦

第36回大会（2018-2019年度）

2019年6月29日 VS 越谷北RC（埼玉） 10対6 勝利

第37回大会（2021-2022年度）

2022年5月14日 VS 新宮RC（和歌山） 15対0 勝利

第38回大会（2022-2023年度）

2023年7月4日 VS 京都伏見RC（京都） 3対6 敗戦

【世話人】

年度	総監督 （代表世話人）	GM	監督	主将
2017-2018年度	野々村 禎之	藤井 光造	樫野 孝人	林 伯正
2018-2019年度	野々村 禎之	藤井 光造	樫野 孝人	林 伯正
2019-2020年度	野々村 禎之	藤井 光造	樫野 孝人	林 伯正
2020-2021年度	野々村 禎之	藤井 光造	樫野 孝人	林 伯正
2021-2022年度	野々村 禎之	藤井 光造	樫野 孝人	林 伯正
2022-2023年度	野々村 禎之	藤井 光造	樫野 孝人	林 伯正
2023-2024年度	野々村 禎之		樋口 敦仁	芳賀 博之



むつみ会

会長 塚本恵美子

「むつみ会って？」

この度、色々な事情が重なって3年連続でむつみ会の会長を引き受けることになりました。決してやりたがりでも出たがりでもないのですが、めぐり合わせと言うか、断り下手なのもあって、会長をやることになってしまいました。

思えば私も若くて初々しかった頃（私にもあったのです！）むつみ会というのは、怖いおばさま方の集まりのように思っていましたのに、その私が今や誰より怖い存在になっているような？

歴史的に見れば、神戸東クラブが昭和29年に国際ロータリーに認証加盟されることになり、そのチャーターナイトの準備を行うことが発端です。チャーターナイトの構想をつかむ為に、各地のチャーターナイトを見学参加し、会場の下見、試食会、お土産の準備など、会長夫人の下、御夫人方の一致団結したパワーで進められたようです。

昭和31年、小泉会長のご発案で、例会の雰囲気をご夫人方にも味わってもらおうと、8月例会にご夫人方を招待されました。それを機に規約を改正し、会長夫人がむつみ会の会長に、幹事夫人が幹事と夫々ロータリーに呼応した役職に就くことが決められました。

むつみ会自体としても何か社会貢献を行いたいとの考えから、昭和49年より国際会館において会員持ち寄りによるチャリティーバザーを開催し、売上金は寄付などにあてられました。

しかしながら、平成7年の阪神淡路大震災により休止となり、社会奉仕活動に形をかえました。また、むつみ会コーラス同好会も発足し、松下会員夫人のご指導により、和気あいあい歌う楽しさを味わっています。クラブコーラス同好会との混声合唱にも参加させて頂き、全国ロータリー合唱祭では、その美しいハーモニーを存分に響かせてきました（はず！）。本年度には神戸で合唱祭を開催し、もてなしと歌声と共に好評を博したものと信じています。

むつみ会が義務とかでなく、楽しい人の集う楽しい所として参加して頂けたら、何より嬉しいことなのです。まだ参加したことのない皆様、一度のぞいて見てください。思いがけない楽しい出会いが待っているかもしれません。

今年度の年明けに、また驚くような悲しいニュースが流れてきました。神も仏もないものかと不遜にも思ってしまいました。でも、そういう時こそ、被災経験のある我々が寄り添うべき時なのではないでしょうか。精一杯知恵をしぼってできることを考えてみましょう。楽しい時だけでなく、やはり誰かのために役に立つそういう活動へ少し歩みだす時なのかもしれません。できること、考えてみましょう！



第3部

会員随想

「みんなで75周年、
100周年に向けてがんばろう」

～みんなで75周年、100周年に向けてがんばろう～

伝わるものと伝えるべきもの

麦 志明

今年で本クラブに加入しておおよそ3年となりました。このように年次が浅いにもかかわらず創立70周年という節目に、社会奉仕委員会の委員長という大役を仰せつかりました。その甲斐もあって、理事会や各委員会のさまざまな活動について知ることができ、改めて本クラブの伝統と格式を肌身に感じているところです。

ある人が行動を行うにあたっては、遺伝的要因、環境的要因、経験的要因が主な要因であると聞いたことがあります。遺伝的要因は、その人が持っている遺伝子に左右されるもので、先天的に与えられるものですが、環境的要因・経験的要因は、その人が現在おかれている環境やその人がこれまでに得た経験であり、後天的なもので、その人による意味付けがなされた結果によるものとなります。要するに、全く同じ遺伝子を持っている人であっても、後天的な環境や経験、それに対する個々の意味付けによって、その人がとるべき行動は変わってくるということです。これを本クラブに即して言うと、組織構造や活動そのものは遺伝的要因によるもの、その時々の本クラブの対外的な関係・地位や会員数は環境的要因、その時々の本クラブの会員それぞれの経験は環境的な要因であると考えられると思います。

私たちが行っている各委員会の活動の多くは、諸先輩方から、自然に（いわば遺伝子的に）受け継がれてきたものであり、自分たちが率先して始めたものは限られています。これらの活動について、その時々々の環境・経験に基づき、その意味を自分なりに咀嚼して、これらを後輩に伝え、同様に後輩も、さらにその後輩に伝えていくような承継がなされれば、これらの活動はより有意義かつ永続的なものになると考えています。

本クラブの活動については、まだまだ諸先輩方から教わることが多く、その都度、その意味を併せて承継できるように心がけていきたいと思っています。

コロナ禍徒然に思う

鮑 悦初

神戸東RC創立70周年、角田会員に「鮑ちゃん、あんたもお昼食べるやろ？一緒に食べる！」と誘われて入会、気づけば20年が経ちました。

RCはそれなりに成功された方々が居られる会で、そんな会にお誘い頂き、仲間として迎え入れてくださったことをとても光栄だと思っています。

入会して、何かの話の中で私が“国際Rクラブ”（RIもクラブだと思っていました）と言ったら、後で松下先輩から「鮑ちゃん“国際Rクラブ”って無いんやで、あれは“国際R”やで！」と教えていただきました。

神戸東RCの諸先輩をはじめとする皆さんには、こんなRの口の字も知らない私を引き上げて頂き、委員長をはじめ、幹事、会長まで経験させていただきました。多くの方から多くの事を教えて頂きながら、大過なく無事に21年目を迎えられることを、とても嬉しく思います。

残念ながら、折角入会しても、続かず退会された方もいます。Rライフが面白くなかったのかな？楽しくなかったのかな？RCのメンバーであることに悦びが無かったのかな？と考えています。

『子曰、知之者不如好之者、好之者不如樂之者』(子曰く、これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず)

『子曰、近者説、遠者来』（子曰わく、近き者悦び遠き者来たる）と、論語の中の孔子の言葉を教えてくれた先輩経営者がいます。

「RC知る者はRCを好む者に如かず。RCを好む者はRCを楽しむ者に如かず」

RCライフ、奉仕活動が“面白い！楽しい！”が長続きの元じゃないかな!?

「会員悦べば、遠き者来たる」

メンバー一人ひとりがRCの会員であることの“悦び”が増強の本じゃないかな!?

思い出のロータリー活動

伴 裕美

いつも誠にありがとうございます。会員に迎え入れていただき現在で1年半の私のロータリーライフは、もうすでに沢山の思い出をいただいております。

はじめに山崎さんです。山崎さんには、「ロータリーは大きな家族」など在り方を優しくお導きいただいただけでなく、今後の人生における生き方や生き甲斐についても語り合わせていただいた、その出会いが心あたたかに私の一部となっています。

次に、神戸東RCが主催した第26回合唱祭です。皆さんと共に練習した楽しい時間、初めて垣間見た開催準備にご尽力奮闘される諸先輩方のお姿、合唱祭当日のチームワーク、司会役だから体験できたバックステージでの出場者皆さまの楽しそうで緊張された表情、本番で放出するエネルギー、共に過ごした時間が織りなす謳歌と笑顔は最高でした♪。人生の大先輩たちから生きることの楽しさを見せていただいた気がします。

そしてもう一つ、夏の終わりに参加したホスピスボランティア研修 in Hawaii です。これは私の人生の視野をまた大きく広げるきっかけとなりました。ホスピス支援そのものについては社会制度や専門職の役割権限、寄付文化などに違いが大きく、また日本人の特性からも日本社会での実現浸透は容易ではないと感じた一方で、支援をする側と受ける側のそれぞれから、個人として大切にしたい価値観や生き様というものを改めて考えさせられました。

振り返ると、たった1年半の間に、これからの人生後半に必要となるギフトのような経験をさせていただきました。改めて感謝を申し上げます。

依然として職業奉仕で必死レベルの私ですが、ひとつずつ味わいながら、楽しく学びながら歩みたいと思います。

私にとってのロータリー

後藤章暢

私が小学生の頃、父親が没頭していたロータリークラブのクリスマス会に参加するのを毎年楽しみにしていました。恰幅の良い紳士が皆やさしく、子供達に相手をしていただき、素晴らしいプレゼントや楽しい催し物などで、子供たちが行うクリスマス会とは別世界の出来事で、ロータリーというのはすごいところだと感じていました。私が大学生の頃、実家に戻るたびに見知らぬ外国人が自宅で食事をしていました。今思えば、父がロータリーの活動として留学生の面倒をみていたようで、自宅での主役は母で、いつも大変な思いをしていたそうです。そのため、私の家族からはロータリーだけにはかかわるなと強く言われていました。その後40数年のブランクにて、尊敬する先輩から誘われ、自分がロータリアンになり、現在のロータリー活動の様子が昔と少しかけ離れていることにやや寂しい

感を抱いています。昔が良いことだけとは限りませんが、古きよき時代を踏襲するような組織であり、そこでの社会活動を実践していく活動組織でありたいと最近考えるようになりました。

神戸東ロータリークラブが創立70周年を迎えますが、私の年齢はそれよりも若く、神戸東ロータリークラブを追い抜くことは不可能であると痛感しています。そのため父親を理想とは考えませんが、古きよきロータリアンに少しでも近づけるように、残された余生を楽しく有意義に、ロータリー活動を行いたいものです。神戸東ロータリークラブが次の100周年に向けてさらに大きくなることを期待して、自分の出来る範囲でロータリーとともに過ごしていきたいと考えています。

ロータリーとパンデミック

引田芳裕

2020年に始まったコロナ禍は2023年5月まで、実に3年半近く我々の日常を見事に破壊しました。自分の一生のうちに、まさか100年に一度と言われるパンデミックに遭遇しようとは思ってもみませんでした。

飲食業者さんが主要な取引先である弊社の場合、コロナ禍では売上げが前年の9割減となる月もあり、まさに危機的でした。

そんななか当クラブの会員さん、特に社労士の和田さんには雇用調整助成金の申請などで大変お世話になりました。

同じクラブの会員ということで親身に相談にのって頂き、とても心強い思いでした。

今年の後半も山あり谷ありの毎日ですが、多くの方に助けて頂いたご恩を忘れず、これからはこちらが人様のお役に立てるよう努めていきたいと、思いを新たにす今日この頃です。

我がクラブの思い出

石橋恒生

1992年9月に東RCに入会を認めて頂いて、32年が経ちました。

会長ゲストで参加した例会のオープニングセレモニーでいきなり唱歌として「どんぐりコロコロ」を歌ったことを思い出します。

面白いことをする団体だと思ったことが強烈な第一印象でした。

入会から数年後、青少年奉仕委員長を拝命した時、普段感じていた神戸に諸外国から留学していた学生が、ほとんど下宿先から大学への往復で、ほとんど神戸の街を理解しないまま帰国をしていると聞いたので、将来、母国に帰国した時にリーダーになる学生に神戸を理解して頂こうと日本人の学生と留学生をバス2台で三菱重工の工場と灘の酒作りを見学していただいた後、須磨の島の公館で討論会を行った、この事業は当時の宮崎会長と坂口幹事が理解していただき予算を付けていただきました。

この事業は兵庫県の広報誌に掲載されたり、参加されたが留学生からお礼状が届いてたことを思い出します。30数年在籍中に1995年の阪神・淡路大震災も衝撃的な出来事でした。地震の翌日三ノ宮を歩くと先週まで毎週例会を行っていた神戸国際会館が無残に崩れていたことを思い出します。(その時の写真は50周年記念誌に掲載)

2004年に創立50周年記念誌の制作のお手伝いでは高島部会長と相談してこの記念誌さえあれば我がクラブの歴史がわかる「神戸東RCのバイブル」にしようと思集めました。その後どっぷり広報に携わり、55周年記念誌、60周年記念誌、65周年記念誌と携わり、その間趣味の写真で何万枚かの写真を

写してきましたが最近、年齢的にカメラの重さがきつくなりましたので、そろそろカメラを下ろそうと思う今日この頃です。

ロータリーの仲間を考える

伊藤隆啓

私は神戸東ロータリークラブに平成16年4月20日に入会しました。入会して20年目となり、今年の4月には21年目がスタートします。

私にとって、ロータリーでの20年という時間はあっという間の時間になります。たくさんの仲間、先輩、後輩にかこまれてこの20年をすごし皆さんに叱咤激励されながらロータリー活動を行ってきました。幸いにもこの間、ロータリー活動を休むという事が頭に浮かぶことなく過ごせたのは、皆様のご理解があったからだと感じております。

いろいろな委員会に属し、いろいろな係を経験し、日々の生活や仕事での活動とは全く異なる貴重な経験をさせていただきました。

ロータリー活動では、最初の親睦委員会で受付に立ち先輩の会員の皆様に例会でお迎えすること時に、なんと緊張する事かと感じたことを今でも覚えています。この文章を書くことで、薄らいでいた20年前の感覚を鮮明に思い出すことができました。感謝いたします。

ロータリーでの仲間には必要な時に、ロータリー活動の他仕事やプライベートの事柄にも相談や協力をお願いできる安心感があり、心強く思っています。私自身、お願いするばかりでなく、お願いされる立場になれるように努力していきたいと思っています。

皆様の大きな心でもって、これからもよろしく申し上げます。

私とロータリー

神田孝平

神戸東ロータリークラブ創立70周年おめでとうございます。

神戸東ロータリークラブは、創立1954年3月9日、RI承認1954年4月12日です。今年で創立70年を迎えます。

1954年は私が生を受けた昭和29年で、4月12日は私の妻の誕生日です。

不思議な縁を感じています。

私とロータリーとの出会いですが、1990年（平成2年）7月2日に某クラブに入会し、以後28年1か月在籍し、訳あって2018年（平成30年）7月31日退会しました。もう二度とロータリーのバッジも着けることも無いだろうと思っておりましたが、翌2019年（平成31年）1月8日、縁あって神戸東ロータリークラブに入会させて頂きました。そして現在に至っています。

一般的に、同業者とは比較的容易に親しい友人になることが出来ますが、ロータリークラブの良いところとして、異業種の友人をつくる事が出来る事が挙げられると思います。その上で一緒に奉仕活動を出来る喜びを感じさせてくれます。

それには、神戸東ロータリークラブには多くの同好会が存在していることも有利に作用するものと思います。

皆様もいろいろな同好会で、より親しい友人のつくってみられては如何でしょうか。そしてみんなで大いに楽しみましょう。

ロータリーの仲間を考える

榎野孝人

野球同好会の発足は、私に大きなきっかけを与えてくれました。

10年ほど野球から遠ざかっていた私を藤井光造GMが半ば強引に勧誘し（笑）、同じ手口で20数名のメンバーが集められ、甲子園という最高の舞台で野球を楽しむことになりました。

高校球児として叶わなかった憧れの甲子園のグラウンドに50代半ばで立つことができ、まさかマウンドに上がることができるなんて夢にも思いませんでした。

こんな機会を与えてくれた藤井光造GMと野々村総監督、神戸東ロータリークラブに感謝の気持ちしかありません。

さらに、チームづくりを一緒にやった林伯正キャプテンからロータリー外の草野球チームに誘ってもらい、今では年間40試合以上プレイするようになりました。

その間、肉離れ、骨折、靭帯断裂とケガの絶えない毎日でしたが（笑）、おかげで健康に動ける身体を取り戻せたように思います。

また、野球同好会の活動を通じて、ロータリー会員の皆さんと今まで以上に親しく接することができるようになっただけでなく、他クラブとの交流試合を通じて全国に輪が広がる実感もあります。

これからも、新しい機会と情報が溢れている神戸東ロータリークラブであり続けてもらいたいと思いますし、私も微力ながら一助となれば幸いです。



我がクラブの楽しみ方の一提案

小林一也

我がクラブの特徴のひとつはメンバーの適度な多さとその多様性、そしてメンバー同士の懇親を深める同好会の多さとさらにそれ以外の懇親の機会の多さだと思っています。ここでは私の所属する同好会の紹介をしたいと思います。

1. 混声合唱団

混声合唱団は会員とそのパートナー合わせて約30名のメンバーがいます。忘年家族会等でのコーラスはご存じだと思いますが、今年当クラブ主催で開催された全日本RC親睦合唱祭が年に1度あります。練習は例会後の20-30分の練習と不定期の休日の午後の全体練習があります。全体練習の後には有志が飲食しながらの反省会も待っています。西村先生の指導の下、各発表会までの歌詞譜面の暗記に苦労しながら和気藹々と楽しんでいます。

2. 余韻会

今年度の週報に会員の句が毎週掲載されているので少し身近に感じられるようになったのではないのでしょうか？月に一度例会後に、決められた兼題に沿った句を持ち寄り、わいわい言いながら奥田先生の評を頂きます。参加者は平均6-7人で新しい会員を募集しています。俳句は日本語ができれば誰でも時間をかけずに作ることができ、かつ奥の深い芸術だと思います。一度見学に来られませんか？

3. IYFR

International Yachting Fellowship of Rotarians の略で、ロータリアンで構成されるR.I公認のヨットの世界的同好会です。私はヨットの経験も無くもちろんヨットは持っていませんが、入会させて貰って楽しいヨット経験をさせて貰っています。ほぼ毎月の例会と年数回のクルーズ旅行があります。ヨットで海の上に出るのは最高の気分です。また懇親会でゆっくりおしゃべりを楽しむのも最高です。

4. ゴルフ同好会

皆さんご存じの通り、毎回異なった名門コースでコンペを楽しむことができる同好会です。コンペの後の懇親会でも美味しい食事をしながら更に懇親を深めることができます。毎回の豪華賞品も楽しみです。

ロータリーに入会して

小山要次

私はキンビール神戸支社長として2023年1月今井会員、山崎会員の紹介で伝統ある神戸東ロータリークラブに入会させて頂きました。ロータリーに入会するまで、ロータリーについて殆ど情報がありませんでした。神戸の有名な経営者の方の集まりと言った印象しかなく、ロータリーから何を学べばよいか不安もありました。

ところが入会すると、そうした不安は杞憂と終わりました。会員の皆様は気さくな方が多く、戸惑う私にとっても親身にご対応をいただきました。会員の皆様と様々な場でお聞きする話は私にとって勉強になることが多々ありました。サラリーマンの先輩や上司とは明らかに違う視点で語られるロータリーの先輩方のお話は私にとって大変貴重なものでした。

また、同時期に入会した会員が多く大先輩方とは違う目線で情報交換が出来ることも私にとっては本当に有意義な経験となっています。

今後は例会だけでなく、色々なイベントに参加して経営者の皆様から多くを学びたいと思います。私は2025年3月にキンビールを定年退職をしますが、退職後は神戸を拠点にセカンドキャリアをスタートさせる計画があります。その際は神戸東ロータリークラブの先輩経営者や会員の方から学んだ事を活かしていきたい思います。

そしてできれば、神戸東ロータリークラブの会員として残る後ができれば嬉しく思います。

キンビールの神戸支社長として入会し、残り1年強のロータリー生活を満喫します。

パンデミックとクラブ

工藤恭孝

コロナ・パンデミックは19-20年の須藤年度に始まり、20-21年鮑年度にピークを向え、休会、リモート例会、食事券例会を余儀なくされました。2021年は1月8日の緊急事態宣言発出から9月30日のまん延防止の解除に至るまで行動制限が続き、解除されたのは3月下旬から4月12日までの20数日間のみでした。責任回避ばかりの国の姿勢うんぬんは置くとして、「こんな時期での会合でまん延させたとしたら、どうやって責任を取るのだ！」また、「休会やリモートでは大きな会場は不要だ、食事を出さないなら、会費を下げてください！」と言う声です。危機管理委員会も立場上、実例会開催反対の意見書を出さざるを得ません。当時は2680地区でも休会を決めるクラブが相次ぎ、ほとんどのクラブが休会かリモート開催でした。ところが、鮑年度にて副幹事という立場上、リモート開催のため

にオークラに行きますと、思う以上に全員が集まってきます。そんなにクラブが好きなのかと問うと、「こんな事態を他の会員はどう対処しているのか聞きたい。へたな所で昼食を取るよりここの方が安全!」と言います。信じ合う仲間だからこそでしょう。互いの健康を祈念して散会したものです。

2021年7月スタートの森本年度の船出は嵐のなかの出航といえる状況です。それに臨み、執行部で確認しあったのは「ロータリーの目的達成のためには、例会の開催が必須である」と定款に定められていることでした。クラブの存在意義が問われているこの事態に執行部が決定したことは、会長が先頭を切って主張する「対面して食事をする例会の安全実施」という方針と、万が一のまん延の責任は我々執行部が負うということでした。もちろん出来る限りの感染防止対策を講じなくてはなりません。アクリル板、アルコール、体温計の設置はもとより、PCR検査を例会にて全員に行うことを決めた上、まん延防止宣言中にもかかわらず、対面食事例会を第一例会から実施しました。どうしても来ることができない全員のためにリモート例会も併催しながらですが、出席義務を免除していたにもかかわらず、ありがたいことに高い出席率で推移したのです。

事務局には他クラブからの問い合わせがひっきりなしです。「実例会をやっているのは神戸東さんだけです。問題ないですか？やっているならビジター参加をお願いしたい。」という声でした。自信をつけて、むつみ会合同例会、忘年家族懇親会までやってしまいました。創立例会もです。三東会も再会できました。

※PCR検査のシスメックスを口説いてくださった塚本副会長。

※医者という立場で、対面実例会推進を認めて頂いた三戸岡副会長。

※理事会審議のたび、恫喝ともいえる意見を述べてくれた植村副会長。

※それと会長！

‘95年の阪神・淡路大震災時に、ジュンク堂書店の壊れたショーウインドガラスから、以前、手塚治虫先生が描いてくださった鉄腕アトムとジャングル大帝レオの絵を切り取って自社倉庫に保管してくれていたのは、その森本ガラスの社長です。私に言わずにです。

こういう会長、副会長だからこそ、やっていけた一年と、感謝しかありません。楽しい一年でした。ありがとうございました。

ロータリーとパンデミック

道上 明

随想を書くのに、さて前の記念誌では何を書いたかと60周年記念誌を引っ張り出して（もちろんいつでも読めるところに置いておりますので比喩表現です）みたところ、入会が阪神・淡路大震災直後であったことを思い出した。当時は、神戸が社会的混乱の只中にあり、無我夢中で駆け抜けたが、それと同時に、もうこんなことは二度とないだろうとどこかで信じていた。ところが、2020年からのコロナ禍は、日本を、世界を巻き込む社会的混乱を招いており、よもやこのような混乱を再び経験するとは、と、今も驚きの日々である。

さて、改めて振り返ると、2019年12月に中国で発生した新型コロナウイルスは、翌2020年1月には国内で最初の感染者確認、あっという間に4月7日の第1回緊急事態宣言へと至った。当クラブでは、感染状況に鑑みて緊急事態宣言前から例会を休止していたが、6月頃から昼食をとらず、かつ出席をカウントしないこととして例会を再開、コロナ休会も挟みつつ、2023年12月現在、いわゆる通常の会運営に戻っている。この間、危機管理委員会委員長として、会長や幹事の皆様と協議を重ねてきた。

その対応は困難も多かったが、WEB出席という新しい参加の形が提案・実施されたり、緊急事態の対応の在り方を改めて考えるなど、これを機に新しい当クラブの在り方についての検討がなされたことで、転んでもただは起きぬ、意義ある前進もあったのではないかと思う。私自身、会員の皆様の専門家としてのご知見に深く感銘し、改めてロータリーの「奉仕」の意味、意義を再確認するとともに、自らの奉仕のため更なる自己研鑽に励むことを10年後の自分に誓った。

神戸東ロータリークラブ創立70周年記念誌発行に寄せて

中井章詞

神戸東ロータリークラブ創立70周年おめでとうございます。当クラブは、神戸クラブを親クラブに、昭和29年3月9日の創立ですが、同年4月12日国際ロータリーから加盟承認を受けましたので、毎年、4月12日を創立記念日としております。一方、私も、昭和29年7月3日の生まれで、加盟認証日からすると当クラブと同学年と言う事になります。昭和29年生まれの芸能人・有名人を思いつくまに上げると、歌手では、松任谷由実、南沙織、天童よしみ、俳優・女優では、片岡鶴太郎、ジャッキー＝チェン、檀ふみ、野球のランディ＝バース、中畑清、政治家では、元総理大臣安倍晋三、日大問題で時の人となっている林真理子、なんとカルロス＝ゴーンも同い年でした。各界で活躍している人もいれば、そうでもない人、既に鬼籍入りした人など様々ですが、それぞれに、赤ん坊から70歳までの人生を歩んで来られた様に、当クラブも私も年輪を刻んでまいりました。この間、阪神淡路大震災、コロナウイルス感染症によるパンデミック等の危機が有り、発展のエネルギーが、復興や、感染防御の為に費やされ、大きなブレーキとなりましたが、皆様のご支援により何とか乗りきる事が出来たのではないかと思います。人の一生には限りがありますが、クラブは、それが存在する限り新しい会員の入会によって、リフレッシュされ、活発な活動が可能です。これから当クラブも、人の人生と同じく幾多の山や谷を乗り越え発展していかれる事と思ひますし、また、そうあらねばならないと信じています。最後にこれからも当クラブの益々のご発展と皆様のご健勝をお祈りいたします。

ロータリークラブを楽しむために

西村公志

神戸東ロータリークラブに入会させて頂いて一年半に近づこうとしていますが、振り返ってみると実にあっという間です。私のところは子供もまだ小さいですし、会社も有難いことにヒマでありません。しかしながらまた別の世界として神戸東RCに入会させて頂きとても有難く感じています。私は入会するにあたって「RCを楽しむ」ということを心に決めていました。たった一年半程度の未熟な経験ですが、自分なりにRCを楽しむ中で感じた事を、特にこれから入会される私と同じ若手？（50代以下？）の方々とも共有したいと思ひます。

当たり前の話になってしまいますが、楽しむ為には「積極的に知る」という気持ちが先ずは必要になります。それを入口に「積極的に関わりを深める」ことによって色々な事柄やその意味を理解し、そして前よりも少しRCでの「自分の活動」を考え行動するようになり、ゆくゆくはRCでの存在意義を見出せるようになるのだと自分なりに考えています。

ここでヘリクツは置いておいて簡単に言いますと、RCを楽しむためには先ず下記の事柄は当たり前のことながら重要だと思ひます。

1. 休まず例会に出席する

2. 会員の方々とふれ合う
3. 神戸東RCの活動とふれ合う
4. 自ら「役割」を担ってみる
5. 欠席したら他RCでのメイクアップを楽しんでみる

もちろんご家族お仕事第一ですし、お忙しい身の方々ばかりですので「出来る限り」という条件は付きますが「積極性」は大切かなと思います。

私自身も偉そうに述べながら、出来ない事は出来ませんし、失敗もいっぱいです。

こんなまだまだ新米のロータリアンですが、当たり前のことをもっと当たり前出来るようになって、今よりもっと先輩達のように神戸東RCを楽しんで行きたいと思っています。

＜三東会つながり＞のご縁に感謝して

延原耕三

70周年、誠におめでとうございます。

その記念周年に入会させていただきました1年生でございます。

私はRCへの入会は二度目でございます、そのあたりをご紹介申し上げます。

一度目は、2017-18年度竹内年度の大阪東RCにサラリーマン会員として入会しました。財務担当として入社したH社の社命でしたが、2023年、同RCの元会員であった前任者が再び入社したため、退社しました。この退社にともない、社命により入会したRCも退会を考えざるを得ません。個人会員として継続することも考えましたが、神戸市灘区在住の身で、例会会場の大阪帝国ホテルまでの時間的距離を問題視したのです。

しかし、RCでの楽しいお付き合いを思いますと、忸怩たる想いに至り、『何とかならんかなあ』と、＜三東会つながり＞を思い出したのです。

かつてメイクアップには伺ったものの、存じ上げる方もおらず、困っていましたが、2023年2月7日、メイクアップとして例会を訪れ、当時の井元憲生会長、鈴木祐一幹事、小坂哲也会員増強委員長に事情と希望をお話し、ご検討を依頼しました。

すでにご相談していた大阪東RC/小高得央会長、沖中隆志幹事のご両名が、この日、ホテルオークラ神戸を公式訪問しておられ、あらためて両倶楽部の幹部の方々に事情を平和的にご理解いただいたわけです。その後、田中健三会員と山本裕計会員に推薦人をお願いすることができ、5月9日、無事、RCへの二度目の入会を果たしました。

今後は＜三東会つながり＞のご縁に感謝して、この絆を大切にしていきたいと思います。どうぞよろしく願い申し上げます。

私とロータリークラブ

大井竜介

2022年に、伝統と格式を誇る神戸東ロータリークラブの一員となる機会を得ました。私は「転勤族」であるため、仕事以外で地元の名士や企業オーナーといった知識と教養を持った方々と交流する機会は稀でした。それがロータリーライフを通じて広がりを見せ、新たな視野を開ききっかけとなりました。

ロータリーライフの始まりは、まずその雰囲気馴染むことからでした。しかし、先輩や同期のロー

タリアンからの心からのサポートやアドバイスにより、その雰囲気慣れていき、楽しいロータリーライフを過ごすことができます。

神戸東ロータリークラブは地元で活躍するさまざまな分野の方々との出会いの場であり、その知識や経験を学ぶことができる大変貴重な機会です。これからも神戸東ロータリークラブを通じて、新たな出会いや交流を楽しみにしています。

今後も積極的に神戸東ロータリークラブの例会や活動に参加し、皆様から「職業奉仕」を学んでいきたいと考えています。その経験を通じて得た知識や見識を、社会や会社、そして家庭で活かすことができればと思います。

ロータリーライフを通じて得た経験や学びは、多くの方々との出会いを大切にし、その中で得た知識や経験を社会貢献に活かすというロータリークラブの理念を体現するものです。これからも、その理念を胸に、神戸東ロータリークラブでの活動を精一杯楽しみたいと思っております

我がクラブとパンデミック

大澤 勇

2020年2月に初めてコロナウイルス報道があり、あっという間に世界中に広まりました。

神戸東RCでは、須藤年度・鮑年度・森本年度の3期が最も大きく影響を受けました。

須藤年度ではクラブ内での感染を徹底的に押さえる為に2020年3月以降6月第一例会迄の3カ月間・計14週間を完全休会としました。須藤年度では例会45回予定してましたが、34回のみ開催出来ました。阪神・淡路大震災以来の長期休会ですが、今回は相手がウイルスで未知の経験でした。

鮑年度では例会形式が若干変わり①オンライン例会⇒②一部出席+オンライン例会⇒③相当数出席+オンライン例会と段階的に調整し、休会を例年より増やし少しでも感染リスクを低減する日程にしました。然し乍ら度重なる緊急事態宣言が発令されて、毎月の理事役員会では喧々諤々の議論がなされました。

理事会メンバーに医師3名と弁護士1名（危機管理委員長）が参加しており、「我がクラブの例会開催でコロナ感染拡大を助長するような事が絶対にあってはならない」という絶対命題の元、理事会は例会開催の是非に関して毎回紛糾致しました。鮑年度では45回の例会を開催となりました。

森本年度に入っても緊急事態で第7波まで取りざたされ、正常なリアル例会が開催しにくい状態が続きました。相当数が出席+オンライン例会というハイブリッド例会が、前年度に引き続き開催されました。

森本年度では年間13回の休会数で、実際の例会数は28回となりました。

3期に渡るコロナ禍の影響も森本年度でだいぶ収まり井元年度に引き継がれることになりましたが、井元年度でリアル例会がやっと回復できたことを最後に申し添えさせていただきます。

私とロータリー

岡本浩司

私は名門の神戸東ロータリークラブに今年の6月に入会させて頂き、早くも7ヶ月が過ぎました。在籍期間7ヶ月程度の私が70周年記念誌に参加させて頂くことは大変恐縮ではございますが、光栄に思い寄稿させていただきます。ですが、まだまだ神戸東ロータリークラブを語るほどの知識も経験もなく、また社業の忙しさにかまけて例会以外の懇親会、同好会等にはあまり出席できていないのが現状

のため、多くを語ることはご容赦頂ければ幸いです。

ただそのような状況の中でも同期に入会された方が10名以上いるということは大変心強いロータリアンとしての一步でした。同期入会の先輩はロータリークラブについて、親切に詳しく教えてくださり、また例会にはほぼ出席させて頂いておりますが毎回楽しく卓話等を通じて勉強させて頂いております。現在入会間もないため家族・親睦委員会に所属しており、受付を担当させて頂いておりますが、先輩方のお顔とお名前を覚える良い機会になっていると思います。

今後は神戸東ロータリークラブの各種の同好会に参加させて頂き、そこでのより多くの先輩との交流を通じてロータリアンとしてどう生きるべきか、ロータリークラブとは、奉仕活動とは等のご指導を賜りたいと思います。神戸東ロータリークラブに在籍させて頂き、魅力あるロータリアンの諸先輩の皆様とのご縁を頂けたこと、感謝申し上げます。目下日々勉強中ではございますが、これからもどうぞ末永くお付き合いのほどよろしくお願い致します。

私の海外メイクアップ体験

乙守典厚

神戸東ロータリークラブ創立70周年を迎えた記念すべき年に、会員として寄稿できることを大変うれしく思っております。私は、1990（平成2）年に、樽本久、西宮章泰両先輩の推薦で入会させていただき、今年で在籍33年を迎えました。入会以来、さまざまな奉仕活動、勉強会、交流会に参加することで、豊かな人間関係を築くことができ、また皆様から人生を楽しむ術を教えていただいたと思っております。

数えきれないロータリーの思い出の中で、特別な経験として印象深いのは、やはり海外クラブでのメイクアップです。入会当初は渡航の機会も多く、ロータリーの3大義務の一つである「例会への出席」には大変苦勞しました。当時は例会を欠席すると、例会日の前後2週間以内にメイクアップしなければいけないルールがありました。欧州やオセアニア、アメリカへ旅行する際は2週間以上滞在することが多く困っていましたが、先輩から「乙守君、ロータリーは外国でもメイクアップ出来るよ。大きな都市には大概ロータリークラブありますよ」と教えていただきました。そこで、しっかりと下調べをしてうえで、初めて日本以外で例会に出席したのが、イタリアのミラノでした。

イタリアの例会は、日本とは違い、いつ始まっていつ終わるのかはっきりしないことに驚き、さらには皆さん最初からお酒を沢山飲まれるので、まるで宴席のようでもありました。イタリア語も分からず、とりあえず持参した我クラブのパナーを交換し、2時間半ほどでそっと退室したのを、記憶しています。

それ以降、渡航の際は、必ず英語表記名刺と共に我クラブのパナーや英文概要を荷物にしおのばせ、実際にフランス・パリ、イタリア・ローマ、アメリカ・サンディエゴ、オーストラリア・シドニー各クラブの例会に出席しました。アメリカ・ハワイ島コナのロータリークラブを訪問した際には、突然ビキニコンテストの審査員に選ばれパーティーに夫婦そろって招待されることになり、ワイフから「あんな、いい思い出しているね！」と冷やかされたものです。

ラスベガスのロータリークラブに出席した際は、現地の友人から例会訪問時にストレッチリムジンを使うように勧められ、いざ会場に着くと駐車するのに大変苦勞し、また女性会員の多さに感銘を受けました。

モナコロータリークラブでは、世界中のロータリアンがビジターで出席していて、さすがモナコは

違うと思いました。

一方アジアでは、私が国際奉仕委員長の際に、カンボジア事業の関係で赤本文生、久野薫両パストガバナーとプノンペンロータリークラブを訪問した際には、正会員が少ないのでいつもビジターの方が多いとお聞きしました。

10年後の創立80周年までには、もう一度海外でメイクアップをしたいと心から願っております。

ロータリー、その奥の細道

澤田正樹

私が、神戸東ロータリークラブに入会させていただいたのは、2008年4月1日でした。入会推薦者は辞められた久野 薫パストガバナーと三原孝公会員でした。入会する前、誘われている時、とても例会の皆出席は無理だからと入会に躊躇していましたが、久野パストガバナーに、例会皆出席義務が規則としてあるが、カバーする方法はいくつかあり何とかなるから大丈夫と言われ、あまり深く考えずに入会しました。

ただ、このクラブに何のために仕事が忙しい中、集まっているのかという点については、はっきりと言われました。ロータリークラブは単に金品を提供する奉仕団体ではなく、基本的な職業奉仕理念があり、これを追求する団体であると説明されました。そして、これが重要な点と言われました。ただ、言われても何がどうなのか解らないまま入会しました。この職業奉仕理念は哲学的な面があり、それを探求し具現化するのには難しく、クラブで歩く道は、人生哲学を求める道場、奥の細道のようなものだと指導されました。

私の職業である医業では、はるか古代ギリシャの時代に登場するヒポクラテスが提唱した「ヒポクラテスの誓い」が医師の職業倫理規範として有名であります。本ロータリークラブに入会し、この医師の職業倫理規範とロータリーの職業奉仕理念は重なる部分もありますが、そうでない部分、特に利己と利他という対立事象をいかに調和の取れたものにするか、職業上の利潤に止まらず、社会との関わり方、ひいては自らの生きかたについて考えて行こうというすごく重い課題であると知りました。これまで15年間で、結論を得たわけではありませんが、何とか答えを見つけようともがいてきた日々でした。

ロータリーとパンデミック

須藤雄二

2000年の初頭に、今世紀は感染症の世紀になると言われていると医療関係の方から伺いました。前世紀でのワクチン、治療薬、殺菌剤等の進歩により致命的な感染症の蔓延は抑えられてきたが、それを超える病原体の進化により人間の知見を超えた感染症が起こるはずとの予想でした。

新型コロナ感染症の出現でこの予想は当たった訳ですが、病原体が1900年初頭に起こったスペイン風邪と同類の変異の早い種類であったがために、3年位変異を繰返し弱毒性になり治まるだろうという予測が出来、この3年間でどうするかという先の見える課題に帰結できた訳です。

しかし、高齢と既往症者という重症化対象者が密に集まり会食するというロータリークラブ特有の課題の中で、業務ではない例会や委員会活動をどのようにするかは非常に大きな問題でした。

執行部の独断で例会開催を中止することはある意味簡単ですが、一度中止した例会をどのように再開するのか、決定を行政からの要請を待ってからにするのか先回りして判断するのか、また例会中止

中にクラブの纏まりをどのように維持していけばよいのかは非常に頭を悩ます問題です。当該年度の執行部や危機管理委員会は相当頭を悩まされたと思います。会員各位も自らの活動の自粛に努力されたでしょう。

幸いなことにコロナを罹患された会員はおられましたが、クラブ内で感染が広まることもなく、またコロナで亡くなった会員もおられなかったことは皆の努力の賜物でした。また事務局の努力により週報も継続して発行することが出来ました。

例会再開後も、オンライン例会の設定やアクリル板の設置、PCR検査や食事配膳の方法など会員やホテルを含む様々な方の協力があつたことは感謝に堪えません。人はやはり集まって群れたいという生き物だという事も再確認できましたし、群れるからお互いの免疫が鍛えられていくという事も判りました。

第一次世界大戦混乱時に起こったスペイン風邪は経済への影響も大きく、色々な複合要因はありますが結果としてより大きな第2次世界大戦へと続いていきました。今回のコロナ後も世界の不安定さが増している事に大きな不安を覚えます。

次のパンデミックが起こった時に、先例ではクラブがどのように対応したのか、どこが良くてどこが反省点なのか、この70周年記念誌が先々の会員への歴史書になれば良いと思う次第です。

— 出 会 —

田中健三

私が神戸東RCに入会させて頂いたのは昭和63年（1988年）12月6日でした。翌年一月には昭和天皇の崩御があり昭和最後の入会でした。

以来35年にわたりRCに在籍させて頂き、そしてその間連続して皆出席させて頂いています。

例会回数約1400回その他親睦会、同好会等350回計1750回の行事に参加させて頂きました。そしてその全てが有意義で楽しい集まりでした。

今考えますとあつと云う間の事でした。

私が思うにはそれが出来た大きな要素は毎回多くの仲間との楽しい出会いがあったことです。

現役会員約110名と過去に在籍された会員、転勤された方、残念ながらご逝去された方々併せて約200名以上の方との交流があった事だと考えます。

人生にとって人間関係が一番大切です。学生時代の友人とは疎遠になり、仕事関係の方々とも年齢の経過とともに付き合いが薄くなります。その中で長期間付き合う事が可能だったのがRCだと思います。この様な沢山の友人と長きに渡りお付き合い出来る貴重で幸運な機会は他には有りません。

毎回「や！」と声を掛け合うだけでも親しみを感ずますし、時には何かと話し合う事もあります。この友人としての会話が利害関係なく楽しい会話になっている事またその人間関係が社会奉仕活動にも活かされている事が素晴らしい人生を



豊かにする何にも代えがたい魅力となります。これだけ沢山の友人関係を持てることがRC以外では有りえず最大の魅力です。

私にとってRCに出会った事は人生最大の好事です。

これからもその貴重な友人関係を大切にRC活動に励みたいと思います。

わがクラブ昨日、今日、明日

塚本哲夫

「健康で明るく楽しい人生」と言うのが私のモットーです。これは私個人の信条としてだけではなく、会社にも社会全体にもロータリークラブにも言えることです。

創立70周年を迎えるということは、我RCのメンバーにとって「運と縁」です。

この運と縁を活かしてもっと健康で明るく楽しいロータリーライフにしたいものです。

私は36年前に入会しました。当時は職業分類、居住地等の入会資格や制限が厳しく、結果として私は神戸東RCへの入会となりました。そこで多くの仲間と出会い、彼等との交友と切磋琢磨の修練が私の成長になったように思います。

そして今は人生の半分近くをRCメンバーとして過ごしています。

全ては時代と共に変化しています。10年後のわがクラブはどうなっているのでしょうか。日本社会全体が成長から成熟の時代へ移っています。クラブの平均年齢も高くなっているでしょう。わがクラブが今のような奉仕団体であるかどうかです。

メンバーの増強と若返りを早急に考えねばならないでしょう。

近頃の世間の風潮は、「今だけ、金だけ、自分だけ」になりつつあります。

RCの奉仕は、今だけ、金だけ、自分だけでいいのでしょうか。

RCが求めるのは、その真逆です。今だけではなくこれからもズーッと。金だけではなくもっと深い理念を。自分だけではなく利他の心で奉仕することです。

わがクラブの70周年の時に、いみじくも地球全体に関わる大きな問題にぶつかっています。気候変動で世界中から難民や死者が多く出ています。

我社では、SDGs運動に必死です。コロナウィルスのパンデミック、ロシア・ウクライナ戦争、パレスチナ紛争等々で人類は奈落に向かっていきます。

こんな時こそRCは立ち上がれないのでしょうか。

RCは、世の為、人の為に正々堂々と立ち向かえる組織です。人類が奈落に向かわないように出来ることは何か。間違った人類の行動を正す。

我々の力はまだ小さいですが、そんなことも出来ればいいなあと思っています。

思い出のロータリー活動

植村浩史

私は、2016年6月14日に入会しました。

このクラブに入会して、色々な素晴らしい経営者の方と普通に会話できることが驚きました。と共に、自分なんか、居ていいのだろうかとも思いました。私自身は、わりとほんやり過ごしてきたもので、周りに圧倒されております。

最初の2年ほどは親睦委員会で先輩会員の顔と名前を覚え、色々な会に参加させて頂き楽しく過ご

しておりました。

思い出深いこととしては入3年目に米山奨学委員会の委員長を拝命し、カウンセラーの神田孝平会員と共に米山奨学生の邵帥くんを迎えたことです。大人しめのお人柄でしたが、とても優秀な方で東京の上場企業に就職されました。一年後にはご結婚もされ、日本で引き続き働いておられると聞いております。このような方が、後々、重要な役割を果たし日本と中国の架け橋となって、国同士の緊張の緩和につながれば、我々の活動がとても意義ある事業の証明になるのではないのでしょうか。4年目に社会奉仕委員会の委員長となりました。青陽東養護学校（現青陽灘高等支援学校）と友生支援学校の招待ボウリングは、コロナ禍となったため最高学年での開催となりましたが生徒たちの楽しく交流する姿がとても印象的で、会場となった神戸六甲ボウルが自分の会社の施設だったので、いつもと違う立場・観点でボウリング場を俯瞰でき、いい経験となりました。また、青陽東養護学校の小学校と中学校そして友生支援学校の一部の生徒が、新たに灘区の脇の浜に竣工したさくら支援学校に移ることとなり、さくらの記念植樹を地区事業として行いました。新たな校舎の校門脇に三本の桜を植え、将来、先生方や生徒、父兄の皆様の思い出に貢献できるものと信じております。この事業は中井章詞先輩のアドバイスと、教育委員会の皆様の協力でスムーズに進めることができ大変感謝しております。

直近2年は、唱歌委員長を拝命しました。全日本RC親睦合唱祭を神戸の地ですることとなり、とても忙しい日々になりました。先輩や仲間の委員、コーラス同好会、クラブ事務局、会場のポートピアホテルの皆さんと準備と練習に明け暮れました。仕事と合唱祭の準備の両立しつつ、最終的には、とてもいい合唱祭となり、コロナ禍で消えかけていた全国合唱祭の灯をともして、次回開催に繋げることができました。最初は無理だと否定的に思っておりましたが、必死にやれば周りが助けてくれ、なんとかなり、がむしゃらになることはとても大切なことだと、これは、クラブだけではなく何にでも当てはまることと、日頃の自分を反省しました。

やってきたことを徒然と書きましたが、悲しい出来事もありました。同期で入会した石原守会員、そしてコーラス同好会や食事仲間でもあった関本剛会員、同じくコーラス同好会の世話人だった榊原志朗会員、たよりがいのあった山崎仁嗣会員、元気だったロータリアンの方が急にお身体を壊されなくなってしまい驚き悲しみと共に、日々全力で生きていかないとこの方々に顔向けできないと気が引き締まります。

入会から7年半あつというまででした。これからもとても長い日々でしょうが、引き続き、頑張っていきたいと思えます。

70周年記念誌

植村孝一

情報収集、情報発信、情報の保管管理のあり方が急激に変化している今日、数年前からペーパーレス化に動いた神戸東RCは正しかったと思う。

しかし、いまだに具体化されず、ふみとどまっているのはどうしてなのか。

神戸東RCが未来へ向かって進化する組織であるなら私達のようにAIの進化についていけない年寄りに付度せず時代に即した改革をすみやかに実行して欲しいと思う。

最後に信念をもってつきすすんだ白洲次郎に似ているとおだててくれた後輩、やめたいと話した時RCは忍耐と寛容だと諫めて下さった先輩他素晴らしい方々と親しくお付き合いできた事は宝です。

創立70周年おめでとうございます

和田真一

入会当初から、例会にはできるだけ参加し、複数の同好会にも参加しています。そこでは自分なりに楽しみを見出しているつもりです。創立70周年年度の幹事という大役を務めさせていただきました。少しはロータリークラブ（以下、RC）に対する考え方は深化しているとは思のですが、RCの本質や私にとってのRCのありがたみなど、はっきりとしたものが解らないまま過ごしているというのが本音です。今回、何を書いたらよいか、なかなか思いつかずでした。忘年例会の受付で執行先生が、体調不良で急遽ご欠席と伺った瞬間、走馬灯のように頭に浮かんだことがあります。

恐れ多いことですが大先輩との一方的な思い出について。小学生のころ、かなりの肥満児で運動のためスイミングスクールに通っており、よく耳に水が溜まって痛くなることがありました。阪急六甲にあった執行先生の診療所で鼓膜切開という治療で何度か水を抜いてもらいました。子供の私にとってそこは恐怖以外のなにものでもない場所で、一番苦痛な時間でありました。当時の小学生といえど冬でも半ズボンいわゆる短パンであることが多かったと思います。鼻に管を入れられる直前、痛みに対する恐怖に耐え難く泣いて抵抗すると、先生が、短パンから出た私の太ももにパチンと平手打ちをされ、治療中も痛いので「痛い」と泣き叫ぶと、「うるさい。だまれ」と一喝され、なんとか終わって生き延びたと泣いていると、また太ももにパチンとされ、最終的には「よー肥えてるなあ」と大きな声で笑いながら仰られ、私は看護婦さんにやさしくされて帰るという繰り返しでした。泣かずに我慢できた時も同様の大きな声で、「よー頑張った」と笑顔で仰られました。すごうれしかったとかほっとした記憶があります。10年ぐらい、受診にうかがいましたが、先生はもうおらずご親族の方に代替わりされていたので、さすがにもう引退されておられ、お歳だろうし、二度とお会いすることはいだろうと思っていました。RCに入会して受付をしていると、出席簿に遠い記憶にある見慣れたお名前があり、まさかと思っていると執行先生ご本人が元気におられて本当に驚きました。そして私が幹事の本年、100歳になられるということ。世の中の不思議さを感じずにはいられません。

仕事に関すること、メリットのあることだけを合理的に第一優先とすると、豊かな人生を送れているといえるのか。人生の楽しみや意義は自分で作っていかなければ、見つからないと思い始めています。人生の後半となる50歳になってから、なんでもやっておこうと、マラソンやら六甲山全山縦走やらにチャレンジしました。

とりとめもなくなりましたが、先輩方がこのクラブで築いてきた奉仕と友情、クラブとしての実績・名声などを大事にして、活動してまいります・・・と思っている本年です。

我が人生とロータリー

山本康一郎

神戸東RCが70周年を迎える年度に私も古希を迎えることが出来ました。10年前の記念誌への寄稿では『六十にして耳順う』とし、『七十にして心の欲するところに従えども、矩（のり）を踰（こ）えず。』と感じられる人生を送れるようにと記しました。

さてさて、70歳になり「自分の思うままに行動しても、人の道を踏み外すことがなくなりました。」と自分に問うと疑問符がつきます。まだまだ皆様にご指導をいただく毎日であり、『惑い』続ける日々を過ごしております。

さて、私は本年度ロータリー情報委員長を拝命し、歴代委員長のお名前を見るとロータリーに対す

る見識、また、神戸東RCをこよなく愛する先輩諸兄ばかりでした。特に、故鎌田哲夫会員とは縁深く、私が30歳代なかばの頃から公私にわたり親しくさせて頂き、尊敬しておりました。ロータリーでも自分が持つ知識、経験を皆に伝えることに熱心であり、例会での卓話も法律家として、また、ふるさと弘前の事、趣味のけん玉収集、フクロウ収集など楽しい話題を提供されました。そして、同好会等の世話も熱心にされ、「イケメン料理アカデミー」、「縄文と現代を語る会」など趣味を超える研究を通して個人奉仕の在り方も学ばせて頂きました。

そして、本年度の委員長の任務として、70周年記念誌に向けてのロータリー情報委員会『60周年以降の各委員会の活動』のとりまとめがあります。これもご縁と思い2013～2014年度ロータリー情報委員長鎌田哲夫氏のまとめ方を参考にさせて頂きました。改めて故人のご冥福をお祈りいたします。

合掌

70周年と脳腫瘍

吉田 博

私は現在副会長であるにも係わらず病気の為いろいろと皆様にご迷惑をお掛けして誠に申し訳ございません。この会員随想の中でその事実を書き記しておきたいと思えます。私は令和5年9月20日三宮の日本料理店の石畳の処で転倒し左顔面を強打して、神鋼記念病院に救急搬送された際に念の為にCT検査をしてもらいました処、翌日、再検査の要請がありMRIの検査等をした結果、脳腫瘍（4.2cm×2.4cm）が見つかったと診断されました。その後、種々の検査の後、手術をしなければならないことになり、12月5日に神鋼記念病院脳外に入院し、7日午前9時～午後9時まで約12時間の大手術を受けました。右耳の上から額の真ん中あたりまで約20cmを切って、腫瘍の組織の一部を取り出し、病理検査に付し、良性であると診断が出ました。悪性であると治療に長時間を要し、入院期間も長期に亘るそうです。手術と検査の結果良性であったことは有難いことでしたが、手術で全ての腫瘍組織を取り出せた訳ではありません。12月20日に退院をしました。治療方針では今後放射線治療を中心にする事になり、具体的には、放射線治療の一つであるガンマーナイフ治療を「新須磨病院」にて受けることになるそうです。新須磨病院は自宅の近くにありますが、この病院はガンマーナイフ治療では神戸で評価が高いそうです。主治医によれば、腫瘍が全て消滅するのに約1年かかるとのこと。その間体力さえ戻れば、ゴルフOK、飲酒OKとの主治医の説明がありました。

私は70周年記念事業実行委員会の記念誌部会を担当させて頂いておりますので、最低限記念誌に掲載予定の「70周年とパンデミック」をテーマにしたコロナ禍の4年間の元会長元幹事の座談会を成功させたいと祈念しておりました。現在関係者の前向きなご協力をいただき前に進んでおりますことは嬉しい限りです。この座談会は令和5年11月28日に開催致しました。その内容を一言でまとめれば、私は「私たちのクラブは、元会長元幹事を中心にコロナ禍に打ち勝った。」という感想を持ちました。詳細は座談会をお読みいただきたい。

ロータリーの思い出

吉田建美

阪神・淡路大震災の翌年（1996）に入会させて頂いて以来、27年が経ちますが、その間、様々な役職を経験させて頂き、ロータリー学を勉強させて頂きました。ロータリーの基本理念で最も特徴的とも言える「職業奉仕」の精神をベースに意識しながら、楽しく有意義な日々を過ごしてこれたことに感謝しています。

振り返れば実に様々な思い出が沢山ありますが、その中の一つに野田会長年度（2008）のプリズベンRCとの姉妹提携が挙げられます。東クラブ会員と共に大挙してオーストラリアゴールドコースト経由でプリズベンに入りましたが地元の会員との提携セレモニー・交流がとても和やかに行われたことが強く印象に残っています。また、滞在中に仲間と熱気球に乗って、そこで見下ろした地上・海上の広大な風景は何故か、ロータリーの世界が広がるように感じられ、今でも心に鮮明に残っています。さらに、東クラブの会員が当時、所有されていたゴルフ場でのラウンド、そして、その後の豪華な親睦会はクラブ仲間との絆を深め、新たな挑戦に満ちた時を共有する素晴らしい経験でした。

ここ3年ほどはコロナ禍という想定外の場面に遭遇して会員間の交流が制約され、例会はズームを活用して続きましたが、やはり顔を合わせての対面でのコミュニケーションが大切であることを痛感した次第です。

これからもロータリーの理念を胸に奉仕活動を続けて行きたいと思います。

思い出のロータリー活動

吉田正人

以前私は、複数の地区委員を務めさせて頂き、中でもRYLA（ライラ）委員会の活動が印象に残っています。毎年行われるRYLAセミナーは、余島という無人島で受講生とカウンセラーが4日間寝食を共にし、或るテーマについて時には夜を徹して議論する。これがこのセミナーの最大の特長です。ここ余島に施設を開設された故・今井鎮雄氏は元RIの理事で、氏による真っ暗な中で行われるカウンセルファイアーでの語りに凄いオーラを感じたことを覚えています。氏は当時既に90歳を超えておられたが、立ちっぱなしで2時間の講演もされました。このセミナーでは多くのパストガバナーが参加され、裏方的なことも一緒に行いました。イベントで使う松ぼっくりを探すのに「こっちに沢山あるぞ」等と声を掛けながら歩き回り、雲の上の存在だと思っていた方々が身近に感じられたことが思い出されます。又、学友会主催のセミナー（1泊2日）では、当時NHKにも出演した新進気鋭のコミュニティーデザイナー山崎亮氏を講師に招き、学友生と一緒にグループ討論を行ったのも楽しい思い出です。ただ、地区の活動で疑問を感じる点もあり、異端児の私は無謀にも苦言を呈したことがありました。今でも苦言を発していますが（笑）。ライラに限らず、地区委員になると他クラブの会員との交流が出来る他クラブのことも分かるので、当クラブの会員にはぜひお勧めしたいと思います。尚、ラウンドテーブル会等を活用して、地区委員が活動状況を発信し、クラブ内で情報共有できれば良いかと、個人的には思っています。



第 4 部

資料編(5年間)

悉皆会員名簿

☆印は在籍中物故者

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
1	青木 実	C	S30. 5. 1
1	荒勝 文策	C	S45.12.31
1	八馬 進武	C	H 6. 9.20☆
1	平佐 三郎	C	S41. 9. 6
1	井波 鍊四郎	C	S49. 6.18☆
1	伊藤 伝三	C	S56. 6.23☆
1	海輪 利光	C	H 6.12.27
1	樫山 覚	C	S48. 9. 4☆
1	小網 与八郎	C	H 9.12.16☆
1	小泉 尚助	C	S47.12.30
1	楠瀬 正一	C	S35. 2. 3☆
1	宮原 勲	C	S54. 7.17☆
1	森本 正好	C	S42. 6.27
1	村尾 市松	C	S32. 3.19
1	中本 薫男	C	S32. 3.19
1	南里 敬吾	C	S34. 2.24
1	那須 重治	C	S32. 9.30
1	大羽 真治	C	S29.10.15
1	小野 正夫	C	S53. 4.11☆
1	劉 四朗	C	S40.12.14☆
1	坂口 遼	C	S42. 6.27
1	瀬戸 文雄	C	S31.12.13☆
1	高梨 義郎	C	S48. 5.30
1	高尾 徹也	C	S40. 5. 4
1	高嶋 平介	C	H18. 2.28☆
1	高山 忠雄	C	S55. 7. 8☆
1	田村 孝之介	C	S37.10.30
1	丹沢 三郎	C	S61.12.16
1	矢木 豊	C	S31. 5. 6
1	山本 鍊造	C	H7. 6.13☆
1	山邑 鎌三	C	S37. 4.24
1	安福 武之助	C	H10. 1.20☆
1	四方 田耕三	C	S35. 6.27
34	福田 三八一	S29. 7.20	S52. 2.22
35	菱田 譲一	S29. 7.20	S51. 6. 1
36	末 正久	S29. 7.20	H16.3.21☆

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
37	川島 宗敏	S29. 9. 7	H10. 7.28☆
38	大塚 和三郎	S29. 9. 1	S61. 6.24☆
39	西村 泰治	S30. 1. 4	S63. 9. 6☆
40	小原 豊雲	S30. 1.11	H 7. 3.28☆
41	森本 権一	S30. 2.15	S48.12.25
42	光田 顕司	S30. 5.17	S38. 6.11☆
43	池田 正文	S30. 7.26	S52. 5.17☆
44	松野 良助	S30. 7.26	S36. 1.23
45	武本 清一	S30. 8.23	S39. 6.16
46	保田 道雄	S30. 8.23	S32. 5.17
47	坂下 保太	S31. 1.24	H 4. 7.28☆
48	佐藤 半	S31. 5. 1	S34. 6.30
49	地主 大吾	S31. 7. 7	S33. 6.10
50	田中 義忠	S31.11.20	S52. 6.30
51	若山 薫	S32. 1. 8	S32. 9.18
52	山本 弘之	S32. 1.22	S34. 2.13
53	金子 太郎	S32. 4.30	H15. 6.10☆
54	志方 栄治	S32. 4.30	S49.11.24
55	吉永 武男	S32. 7. 2	S35. 6.29
56	岸川 康蔵	S32. 8.27	S41. 5.24☆
57	西村 雅貫	S32. 9.17	S38.12.17☆
58	杉山 万吉	S32.10.29	S39. 6.30
59	西尾 次郎	S33. 5. 6	S47. 6.27
60	槌田 喜代松	S33. 5.20	S54. 3. 6☆
61	田中 俊介	S33. 7. 8	S43. 1.16☆
62	清水 金次郎	S33. 8.12	S35. 6.13
63	河野 弘	S33.12. 2	S35. 4.20
64	後藤 美種	S34. 2.24	S46.12.28
65	波多野 一雄	S34. 3.31	S35.11. 1
66	角南 猛夫	S34. 7. 7	S63. 8.16☆
67	若菜 三良	S34. 8.25	S37. 4.17
68	吉国 宗一	S34. 9.29	S37.10.30
69	松村 信治郎	S34.12. 1	S50. 5.11
70	小山 清	S35. 6.21	S38.12.10
71	木村 伊太郎	S35. 7.12	S36. 6.13
72	塗師 正男	S35. 7.12	S39. 4.14

☆印は在籍中物故者

番 号	氏 名	入会日	退会日
73	島 村 宏	S35. 7.19	H 7.12.31
74	西 田 繁 太	S35.10. 4	S44. 1.31☆
75	島 田 博	S35.10. 4	S36. 6.13
76	中 村 盛 太 郎	S36. 1.10	S37. 5.15
77	近 沢 進	S36. 3. 7	H19.12.31
78	福 田 敬 太 郎	S36. 4. 4	S55. 1.22☆
79	朝 長 正 軌	S36. 6.27	S37. 6.30
80	西 原 克 巳 夫	S36.12.19	S61.10. 7
81	佐 藤 啓 一	S36.12.19	S62. 7.28
82	南 史 郎	S37. 2.20	H5.6.29☆
83	有 沢 武	S37. 4. 3	H20.12.31
84	原 英 三	S37. 5. 1	H 4. 7.28
85	嘉 納 照 彦	S37. 5.29	S38. 6.25
86	香 川 正 一	S37. 7. 4	S41. 6.28
87	村 田 定 由	S37. 7.31	S61.12.30
88	中 村 修	S37. 7.31	S40. 6. 8
89	佐 伯 章	S37.10.23	S42.12.26
90	風 間 保 彦	S37.11.20	H 6.12.27
91	松 野 満 寿 巳	S37.12.11	S59.10.16☆
92	小 谷 信 市	S38. 3. 5	S42. 6.29
93	樫 本 彰 三	S38. 3.26	S48. 4.10
94	沢 義 男	S38. 3.26	S42. 5. 9
95	井上文左衛門	S38. 4. 9	S51. 6.29
96	田 淵 純 一	S38. 5.21	S45. 1.27☆
97	桑 垣 敬 介	S38. 6.11	S39. 9. 8
98	山 本 栄 喜	S38. 6.11	S51. 6.29
99	久 野 一 郎	S38. 6.18	S63. 6. 7☆
100	芦 田 杏 三	S38. 7.30	S40.10.26
101	山 本 信 夫	S38. 8.20	S40. 5.25
102	高 田 英 之 輔	S38.10.15	H1.11.21☆
103	桧 前 敏 彦	S38.12.24	S44. 6.30
104	次 家 幸 徳	S39. 1. 7	H 1. 2. 7
105	井 上 義 数	S39. 3.24	S40. 5.26
106	豊 沢 誠	S39. 3.24	S48. 6.26
107	松 本 一 郎	S39. 4. 7	S52. 3.29
108	花 井 嘉 夫	S39. 4.28	H 6.12.13

番 号	氏 名	入会日	退会日
109	近 藤 禎	S39. 5.12	S40. 6.29
110	柚 木 馨	S39. 5.12	S40.11.30☆
111	仲 野 貞 男	S39. 5.26	H11.12.28
112	今 糸 辰 男	S39. 7.28	S42. 6.27
113	中 島 福 三 郎	S39. 9.15	H 9. 9. 2
114	小 泉 進 吉	S40. 1.12	H19. 1.31
115	林 屋 清 次 郎	S40. 2. 9	S43. 6.11
116	広 津 四 郎	S40. 3.30	S41. 4.26
117	大 谷 茂 雄	S40. 6. 8	S45. 6.30
118	田 辺 繁	S40. 8. 3	H13.10.15☆
119	村 田 数 雄	S40. 8.24	H 6. 8. 2
120	太 原 震 也	S40. 8.31	H22. 6.29
121	高 井 祥 一	S40. 8.31	S41.10. 4
122	森 正 男	S40. 9.21	S62. 5.19☆
123	田 島 保	S40.10.19	S43. 5.14
124	保 科 一 雄	S40.11.16	S43. 4.21
125	大 内 山 清	S41. 3. 8	S43.11.19
126	林 同 春	S41. 3. 8	H21.11.19☆
127	江 藤 礼	S41. 4. 5	S58. 3. 1☆
128	八 木 弘	S41. 4. 5	S45. 6.30
129	助 野 義 一	S41. 9.20	S44. 9. 9
130	中 村 栄 二	S41. 9.27	S42. 6.27
131	奥 野 久 之	S41.10. 4	S62. 9. 8
132	藤 田 久 司	S41.11.15	H13.11.27
133	W.L.ヒンチマン	S41.12. 6	S52. 6. 2
134	石 田 兵 三 郎	S42. 1.17	S45. 1.27
135	法 林 一 磨	S42. 2. 7	S42.10.30
136	桜 井 重 雄	S42. 2.14	S53. 8.31
137	妹 尾 親 尚	S42. 8. 1	S44.12.30
138	川 辺 俊 夫	S42. 8. 8	S43. 5. 7
139	山 本 貞 夫	S42. 8.22	S43.12.24
140	荒 井 弘	S42. 9.19	S43.10.29
141	宇 賀 康	S42. 9.19	S51.12.28
142	吉 田 哲 夫	S42. 9.19	S54. 6.26
143	赤 木 文 生	S42.12. 5	R 3. 6.30
144	中 所 佑	S43. 6.11	S47. 6.27

70年間の会員の動き 悉皆会員名簿

☆印は在籍中物故者

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
145	井上 巖	S43. 6.29	S45. 9.30
146	間島 秀雄	S43. 6.29	S48. 6.26
147	谷 正男	S43. 9.10	S44. 8.21☆
148	江森 雄二	S43. 9.10	S45. 8.31
149	東条 伸平	S43. 9.17	S45. 6.30
150	国府 肇	S43.10. 1	S63.12.27
151	嘉納 忠夫	S43.10.15	H30. 9. 6☆
152	F・クールマン	S43.12.24	S58. 5.31
153	和井田統一郎	S43.12.24	S47. 2.29
154	佐藤 周作	S44. 1.21	S46. 6.29
155	阪部 俊作	S44. 1.21	S47. 4. 4
156	日下 讓	S44. 4. 1	H21. 6.30
157	小林 令三郎	S44. 4. 1	S48.12.11
158	市川 衛	S44. 5. 6	S45. 6.30
159	吉田 信	S44. 7. 1	S45. 2.17
160	寺田 幸二	S44. 7.23	S46.10. 5
161	新谷 寿	S44. 8.19	S45.12.31
162	本間源一郎	S44. 8.26	H5. 6.29
163	広海 隆三	S44.10. 7	S53. 6.30
164	佐野 義之	S44.12. 1	S46. 6.29
165	木下 健	S45. 1. 6	
166	小倉 宗夫	S45. 1. 6	
167	樽本 久	S45. 1. 6	H28.11.29☆
168	奥本 繁男	S45. 1.13	S47. 5.30
169	林 喜一	S45. 4. 7	S45. 9. 8
170	櫻本 正志	S45. 5.12	H19. 6.30
171	井上 吉良	S45. 6. 2	S47. 1.25
172	執行 英毅	S45. 7. 7	
173	太田 正也	S45. 7. 7	S49.11.15
174	C.L.キルパラーニ	S45. 8.25	S52. 4.12
175	島田 文六	S45.10.13	S60.12.31
176	木沢 正次郎	S45.12. 1	S54. 6.26
177	山野 速男	S45.12. 8	S47. 5. 9
178	丸谷 鉄雄	S45.12.22	S54. 3.27
179	関 清	S46. 1.26	S46. 8.24
180	三好 秀雄	S46. 2.23	H13. 1.23☆

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
181	佐藤 光弥	S46. 3. 9	S49. 9.24
182	角田 嘉宏	S46. 5.18	
183	坂根 重治	S46. 6.29	S52. 6.30
184	北野 薫	S46. 9.28	S47. 1.18
185	富田 三郎	S46. 9.28	S47. 5.30
186	野口 欣弥	S46.11. 9	S50. 3. 4
187	井田 公作	S46.12.22	S48. 3. 6
188	熊田 忠夫	S47. 5. 9	S61. 6.24
189	鍛治 豊治	S47. 5.30	S49. 7. 9
190	福本 太四郎	S47. 6. 6	S61. 9.30
191	日高 礼四郎	S47. 6.20	S48. 4.30
192	塚元 博	S47. 7. 4	S49. 6.25
193	細見 忠雄	S47. 7.25	H4.10.13☆
194	吉田 忠正	S47. 8.15	S50. 5.13
195	南 宏芳	S47. 8.15	S48.12.25
196	松下 親次	S47. 8.22	S51. 4.27
197	兼田 金二	S47. 9.19	S51. 6.29
198	柴田 英朗	S47.10. 3	H25. 6.30
199	三宅 敏意	S47.12.19	S51. 8. 3
200	立住 角治	S48. 1. 9	S51. 1.27
201	平出 典	S48. 1.30	S53. 6. 6
202	梶 江正	S48. 3.20	S49. 2.26
203	畑崎 広敏	S48. 3.20	S54. 6.26
204	高井 立	S48. 4.10	H 2. 1.16☆
205	奥 秀雄	S48. 4.10	H 7. 6.27
206	市野 一磨	S48. 4.17	S51. 4.27☆
207	野沢 太一郎	S48. 4.17	H11. 7. 1
208	萩本 喜久夫	S48. 5. 8	S54. 6.26
209	林 宥治	S48. 6. 5	S56.12.22☆
210	舟引 照夫	S48. 6.19	S49.10. 8
211	宮内 宏之	S48. 6.26	S49. 6.25
212	金尾 寛	S48. 7.24	S51. 8. 3
213	松下 義治	S48.10.16	H10. 6.30
214	小柳 宏平	S49. 6.18	S50. 4. 1
215	小泉 健二	S49. 6.25	H 2. 2.13☆
216	前田 鑑二	S49. 7. 9	S51. 6. 8

☆印は在籍中物故者

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
217	藤川 昭也	S49. 9. 3	S52. 5.10
218	小野寺慶郎	S49. 9. 3	S51. 7.20
219	末積 実	S50. 1. 7	S63.11.19
220	広瀬 信衛	S50. 1.28	S53. 8.31
221	三輪 吉郎	S50. 1.28	H22. 6.29
222	岡部 誠一	S50. 1.28	S52. 2.22
223	鈴木 紹男	S50. 1.28	S52. 6.30
224	渋井 英男	S50. 2. 4	S51.11.16
225	嘉納 孔	S50. 2.25	S52.6 .30
226	佐名木真司	S50. 5.13	S51. 8. 3
227	大島 茂郎	S50. 9. 1	S57. 9.30
228	光葉 貞男	S51. 1.13	H28. 2.16☆
229	樋口 芳正	S51. 3. 9	S57.12.28
230	小松幸次郎	S51. 5.18	S53. 6.30
231	杉本 秀夫	S51. 7.27	S54. 6. 5
232	川端 俊男	S51. 9.28	S53. 2. 7
233	斉藤 年正	S51.10.19	S57. 4.27
234	飯田 存	S51.10.19	H 7.11.24☆
235	井上清七郎	S51.11.30	S58.3.1
236	殿山 進	S51.11.30	S55.9.30
237	西川 広	S51.12.14	S52.6.30
238	佐藤巳代治	S52. 1.18	S54.6.26
239	堀田 正之	S52. 2. 8	S61.6.26
240	阿部 清治	S52. 3.15	H5.6.29
241	長山 和夫	S52. 3.22	S54.2.27
242	花岡 信平	S52. 3.29	S52.5.10
243	伊藤 武典	S52. 3.29	S55.6.24
244	櫛田 孝一	S52. 4.19	S55.5.27
245	津崎 正郎	S52. 5.31	S57.3.9
246	福田満州雄	S52. 7.19	S59.5.22
247	巽 保彦	S52. 7.19	S54.6.26
248	山口 幸治	S52. 7.26	S53.6.30
249	土居 通秋	S52. 9.27	S62.6.30
250	高橋 孝吉	S52. 9.27	S62.1.27☆
251	宮崎勢四郎	S53. 1.10	H22.6.22
252	西村 太一	S53. 2. 7	

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
253	柳 沼 久雄	S53. 5. 9	S54. 7.31
254	鈴木 啓二	S53. 8. 1	S54. 7.31
255	増田 光夫	S53. 9.19	H24. 6.30
256	田中 敏夫	S53.10. 3	S53.11.28
257	鈴木 重孝	S53.10. 3	S58. 3. 1
258	伊藤 通	S53.10. 3	S55. 4. 1
259	伊藤 修二	S54. 2.13	S55. 1.29
260	薄木 正敏	S54. 4. 3	H23.12.31
261	三原 孝公	S54. 6.12	
262	木下 章夫	S54. 7. 3	H23.12.31
263	新宮 千早	S54. 7.24	H23.12.31
264	渡辺 重郎	S54. 8. 7	S56. 1.27
265	鈴木 達哉	S54. 8.14	S55. 5.27
266	横瀬 恭平	S54. 9.11	S59.12.25
267	守屋 祐作	S54. 9.18	S56.10. 6
268	野田 昭夫	S54.10.23	H 6. 9.27
269	勝見 周吉	S54.11. 6	S57. 6.30
270	松本 大麓	S54.11.13	S57. 1.26
271	野村 節弥	S55. 5. 6	S55. 7.29
272	森川 龍	S55. 7.22	S57. 4.30
273	和田 淑弘	S55. 8. 5	S57.12.28
274	渡辺 干城	S55.11.11	H 7. 3.28
275	戎 良男	S55.12. 9	H 6.12.27
276	斉藤 盛勝	S55.12.17	S57. 6.30
277	筆谷 稔	S55.12.23	S57. 5.18☆
278	青山 忠東	S56. 4.28	S57. 8.24
279	西宮 章泰	S56. 8. 4	H 8.12.31
280	小笠原彰佑	S56. 8.11	S62. 6.30
281	山野 真	S56. 9. 1	R 5.12.31
282	南豊 太郎	S56. 9. 1	H 5.12.31
283	石原 元博	S56.10. 6	S58. 6.30
284	大牟田育宏	S56.10. 6	H12. 6.30
285	藤谷 正	S57. 1.12	S57. 8.24
286	寺崎 繁幸	S57. 3. 2	H12. 6.30
287	伊藤 豊輝	S57. 4. 6	S60. 9.30
288	松尾 彰	S57. 5.25	S59. 5. 1

70年間の会員の動き 悉皆会員名簿

☆印は在籍中物故者

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
289	広瀬 仁市	S57. 7.13	S59. 6.26
290	黒田 久寅	S57. 7.13	H 2. 3.31
291	鈴木 満	S57. 7.13	S58. 6.30
292	岩田 裕	S59. 9. 7	H20. 6.30
293	安楽城 幸雄	S57.11.16	S60. 6.25
294	岡田 三郎	S58. 5.17	S63. 9.27
295	池上 吉蔵	S58. 6. 7	H 9. 3.11
296	加藤 昇治	S58. 6. 7	H28. 3.15☆
297	光井 章	S58. 6. 7	H10. 6.30
298	瀬戸 山毅	S58. 6.14	S59. 6.26
299	山本 宏	S58. 6.28	S59. 3.27
300	小西 眞一	S58. 7. 5	S60. 6.25
301	小野田 隆	S58. 7. 5	S59. 6.26
302	田島 博	S58. 7. 5	H 4.12.31
303	高見 寛康	S58. 7.26	S60.12.17
304	小泉 康夫	S58. 8. 2	H 6. 6.30
305	酒井 守也	S58.10. 4	S60. 5.14
306	松林 弘	S58.10.25	H 8. 7. 4
307	芹沢 礎男	S58.10.25	H 7. 6. 6
308	眞鍋 圭作	S58.11. 1	S61. 4. 8
309	友藤 順義	S58.11. 8	H14. 6.30
310	近東 宏典	S58.11. 8	S61. 5.27
311	戸山 晶夫	S58.12. 6	R 1.12.31
312	田端 基宏	S58.12. 6	H13.12.18
313	森川 正興	S58.12.27	H15. 4.30
314	鶴見 正一	S59. 3. 6	S61. 4.15
315	西前 力	S59. 4. 3	S61. 7. 8
316	武藤 雍也	S59. 6. 5	H13. 6.30
317	月岡 清市	S59. 6.12	H18.12.31
318	林 正典	S59. 6.26	S60. 8.12☆
319	山本 一郎	S59. 6.26	H 3. 3.12☆
320	高田 平八郎	S59. 7.31	S60. 9.30
321	森川 長	S59. 7.31	S61. 4.15
322	向井 章	S59. 8. 7	S61. 4.22
323	高嶋 良平	S59. 8. 7	
324	F・クールマン	再S59.10. 2	S62. 6.30

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
325	宮崎 文雄	S59.10. 2	S61. 4.15
326	鈴木 喬久	S59.12.11	S60.10. 1
327	高橋 惠俊	S59.12.11	H30.12.31
328	澤田 善吾	S59.12.18	H13.10.30
329	向井 菊美	S60. 2. 5	R 5.12.31
330	片山 開	S60. 2. 5	H10. 3. 2
331	佐々木宗一郎	S60. 4. 2	H 4.12.31
332	廣垣 良奉	S60. 4. 2	H 4. 2.25
333	岡川 伸夫	S60. 4. 2	H15. 6.19
334	長岡 三郎	S60. 6.11	S63. 3.29
335	坂田 雅夫	S60. 6.18	S61. 1.21
336	長川 太郎	S60. 6.18	H 1. 5.30
337	小山 太一	S60. 6.18	H11. 6.30
338	柏井 博之	S60. 8. 6	H19. 2.14☆
339	小沢 孝之	S60. 9. 3	S61.12.21
340	沓脱 安宏	S60. 9. 3	H14.10.29
341	石川 善万	S60. 9.24	S61.11.25
342	阪口 正浩	S60.11.19	H21. 6.30
343	村田 由夫	S60.11.26	H24. 6. 5
344	渡辺 浩康	S60.12.10	S61.12.30
345	鈴木 利憲	S61. 2. 4	S63. 4.19
346	羽生 良彦	S61. 4.12	S62. 5.26
347	今井 拓雄	S61. 6.17	
348	宗像 俊衛	S61. 7. 8	S62. 2.17
349	友枝 重俊	S61. 7. 8	H14. 7.23
350	上嶋 義夫	S61. 7. 8	H10.12.31
351	三宅 尉雄	S61. 7.22	H 1. 5.30
352	尾上 憲明	S61. 7.22	S63. 6.14
353	川島 宗治	S61. 7.22	R 3.12.31
354	直木 純	S61. 8.12	H 4. 3.27
355	堀田 幹雄	S61. 9. 2	S63. 7.12
356	浅井 満蔵	S61.10. 4	S63. 3.29
357	雀部 虎四郎	S61.10.11	H21. 6.30
358	塚本 哲夫	S62. 1.13	
359	大井 哲雄	S62. 2. 3	S63. 1.26
360	坂川 明邦	S62. 2.10	H 1. 3.14

☆印は在籍中物故者

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
361	田村 守	S62. 3.31	S63. 4. 5
362	西原興一郎	S62. 4. 7	
363	植村孝一	S62. 4.21	
364	横瀬恭平	再S62. 8. 4	H17.12.31
365	平尾友保	S62. 9.22	H 1. 5.30
366	加藤武	S63. 3. 8	S63. 6.21
367	川上喜久	S63. 3. 8	H 1. 5.30
368	浅埜正吾	S63. 3.15	H 2. 1.30
369	古賀陸道	S63. 6. 7	H 3. 3.19
370	中村輝雄	S63. 6. 7	H 4. 3.31
371	千田晴通	S63. 6. 7	H 2. 4. 3
372	近東宏典	再S63. 8.30	H 9. 7. 1
373	石井清已	S63. 8.30	H 2. 6.12
374	有沢忠雄	S63. 9. 6	R 3. 1.31
375	松下衛	S63. 9. 6	H 6. 4. 5
376	渡辺邦彦	S63. 9. 6	H 2. 6.12
377	実田安男	S63. 9.13	H 2. 4.24
378	高野修臣	S63.12. 6	H17. 3.29
379	久野薰	S63.12. 6	R 3. 6.30
380	額田健靖	S63.12. 6	H12. 5.31
381	鈴木俊明	S63.12. 6	H 4. 1.28
382	田中健三	S63.12. 6	
383	佐々木満男	H 1. 6.13	H 5. 3. 9
384	須藤雄二	H 1. 6.13	
385	梅村章介	H 1. 6.13	H12. 5. 2
386	横山幹夫	H 1. 6.13	H13.10.30
387	木村三朗	H 1. 9. 5	H 5. 4.30
388	木村正人	H 1. 9. 5	H 9. 3.11
389	太原晃一	H 1. 9.19	R 3. 6.30
390	芦田節雄	H 1.10. 3	H 2. 6.12
391	一條久一	H 1.10.17	H 4. 3.25
392	岡本友二	H 1.12.19	H 5. 7.27
393	小西紀博	H 2. 1.30	H 4.10.27
394	乙守典厚	H 2. 2. 6	
395	永井源一	H 2. 5.22	H10. 6.23
396	西邑省三	H 2. 5.22	H 4. 3.31

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
397	宮代昌明	H 2. 7.10	H7 .12.31
398	中村剛康	H 2. 7.10	H 4.10. 6
399	高木工	H 2. 7.10	H 5. 3.16
400	石橋恒生	H 2. 9.18	
401	浅羽宏	H 2. 9.25	H 5. 3.30
402	原勝彌	H 2.10. 2	H 4. 5.26
403	大西秀一	H 2.10.16	H 4. 5.26
404	永倉直敬	H 2.11.20	H 9. 4. 1
405	熊野幸一	H 2.12.18	H10.12.29☆
406	槌橋淳秀	H 3. 2.12	H17.11.15☆
407	工藤恭孝	H 3. 5. 7	
408	的場大和	H 3. 6.25	H10. 6.23
409	吉野勉	H 3. 6.25	H 5. 3. 9
410	本村武利	H 3. 7.16	H 5. 2.16
411	林五和夫	H 3. 9. 3	H 8. 7. 4
412	王柏林	H 3.10. 1	H11. 9. 7
413	大塚恵一郎	H 4. 4.14	H 9. 3. 4
414	菊地由紘	H 4. 6. 2	H10. 6.30
415	中口雅明	H 4. 6. 9	H12. 5. 2
416	小野雅道	H 4. 6.30	H 6.10. 4
417	藤田紀雄	H 4. 6.30	H 6. 5.17
418	伴繁太	H 4. 6.30	H 6. 3.29
419	内垣洋平	H 4. 8. 4	H 5. 9.28
420	瀬戸口雅夫	H 4. 8.18	H 6. 7.24
421	遠藤勝嘉	H 4. 8.18	H 8. 2.29
422	上木邦夫	H 4. 9. 1	H 6. 5.10
423	澤井善平	H 4.10.27	H 5. 7.27
424	上村伸幸	H 4.11.24	R 4.11.30
425	大辻正明	H 4.12.25	H27. 6.30
426	西方龍象	H 4.12.25	H 8. 3.12
427	小松原明	H 5. 2. 9	H 6.10. 4
428	下村福蔵	H 5. 2. 9	H 6.10.25
429	為末紘司	H 5. 6. 8	H 9. 3. 4
430	野村康治	H 5. 6. 8	H 8. 7. 4
431	川崎誠一	H 5. 6.22	H 5. 9.28
432	鎌田哲夫	H 5. 6.22	R 2. 6.30

70年間の会員の動き 悉皆会員名簿

☆印は在籍中物故者

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
433	田中恒雄	H 5. 6.22	H 9. 4. 1
434	芝田実	H 5. 6.29	H 6. 6.30
435	吉岡哲	H 5. 9.21	H 8. 3.26
436	寺前雅央	H 5. 9.21	H14. 6.30
437	米山弘之	H 5.11. 9	H 7. 3.28
438	原邦彦	H 6. 3. 1	H10. 3. 3
439	山本恵造	H 6. 3.15	H 9. 2.25
440	野田晴清	H 6. 4.19	R 5.12.31
441	中井(正信)章詞	H 6. 5.31	
442	野村允	H 6. 6. 7	H11. 6.30
443	三浦孝之	H 6. 7. 5	H 8. 3.26
444	藤野義雄	H 6. 9.13	H 8. 8.20
445	森研二	H 6. 9.27	H 8. 6. 4
446	田中洋	H 6.11. 8	H 8. 2.29
447	白羽誠	H 6.11. 8	H29. 6.30
448	河西登喜雄	H 7. 5. 9	H14. 6.30
449	道上明	H 7. 5. 9	
450	入江隆士	H 7. 6.27	H 9. 2. 4
451	佐井奇正	H 7. 6.27	H11. 6.30
452	玉垣信太	H 7. 6.27	H.21. 6.30
453	壺井醇	H 7. 6.27	R 2.12.31
454	山本康一郎	H 7. 6.27	
455	土城敏彦	H 7. 8.29	R 5. 6.30
456	龍口篤夫	H 7.12.12	H11. 6.30
457	森川博一	H 8. 2.13	H14.12.31
458	岡栄治	H 8. 4.23	
459	塩原一正	H 8. 5.21	H12. 5. 2
460	滝本雅彦	H 8. 6. 4	H17. 2. 8☆
461	吉田二郎	H 8. 6. 4	H 9. 7. 1
462	加藤昭義	H 8. 6. 4	H10. 4. 7
463	竹野巖	H 8. 6.18	H10. 4. 7
464	上村修二	H 8. 6.18	H 9. 9.16
465	勝部安之	H 8. 7.30	H11.10.26
466	曾田政之	H 8. 7.30	H10.12.31
467	石田昭	H 8. 8.27	H 9.10. 7
468	宮内裕通	H 8. 8.27	H10. 6.30

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
469	太田浩司	H 8.10. 1	H10. 6.23
470	吉田建美	H 8.11.19	
471	藤田良三	H 9. 1.28	H12. 6.30
472	井上吉晴	H 9. 4.15	H13. 2. 6
473	伊藤允好	H 9. 5.13	H13. 4. 3
474	奥田和之	H 9. 6.17	H13. 2.13
475	高見育男	H 9. 6.17	H21.12.31
476	谷口義文	H 9. 7.22	H10. 4. 6
477	形山裕行	H 9. 7.29	H12. 2.29
478	和田紘	H10. 1. 6	H10. 8. 4
479	池田義一	H10. 1.27	H13. 3. 6
480	川崎元男	H10. 1.27	
481	野々村禎之	H10. 3.31	
482	松見捷郎	H10. 6.23	H12. 6.30
483	本間孝	H10.10. 6	H13. 4. 3
484	高井志郎	H10.11.10	H11.11.30
485	吉田茂	H11. 3.23	
486	吉井正幸	H11. 4.13	
487	東浩哉	H11. 6. 1	H26.12.30
488	池西正広	H11. 6. 8	
489	足立孝幸	H11. 6.29	H11. 7.27
490	福谷允剛	H11. 6.29	H12. 3.28
491	畑崎廣敏	再H11. 6.29	R 3.12.31
492	多田善計	H11. 6.29	
493	榊原志朗	H11. 8.31	H30. 5.17☆
494	青戸邦彦	H11.11. 2	H13. 4. 3
495	彭日豊	H11.11. 2	H20. 6. 3
496	金栄昭彦	H11.11. 2	H20. 6.30
497	石川矩寿	H12. 1.11	H14. 3.26
498	坂野伯夫	H12. 2. 8	H17.12.31
499	大牟田育宏	再H12. 8. 1	再H14. 6.30
500	福原敏晃	H12. 8.29	
501	森本一裕	H12. 8.29	
502	大島修二	H12. 8.29	H14. 3.26
503	千葉始	H12. 9. 5	H23. 6.30
504	岩野了	H12. 9. 5	H28.12.31

☆印は在籍中物故者

番 号	氏 名	入会日	退会日
505	田 中 敏 男	H12. 9.19	H14. 6.30
506	田 中 義 明	H13. 4.10	
507	衣 斐 俊 成	H13. 6. 5	H15. 9.16
508	松 井 照 男	H13. 6. 5	
509	尾 山 宣 道	H13. 6. 5	
510	吉 田 正 人	H13. 6. 5	
511	津 波 古 克 朝	H13. 6.12	H19. 3.31
512	深 井 崇 史	H13. 7.24	H14. 6.30
513	横 山 滋	H14. 2.26	H26. 7. 8☆
514	赤 堀 寿 美	H14. 5. 7	H15. 2.25
515	原 田 信 也	H14. 5. 7	R 3.12.31
516	井 元 憲 生	H14. 5. 7	
517	三 柴 利 雄	H14. 5. 7	H17. 9.27
518	松 下 衛	再H14. 7. 2	
519	山 本 博 彦	H14. 7.16	H16. 6.30
520	小 林 俊 文	H14. 9. 3	H16. 4.20
521	大 津 悟	H14. 9. 3	H16. 7.20
522	吉 本 政 和	H15. 1.28	H24. 2.14
523	寺 井 啓 勝	H15. 4.15	H24.12.31
524	上 村 修 司	H15.10. 7	
525	橋 本 豊 捷	H15.11.11	R 4. 6.30
526	浦 長 瀬 正 一	H15.12. 2	H17. 9.27
527	山 邑 耕 一	H15.12. 2	H27. 2.28
528	鮑 悦 初	H16. 3. 2	
529	則 岡 弘 士	H16. 3. 9	
530	伊 藤 隆 啓	H16. 4.20	
531	石 田 隆 造	H16. 6. 8	H18. 3.31
532	中 田 晴 夫	H16. 9.28	H18. 7. 4
533	桑 野 敏 明	H16.10.26	H17. 3.29
534	横 山 幹 夫	再H17. 6.14	
535	奥 村 昌 彦	H17. 6.14	H19. 3.31
536	平 岡 秀 樹	H17.11.15	H21. 4.14
537	安 藤 進	H17.11.21	H20. 4. 1
538	山 崎 仁 嗣	H18. 1.10	R 5. 2.13☆
539	西 藤 直 人	H18. 2. 7	H21. 6.30
540	青 山 一	H18. 3.14	H20. 6.30

番 号	氏 名	入会日	退会日
541	松 井 泰 隆	H18. 6.27	H20. 9.16
542	松 岡 義 幸	H18. 6.27	H19. 6.12
543	樋 口 一 哉	H19. 5.22	
544	宮 昭 久	H19. 5.22	
545	富 永 利 光	H19. 5.22	H20. 6. 3
546	横 山 公 一	H19. 5.22	
547	江 口 行 生	H19. 6.19	H24. 6.30
548	土 田 剛 司	H19. 6.19	H29. 6.30
549	竹 崎 恵 一	H19. 6.26	H20. 5.13
550	高 田 英 輝	H20. 2. 5	H28. 6.28
551	高 石 昇	H20. 2.19	H29. 4. 1☆
552	澤 田 正 樹	H20. 4. 1	
553	中 尾 優	H20. 7. 1	H29. 6.30
554	宗 野 正 吾	H20. 7. 1	H23. 4.30
555	清 水 和	H20. 7. 8	H22. 3.31
556	青 井 克 己	H20. 8. 5	H22. 3.31
557	松 居 隆	H20. 8. 5	H22. 3.31
558	古 賀 朗	H20.11.11	H23. 9.20
559	松 谷 齊 泰	H21. 4. 7	
560	三 戸 岡 英 樹	H21. 4. 7	
561	石 塚 俊 二	H21. 6. 9	H23. 3.31
562	藤 原 崇 晴	H21. 9. 1	R 5. 6.30
563	石 川 泰 平	H21. 9. 1	
564	中 小 路 公 男	H21. 9. 1	
565	大 澤 勇	H21.10.13	
566	中 川 俊	H21.11.17	
567	梅 田 稔	H22. 3.16	
568	山 下 恒 司	H22. 6.15	H25. 4.30
569	四 方 克 明	H22. 8. 3	
570	友 藤 順 義	再H22. 8. 3	
571	林 伯 正	H23. 4. 5	
572	藤 本 義 洋	H23. 4.12	
573	加 納 哲 裕	H23. 6. 7	H30. 3.31
574	近 藤 丈 晴	H23. 6. 7	H26. 3.31
575	香 山 道 宣	H23. 6. 7	
576	阿 部 祐 司	H23. 6.21	H24. 3.31

70年間の会員の動き 悉皆会員名簿

☆印は在籍中物故者

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
577	田中寿夫	H23. 6.21	
578	金谷卓実	H23. 9. 6	H.24.11.30
579	三野哲治	H23. 9. 6	R 2.12.31
580	村元信吾	H23. 9. 6	R 2.12.31
581	石本一生	H23.11. 8	H29. 3.31
582	上月福男	H23.12. 6	
583	尾崎秀雄	H24. 2.21	H26. 9.30
584	樫野孝人	H24. 4.10	
585	弘田芳裕	H24. 6. 5	
586	山本裕計	H25. 1.22	
587	山田直造	H25. 3. 5	H27. 1.30
588	佐井奇正	再H25. 5.21	
589	前田正学	H25. 6.11	H26. 3.31
590	菅野和矢	H25. 6.25	
591	藤井光造	H25.10. 8	
592	白田勉	H25.10. 8	H31. 3.16☆
593	松島哲也	H25.12.10	H26. 6.30
594	中田勝彦	H26. 6.17	H30. 3.31
595	貝沼信行	H26. 6.24	H28. 4. 1
596	吉田博	H26.6.24	
597	塩谷雅英	H26.7.15	R 1. 6.30
598	森下英樹	H27.1.27	H29. 3.31
599	富永利光	再H27.2.10	R 5. 6.30
600	池田晋	H27.3.3	H29. 1.31
601	河崎光	H27.4.14	
602	小谷哲也	H27.4.21	
603	鈴木祐一	H27.6..30	
604	後藤章暢	H27.12.1	
605	関本剛	H28.4.5	R 4. 4.19☆
606	関根太	H28.5.17	H29. 3.31
607	石原守	H28.5.17	R 3. 6. 4☆
608	植村浩史	H28.6.14	
609	崎山豊	H28.9.27	
610	渡邊英一郎	H28.12.13	
611	小坂哲也	H29.3.28	
612	早馬政宏	H29.4.4	H31. 4.30

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
613	森本楽	H29. 5. 9	
614	森本光一	H29. 5.16	R 5.12.31
615	藤井卓哉	H29. 5.16	R 1.10. 1
616	村井通浩	H29. 6.13	
617	横山良範	H29. 6.27	H30.11.30
618	樋口敦仁	H29. 9. 5	
619	光葉應宏	H30. 1.16	
620	和田新	H30. 2. 6	
621	和田真一	H30. 2.20	
622	本田正昭	H30. 6. 5	R 4. 3.31
623	井上浩次	H30. 6.26	R 5.12.31
624	柳川晃良	H30. 6.26	
625	神田孝平	H31. 1. 8	
626	高橋恵信	H31. 1. 8	
627	田島勝也	H31. 2.19	R 4. 9.30
628	小林一也	H31. 2.26	
629	芳賀博之	H31. 3. 5	
630	バルワニムケシ	H31. 3. 5	
631	古賀健一	H31. 3.12	
632	池上勝義	H31.3.19	
633	魚谷勝	R1.5.7	
634	木田耕司	R1.6.11	R 3. 4.30
635	堀内敬三	R1.6.18	R 1.12.28
636	日垣潤一郎	R1.6.25	R 2.12.31
637	細田和弘	R1.12.3	R 4. 3.31
638	有井滋樹	R2.1.8	R 3. 6.30
639	古津彰宏	R2.6.9	
640	麦志明	R2.9.15	
641	木下伊三見	R2.10.27	
642	橋本耕治	R2.11.24	R 6. 3.31
643	山田章子	R3.6.29	R 5. 3.31
644	加藤公隆	R3.10.5	R 5. 6.30
645	池田知聡	R3.10.5	
646	伴裕美	R4.5.24	
647	大井竜介	R4.5.24	R 6. 3.31
648	西村公志	R4.9.13	

☆印は在籍中物故者

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
649	福田 大 介	R 4.12. 6	
650	入 船 正	R 4.12. 6	
651	伊 藤 正	R 4.12. 6	
652	中 村 芳 信	R 4.12. 6	
653	続 木 良 平	R 4.12. 6	
654	小 山 要 次	R 5. 1.17	
655	延 原 耕 三	R 5. 5. 9	
656	岡 本 浩 司	R 5. 6.13	
657	ケタンチョウドリー	R 5. 6.27	
658	前 田 隆	R 5. 9.12	
659	池 添 誠	R 6. 6. 4	

2024年6月10日現在

歴代役員・理事・委員長 (5年間)

	2019-2020	2020-2021
地区ガバナー	浅木 幸雄	高瀬英夫
ガバナー補佐	井堂 信純	金田庄一郎
会長(理事・役員)	須藤 雄二	鮎 悦初
会長エレクト(理事・役員)	鮎 悦初	森本 一裕
副会長(理事・役員)	井元 憲生	大澤 勇
幹事(理事・役員)	吉田 茂	樋口 一哉
副幹事	樋口 一哉	工藤 恭孝
直前会長兼S.A.A.(理事・役員)	澤田 正樹	須藤 雄二
副S.A.A.	今井 拓雄・松井 照男	野々村禎之・橋本 豊捷
会計(理事・役員)	横山 幹夫	田中 寿夫
副会計	多田 善計・大澤 勇	和田 新
無任所(理事)	-	-
クラブ管理運営	井元 憲生	大澤 勇
出席	吉田 建美	木下 健
親睦・家族	梅田 稔	渡邊英一郎・鈴木 祐一
プログラム	岡 栄治	藤井 光造
週報	山本 裕計	和田 真一
唱歌	森本 一裕	山崎 仁嗣
会員増強(理事)	角田 嘉宏	光葉 應宏
会員選考・職業分類	小倉 宗夫	神田 孝平
公共イメージ(理事)	鎌田 哲夫	吉井 正幸
ロータリー情報	鎌田 哲夫	吉井 正幸
広報	石橋 恒生	吉田 博
ロータリー財団(理事)	中井 章詞	三戸岡英樹
奉仕プロジェクト	工藤 恭孝	山本康一郎
職業奉仕(理事)	工藤 恭孝	山本康一郎
社会奉仕(理事)	西原興一郎	植村 浩史
国際奉仕(理事)	村元 信吾	後藤 章暢
米山記念奨学	植村 浩史	松井 照男
青少年奉仕(理事)	樫野 孝人	林 伯正
長期計画	澤田 正樹	須藤 雄二
危機管理	道上 明	道上 明
相談役	高嶋 良平・野々村禎之	松下 衛・中井 章詞
特別	-	-
研修リーダー	澤田 正樹	須藤 雄二

2021-2022	2022-2023	2023-2024
吉岡 博忠	阪上 栄樹	安行 英文
新玉 正男	須藤 仁一	須藤 雄二
森本 一裕	井元 憲生	樋口 一哉
井元 憲生	樋口 一哉	神田 孝平
塚本哲夫・植村孝一・三戸岡英樹	梅田 稔	吉田 博
工藤 恭孝	鈴木 祐一	和田 真一
鈴木 祐一	和田 真一	小林 一也
鮑 悦初	森本 一裕	井元 憲生
横山 幹夫・大澤 勇	石橋 恒生・田中 義明	塚本 哲夫・松下 衛
吉井 正幸	大澤 勇	横山 幹夫
池西 正広	和田 真一	石橋 恒生
-	乙守 典厚	吉井 正幸・鈴木 祐一
植村 孝一	梅田 稔	吉田 博
上村 伸幸	西原興一郎	大澤 勇
山崎 仁嗣	森本 光一・芳賀 博之	崎山 豊・吉田 茂
福原 敏晃	道上 明	植村 孝一
崎山 豊	和田 新	小林 一也
西村 太一	植村 浩史	植村 浩史
神田 孝平	小坂 哲也	樋口 敦仁
澤田 正樹	須藤 雄二	横山 公一
塚本 哲夫	中井 章詞	山本康一郎
野々村禎之	中井 章詞	山本康一郎
和田 真一	高橋 恵信	村井 通浩
松井 照男	渡邊英一郎	鮑 悦初
三戸岡英樹	林 伯正	澤田 正樹
吉田 博	林 伯正	澤田 正樹
横山 公一	鮑 悦初	麦 志明
山本 裕計	光葉 應宏	中井 章詞
池上 勝義	森本 楽	石川 泰平
藤本 義洋	池上 勝義	高橋 恵信
須藤 雄二	森本 一裕	井元 憲生
道上 明	山本康一郎	三戸岡英樹
-	-	-
-	-	野々村禎之(創立70周年実行委員会)
植村 孝一	梅田 稔	吉田 博

歴代地区委員 (5年間)

2019～20年度

赤木 文生	ガバナー諮問委員会 PDG
久野 薫	ガバナー諮問委員会 PDG
関本 剛	ロータリー財団委員会ポリオプラス小委員会委員
松下 衛	国際奉仕委員会学友小委員会委員
田中 寿夫	青少年奉仕委員会青少年交換小委員会委員

2020～21年度

赤木 文生	ガバナー諮問 PDG
久野 薫	ガバナー諮問 PDG
山本 裕計	クラブ管理運営委員会OM推進小委員会委員
藤井 光造	社会奉仕委員会社会奉仕小委員会委員
松下 衛	国際奉仕委員会学友小委員会委員
田中 寿夫	国際奉仕委員会青少年交換小委員会委員
中井 章詞	ロータリー財団委員会補助金小委員会委員
松井 照男	ロータリー財団委員会奨学金・平和フェロシップ小委員会委員
関本 剛	ロータリー財団委員会ポリオプラス小委員会委員
神田 孝平	米山記念奨学委員会委員

2021～22年度

山本 裕計	クラブ管理運営委員会OM推進小委員会委員
高橋 恵信	青少年奉仕委員会インターアクト小委員会委員
芳賀 博之	青少年奉仕委員会RYLA小委員会委員
田中 寿夫	青少年奉仕委員会青少年交換小委員会委員
小林 一也	青少年奉仕委員会青少年交換小委員会委員
松下 衛	学友委員会委員
中井 章詞	学友委員会委員
中井 章詞	国際奉仕委員会VTT小委員会委員長
後藤 章暢	国際奉仕委員会VTT小委員会委員
松井 照男	国際奉仕委員会奨学金・平和フェロシップ小委員会委員
中井 章詞	ロータリー財団委員会補助金小委員会委員
後藤 章暢	ロータリー財団委員会補助金小委員会委員
松井 照男	ロータリー財団委員会資金推進小委員会委員長
鈴木 祐一	ロータリー財団委員会資金推進小委員会委員
関本 剛	ロータリー財団委員会ポリオプラス小委員会委員
神田 孝平	ロータリー財団委員会環境の保護小委員会委員
神田 孝平	米山記念奨学委員会委員

2022～23年度

山本 裕計	戦略計画委員会委員
山本 裕計	クラブ管理運営委員会OM推進小委員会委員
高橋 恵信	青少年奉仕委員会インターアクト小委員会委員
芳賀 博之	青少年奉仕委員会RYLA小委員会委員
田中 寿夫	青少年奉仕委員会青少年交換小委員会委員
小林 一也	青少年奉仕委員会青少年交換小委員会委員
松下 衛	学友委員会委員
中井 章詞	学友委員会委員
中井 章詞	国際奉仕委員会VTT小委員会委員長
後藤 章暢	国際奉仕委員会VTT小委員会委員
松井 照男	国際奉仕委員会奨学金・平和フェロシップ小委員会委員
中井 章詞	ロータリー財団委員会補助金小委員会委員
松井 照男	ロータリー財団委員会補助金小委員会委員
鈴木 祐一	ロータリー財団委員会補助金小委員会委員
松井 照男	ロータリー財団委員会資金推進小委員会委員長
和田 真一	ロータリー財団委員会資金推進小委員会委員
神田 孝平	ロータリー財団委員会環境の保護小委員会委員
渡邊英一郎	ロータリー財団委員会ポリオプラス小委員会委員
神田 孝平	米山記念奨学委員会委員

2023～24年度

須藤 雄二	研修委員会委員
山本 裕計	戦略計画委員会委員
山本 裕計	クラブ管理運営委員会OM推進小委員会委員長
続木 良平	クラブ管理運営委員会OM推進小委員会委員
森本 楽	公共イメージ委員会委員
芳賀 博之	青少年奉仕委員会RYLA小委員会委員
松下 衛	学友委員会委員
中井 章詞	学友委員会委員
中井 章詞	国際奉仕委員会VTT小委員会委員長
後藤 章暢	国際奉仕委員会VTT小委員会委員
中井 章詞	ロータリー財団委員会補助金小委員会委員
松井 照男	ロータリー財団委員会補助金小委員会委員
松井 照男	ロータリー財団委員会資金推進小委員会委員長
鈴木 祐一	ロータリー財団委員会資金推進小委員会委員
神田 孝平	ロータリー財団委員会環境の保護小委員会委員
和田 真一	ロータリー財団委員会ポリオプラス小委員会委員
神田 孝平	米山記念奨学委員会委員
樋口 敦仁	社会奉仕委員会社会奉仕小委員会委員

現会員名簿

番号	氏名	職業分類	入会日	推薦者	職名
640	麦 志明	弁 護 士	R 2. 9.15	道上、林	弁護士法人東町法律事務所 パートナー弁護士
646	伴 裕美	コンサルタント カウンセラー	R 4. 5.24	塚本、三戸岡	ソーシャルアドバンス(株) 代表取締役
528	鮑 悦初	食品業(調味料製造販売)	H16. 3. 2	植村(孝)、角田	(株)廣記商行 取締役会長
630	バルワニ ムケン	真珠原料輸入・輸出	H31. 3. 5	松井、上村(修)	マニックパール(有) 代表取締役
657	チョウドリー ケタン	宝石(貴金属) 真珠 MD	R 5. 6.27	三戸岡、須藤(雄)	ラ パール ドリエント(株) 代表取締役
591	藤井光造	室内装飾品	H25.10. 8	鎌田、横山(幹)	(株)クレアションフジイ 代表取締役
572	藤本義洋	歯 科 医	H23. 4.12	上村(伸)、三原	藤本歯科クリニック
649	福田大介	港 湾 輸 送	R 4.12. 6	小坂、樋口(敦)	(株)ワールドトランス 代表取締役社長
500	福原敏晃	菓子(洋菓子)	H12. 8.29	石橋、工藤	(有)ボック 代表取締役社長
639	古津彰宏	建 築 材 料	R 2. 6. 9	岡、山本(康)	(株)古津タイル 代表取締役
604	後藤章暢	大 学	H27.12. 1	三戸岡、中井	兵庫医科大学 先端医学研究所 教授
629	芳賀博之	電気制御器製造配布	H31. 3. 5	井元、三野	トヨデンサービス(株) 代表取締役社長
618	樋口敦仁	土地家屋調査士	H29. 9. 5	藤本、土城	(有)樋口測量事務所
543	樋口一哉	鉄鋼業(厚鉄板)	H19. 5.22	上村(修)、金栄	樋口鋼業(株) 代表取締役社長
585	弘田芳裕	酒 精 飲 料 販 売	H24. 6. 5	今井、吉井	ひよどり商店 代表取締役
645	池田知聡	不 動 産 販 売	R 3.10. 5	岡、松井	(株)アーク不動産 代表取締役
632	池上勝義	児 童 施 設	H31. 3.19	松井、田中(健)	社団法人 あひらい舎 幼児遊戯センター あひらいこども園 理事長
488	池西正広	不動産業(住宅経営)	H11. 6. 8	寺崎、中口	イケニシ(株) 代表取締役
659	池添 誠	証 券 会 社	R 6. 6. 4	角田、大澤	大和証券(株) 神戸支店 支店長
347	今井拓雄	酒 精 飲 料 販 売	S61. 6.17	安福、高田	(株)今井商店
516	井元憲生	被服業(婦人服販売)	H14. 5. 7	植村(孝)、畑崎	(株)パリュウ・プランニング 代表取締役社長
650	入船 正	配 管 工 事	R 4.12. 6	小坂、樋口(敦)	(株)服部設備 取締役
400	石橋恒生	印 刷 ・ 出 版	H 2. 9.18	植村(孝)、藤田(久)	(株)興正社 取締役会長
563	石川泰平	ゴム工業(ゴム製品製造)	H21. 9. 1	土城、上村(修)	石川化成(株)
651	伊藤 正	音 楽	R 4.12. 6	鈴木、神田	(株)ムジカヴィーヴア 代表取締役
530	伊藤隆啓	不 動 産 業	H16. 4.20	鎌田、吉田(茂)	(有)五代興産 代表取締役
625	神田孝平	歯 科 医	H31. 1. 8	吉田(建)、三原	神田歯科医院 院長
584	樫野孝人	経営コンサルタント	H24. 4.10	小倉、田中(健)	(株)CAP 代表取締役社長
601	河崎 光	プラスチックフィルム製造配布	H27. 4.14	梅田、土城	カワサキ商事(株) 代表取締役社長
480	川崎元男	食品業(青果販売)	H10. 1.27	寺崎、中口	川崎青果(株)
641	木下伊三見	電 気 事 業	R 2.10.27	川崎、光葉	神戸電力(株) 代表取締役
165	木下 健	ゴム工業(ゴム原料販売)	S45. 1. 6	近沢、高田	(株)三富商店 会長
628	小林一也	不 動 産 管 理	H31. 2.26	角田、井元	(株)小林コーポレーション 代表取締役社長
631	古賀健一	ビルメンテナンス	H31. 3.12	横山(幹)、中川	(株)大和研装社 代表取締役社長
611	小坂哲也	建 築	H29. 3.28	小倉、土城	(株)タイド 代表取締役

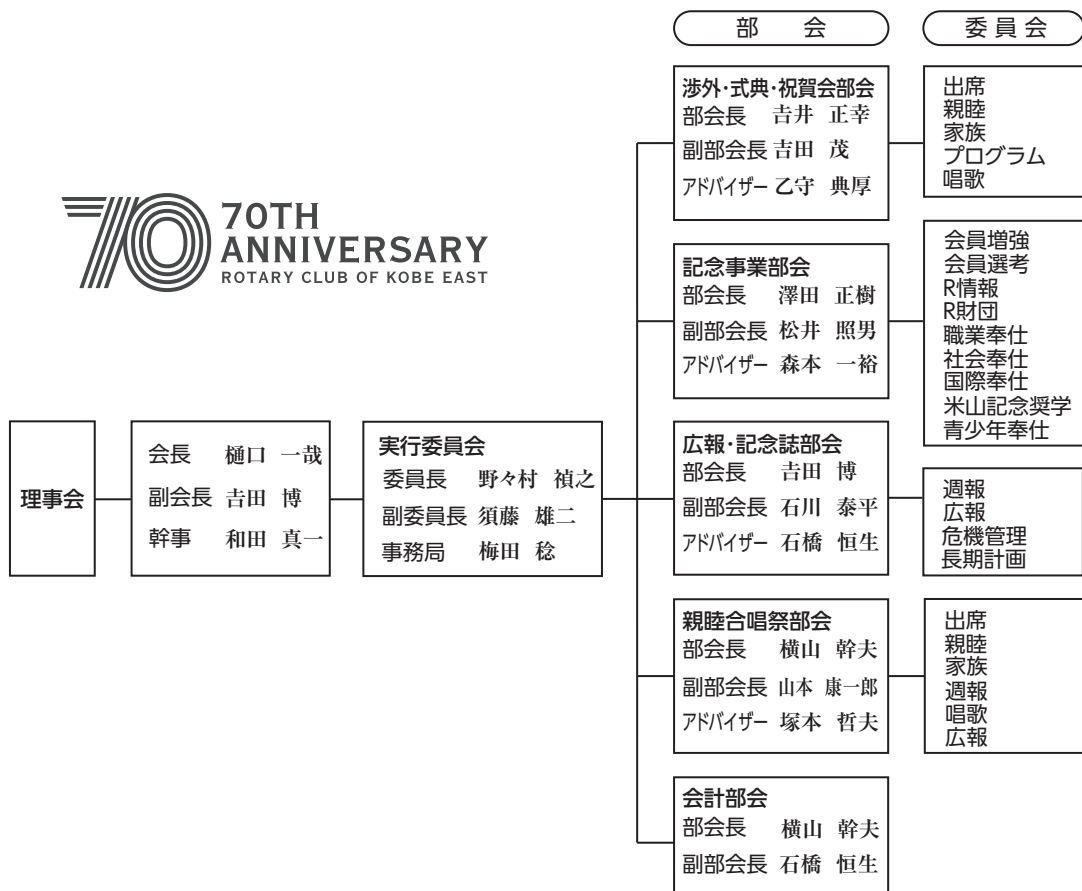
現会員名簿

番号	氏名	職業分類	入会日	推薦者	職名
602	小谷 哲也	パッキング 配布	H27. 4.21	梅田、土城	コタニ(株) 代表取締役社長
575	香山 道宣	旅行 社	H23. 6. 7	鎌田、伊藤	(株)三洋航空サービス
654	小山 要次	酒精飲料(ビール醸造)	R 5. 1.17	今井、山崎	キリンビール(株) 神戸支社 神戸支社長
582	上月 福男	貿 易	H23.12. 6	野々村、鮑	上月産業(株)
407	工藤 恭孝	書籍 販売	H 3. 5. 7	月岡、植村(孝)	(有)淳久堂 取締役会長
571	林 伯正	不動産業(不動産賃貸)	H23. 4. 5	鮑、道上	中央実業(株) 代表取締役
658	前田 隆	建築業(建設請負業)	R 5. 9.12	上村(修)、樋口(敦)	(株)クニ工務店 代表取締役
508	松井 照男	不動産業(不動産管理)	H13. 6. 5	野田、川崎	(株)日本ネットワークサービス 代表取締役
375 518	松下 衛	宿泊施設(ホテル)	S63. 9. 6 H14.7.2(再)	三原、角田	
559	松谷 齊泰	フィットネスクラブ	H21. 4. 7	戸山、山崎	(有)紅屋 取締役
449	道上 明	弁 護 士	H7. 5. 9	有澤(武)、村田	神戸ブルースカイ法律事務所 所長
261	三原 孝公	歯 科 技 工 業	S54. 6.12	坂下、角田	(株)ミハラ歯研
560	三戸岡英樹	医師(消火器科)	H21. 4. 7	白羽、執行	芦屋三戸岡クリニック
619	光葉 應宏	食品業(チョコレート製造販売)	H30. 1.16	西原、植村(孝)	ゴンチャロフ製菓(株) 代表取締役社長
544	宮 昭久	病院(療養型病院)	H19. 5.22	岡、金栄	医療法人社団 敬風会 理事長
613	森本 楽	行 政 書 士	H29. 5. 9	角田、山本(康)	行政書士法人 きずな神戸
501	森本 一裕	ガラス工業(窓ガラス販売)	H12. 8.29	壺井、工藤	関森本硝子店 代表社員
616	村井 通浩	生 命 保 険	H29. 6.13	山本(裕)、藤本	メットライフ生命保険(株)
566	中川 俊	不動産業(ビルディング管理)	H21.11.17	川崎、土城	新光明飾(株) 代表取締役
441	中井 章詞	病院(一般病院)	H 6. 5.31	執行、薄木	医療法人 社団 中井病院 理事長
564	中小路公男	物流業(倉庫業・通関物流発送)	H21. 9. 1	土城、宮	中貨物自動車(株)
652	中村 芳信	金属工業 金型MD	R 4.12. 6	芳賀、小坂	新興金型工業(株) 代表取締役社長
362	西原興一郎	自動車工業(自動車販売)	S62. 4. 7	森川(正)、嘉納	兵庫三菱自動車販売(株) 社長
648	西村 公志	貨物自動車輸送	R 4. 9.13	角田、西原	大同通運(株) 代表取締役社長
252	西村 太一	自動車工業(自動車販売)	S53. 2. 7	村田、角田	神戸トヨペット(株) 代表取締役会長
655	延原 耕三	不 動 産 業	R 5. 5. 9	田中(健)、山本(裕)	
481	野々村 禎之	食品業(給食用食品)	H10. 3.31	三輪、塚本	ウオクニ(株) 代表取締役会長
529	則岡 弘士	貿 易 商 社	H16. 3. 9	三原、角田	第一貿易(株) 代表取締役
166	小倉 宗夫	化学工業(合成樹脂販売)	S45. 1. 6	小野、角南	小倉サンデザイン(株) 取締役相談役
565	大澤 勇	ゴルフ練習場	H21.10.13	嘉納、横山(幹)	(株)オオサワ 専務取締役
458	岡 栄治	建設業(建設請負業)	H 8. 4.23	寺崎、中口	(株)岡工務店 取締役社長
656	岡本 浩司	税 理 士	R 5. 6.13	小坂、樋口(敦)	岡本浩司税理士事務所 代表税理士
394	乙守 典厚	宣 伝 業	H 2. 2. 6	樽本、西宮	(株)トーアコーポレーション 代表取締役社長
509	尾山 宜道	仏教寺院(臨済宗)	H13. 6. 5	高橋、土城	宗教法人 十善寺
451 588	佐井 奇正	不動産業(不動産賃貸)	H 7. 6.27 H25.5.21(再)	角田、田中(健)	益順貿易(株)

番号	氏名	職業分類	入会日	推薦者	職名
609	崎山 豊	司法書士	H28. 9.27	吉田(博)、土田	L&P 司法書士法人
552	澤田 正樹	医師(形成外科)	H20. 4. 1	久野、三原	さわだクリニック 院長
172	執行 英毅	医師(耳鼻咽喉科)	S45. 7. 7	池田、風間	
569	四方 克明	建設業(測量設計)	H22. 8. 3	吉田(茂)、山本(康)	阪神測建(株) 代表取締役
590	菅野 和矢	宿泊施設(ホテル)	H25. 6.25	松下、野田	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
182	角田 嘉宏	弁理士	S46. 5.18	安福、原	特許業務法人 有古特許事務所
384	須藤 雄二	真珠販売	H 1. 6.13	木下(章)、八馬	伊豫パール(株) 代表取締役社長
603	鈴木 祐一	不動産賃貸	H27. 6.30	乙守、吉田(茂)	大和船舶土地(株) 代表取締役
492	多田 善計	公認会計士	H11. 6.29	大辻、樽本	多田公認会計士事務所
626	高橋 恵信	仏教寺院(天台宗)	H31. 1. 8	角田、三原	善光寺 住職
323	高嶋 良平	食品業(漬物製造販売)	S59. 8. 7	末正、大牟田	高島酒類食品(株) 取締役会長
382	田中 健三	不動産業(不動産仲介業)	S63.12. 6	末正、沓脱	(株)ユービーエール 代表取締役会長
577	田中 寿夫	税理士	H23. 6.21	鎌田、山本(康)	田中会計事務所
506	田中 義明	不動産賃貸業	H13. 4.10	沓脱、河西	アクス(株)
309 570	友藤 順義	日用品雑貨(雑貨輸出入業)	S58.11.8 H22.8.3(再)	角田、樽本	友藤商事(株) 代表取締役会長
358	塚本 哲夫	食品業(乳製品製造販売)	S62. 1.13	有澤(武)、木下(健)	六甲バター(株) 取締役相談役
653	続木 良平	ビル建物清掃業	R 4.12. 6	松井、小坂	(株)アール・シー 代表取締役
608	植村 浩史	不動産業	H28. 6.14	角田、横山(幹)	(株)サザンモール六甲 代表取締役社長
363	植村 孝一	被服業(既製服販売)	S62. 4.14	芹沢、角田	マック(株) 監査役
524	上村 修司	園芸業(花卉販売)	H15.10. 7	土城、川崎	(株)順花園
567	梅田 稔	食品業(食肉加工)	H22. 3.16	植村(孝)、吉田(茂)	(株)メイショク 代表取締役社長
633	魚谷 勝	広告代理業	R 1. 5. 7	井元、乙守	(株)ウインウイン 代表取締役社長
620	和田 新	社会保険労務士	H30. 2. 6	山本(裕)、横山(幹)	社労士法人 神戸総合マネジメント
621	和田 真一	税理士	H30. 2.20	梅田、多田	和田税理士事務所
610	渡邊 英一郎	化学工業(工業薬品輸入販売)	H28.12.13	樋口(一)、鈴木	秀和(株) 代表取締役
586	山本 裕計	メディア・IT関係	H25. 1.22	友藤、横山(幹)	アイクラフト(株) 代表取締役
454	山本 康一郎	建築設計士	H 7. 6.27	沓脱、月岡	(株)山本設計 代表取締役社長
624	柳川 晃良	不動産業(不動産賃貸)	H30. 6.26	梅田、吉田(茂)	(有)やな川・商会
546	横山 公一	OA機器、オフィス家具販売	H19. 5.22	工藤、植村(孝)	横山(株) 代表取締役会長
386 534	横山 幹夫	金属業(非鉄金属売買)	H 1. 6.13 H17.6.14(再)	小倉、植村(孝)	ワイメタル(株) 代表取締役
596	吉田 博	司法書士	H26. 6.24	大澤、岡	司法書士 吉田 博事務所 所長
470	吉田 建美	歯科医(矯正歯科)	H 8.11.19	三原、上村(伸)	(医)吉田矯正歯科クリニック
510	吉田 正人	不動産業(不動産賃貸)	H13. 6. 5	岡、壺井	X - ROKKO 代表者
485	吉田 茂	建設業(土木工事)	H11. 3.23	沓脱、鎌田	神戸整備重機(株) 代表取締役
486	吉井 正幸	木材業(木製品販売)	H11. 4.13	増田、横山(幹)	(株)桃山商店 専務取締役

2024年6月10日現在

創立70周年実行委員会 組織図



編集後記

私は、広報・記念誌部会の部会長に就任してから初めて創立50周年記念誌、創立55周年記念誌、創立60周年記念誌、創立65周年記念誌の4冊の記念誌を読み始めました。4冊の記念誌のお陰で新入会の方が最初に「伝統と格式を誇る」神戸東ロータリークラブに入会させていただきありがとうございますと挨拶されると理解出来ました。

処が私は昨年9月に三宮で転倒して神鋼記念病院へ救急搬送され、その後、脳腫瘍が見つかり手術の必要性を診断されて12月に開頭手術を受けました。従って、私は特段の編集をしていなくて、全てアドバイザーの石橋会員の指導と指示で動いただけですが、創立70周年記念誌の一番大事な基本テーマは何かについては思索を重ねておりました処、「ロータリークラブとパンデミック（コロナ禍）」しかない結論付けました。そして、入院前の11月下旬にコロナ禍の中でクラブを運営された4人の会長、4人の幹事の方の座談会を開催させて頂きました。素晴らしい内容の座談会で、我がクラブの伝統と格式がさらに高まったと考えております。会員の皆様には是非お読みいただきたい。

私は今も新須磨病院にてガンマナイフ治療中ですが、神戸東ロータリークラブには励ましの文化があると感じています。自宅や事務所まで激励に来てくださった方、ライン、メールや電話で激励して下さった方等本当にありがとうございました。さらに、動けない私のために週報委員会、広報委員会、各執筆者、事務局の方々に対し、心よりの感謝を申し上げ編集後記と致します。そして、又、私の忍耐力も大いに培われたと思います。

創立70周年実行委員会 広報・記念誌部会
 部会長 吉田 博

神戸東ロータリークラブ
創立70周年記念誌

発 行 日 2024年 6 月30日
発 行 者 神戸東ロータリークラブ
〒650-0042 神戸市中央区波止場町 2 丁目 1
ホテルオークラ神戸内
TEL(078)333-1818 FAX(078)333-1515
E-mail : office@kobe-east-rc.org
URL : <http://www.kobe-east-rc.org/>
企画・制作・印刷 株式会社 興正社

